令和５年産

主要農作物生産振興資料

基本方針編

令和５年３月

群　馬　県　農　政　部

目　　次

令和５年産米・麦・大豆生産振興方針 …… 1

Ⅰ　米「売れる米づくりと戦略作物による水田のフル活用の推進」

1 基本方針 …… 2
2 水稲の生産目標 …… 2
3 重点推進目標 …… 2
4 関連施策 …… 3
5 令和４年産水稲生育基本調査結果 …… 5
6 水田面積の推移 …… 9
7 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移 …… 10
8 令和４年産市町村別水稲作付面積及び収量・収穫量 …… 12
9 令和４年産全国水稲作付面積及び収量・収穫量 …… 13
10 群馬県における昭和60年以降の水稲地域別作柄概況の推移 …… 14
11 田植の進捗状況等の推移 …… 16
12 群馬県新規需要米等の取組計画認定状況 …… 18
13 水稲うるち品種別作付面積の推移 …… 20
14 稲作農家数等の推移（農林業センサス） …… 21
15 群馬県における米穀の年次別検査成績 …… 22
16 米の生産費及び収益性（10ａ当たり） …… 25

Ⅱ　麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」

1 基本方針 …… 27
2 麦の生産目標 …… 27
3 重点推進目標 …… 27
4 関連政策 …… 29
5 麦の需要に関する動向 …… 30
（農林水産省「麦の参考資料」（令和４年２月公表）より抜粋）
6 令和５年産民間流通麦入札結果 …… 33
7 毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について …… 34
8 令和４年産群馬県産麦品質評価結果 …… 36
9 令和４年産麦類生育基本調査結果 …… 39
10 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移 …… 44
11 令和２、３年産市町村別麦類10ａ当たり収量、収穫量 …… 48
12 令和４年産４麦の作付面積及び収穫量 …… 50
13 品種別作付面積の推移（群馬県） …… 55
14 検査数量上位品種の推移（全国） …… 56
15 令和４年産麦類検査等級比率（令和４年10月末現在） …… 57
16 累年の県産麦類検査等級 …… 58
17 小麦の生産費（10ａ当たり） …… 59

Ⅲ　大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

1 基本方針 …… 61
2 大豆の生産目標 …… 61
3 重点推進目標 …… 61
4 関連施策 …… 61
5 群馬県大豆生産の推移 …… 62
6 全国大豆生産の推移 …… 63
7 市町村別作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（群馬） …… 64
8 団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和３年産大豆の概要 …… 65
9 品種別作付面積の推移 …… 66
10 令和３、４年産大豆検査数量 …… 66
11 種類別検査実績（群馬） …… 67
12 全国大豆作付面積及び収量・収穫量 …… 68
13 大豆の生産費（10ａ当たり） …… 69

参考資料

資料１　そばに関する資料 …… 70

資料２　ライスセンター、カントリエレベーター、育苗センターの設置状況 …… 74

資料３　種子の生産状況及び品種情報について …… 81

資料４　主要農作物奨励品種特性表 …… 83

資料５　農産物規格規定（国内産農産物）の品位―抜粋― …… 89

令和５年産米・麦・大豆生産振興方針

令和２年３月に策定された「食料・農業・農村基本計画（以下「基本計画」）では、農業の持続的な発展に向け、担い手の確保・育成を図るとともに、担い手への農地集積・集約化を加速させる方針等が示され、各種施策が展開されている。

しかし、基本計画の根拠法となる「食料・農業・農村基本法」の見直しに向けた議論が進められており、生産者の減少や不安定な国際情勢等による食料安全保障の危機が背景にあると言われている。

そこで、県民が必要とする食料を安定供給するため、本県水田農業の基幹となる米麦大豆について、担い手の確保・育成に努めつつ、需要を的確に捉えて生産振興を図る。

生産振興にあたっては、「水田活用の直接支払交付金」における「戦略作物助成」や「産地交付金」等を効果的に活用し、農業者（産地）の主体的判断による需要に応じた主食用米生産を促すとともに、麦・大豆・新規需要米等の計画的生産、高品質化や生産性向上への取組を支援する。

また、「群馬県農業農村振興計画」に基づき、麦類と新規需要米との二毛作面積の拡大、高収益作物等の導入による「ぐんま型水田フル活用」を推進するとともに、ＩＣＴ等、高度先端技術の普及による担い手の生産性向上を図る。

さらに、米麦大豆の生産に不可欠な優良種子を確保し、将来に渡って安定供給していくため、種子生産の担い手確保と生産体制の強化に努める。

上記を踏まえ、農業者・農業団体・実需者・行政・その他関係機関が一体となり、下記重点項目を推進する。

米：売れる米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進

（１）地域の特色を活かした「売れる米づくり」の推進
（２）経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
（３）本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
（４）農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
（５）気象の変化に対応した栽培技術による高品質安定生産
（６）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（７）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（８）農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
（９）種子生産者の確保と生産体制の強化
(10) スマート農業技術の普及

麦：ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組

（１）ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
（２）基本技術の励行による高品質麦の生産
（３）は種前契約の徹底や実需者との連携強化
（４）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（５）経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
（６）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（７）地産地消の取組等、新たな需要づくり
（８）種子生産者の確保と生産体制の強化
（９）スマート農業技術の普及

大豆：高品質大豆の安定生産の取組

（１）水田でのブロックローテーションや団地化の推進
（２）基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
（３）契約栽培による安定的な取引の拡大
（４）地産地消に対応した大豆生産の推進
（５）種子生産者の確保と生産体制の強化

Ⅰ　米「売れる米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進」

１　基本方針

（１）地域の特色を活かした「売れる米づくり」の推進
（２）経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
（３）本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
（４）農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
（５）気象の変化に対応した栽培技術による高品質安定生産
（６）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（７）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（８）農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
（９）種子生産者の確保と生産体制の強化
(10) スマート農業技術の普及

２　水稲の生産目標

令和５年産水稲生産計画等を次のとおりとする。

表１　水稲生産計画等

項目／区分	水稲主食用生産量(t)‥A	水稲うるちの検査			新規需要米等作付面積(ha)
		玄米総数量(t)‥B	検査比率(%)‥B/A	１等比率(%)	
令和３年産実績	64,000	34,925	54.5	92.0	3,579
令和４年産見込	62,200	29,524	47.5	90.7	3,970
令和５年産計画	67,475	35,000	50 以上	90 以上	3,620

注　１）令和３、令和４年産水稲主食用生産量：農林水産省
　　２）令和５年産水稲主食用生産量：令和５年産米の都道府県別の生産目安
　　３）令和４年産実績の水稲うるちの検査：令和４年 12 月末日現在（農林水産省）
　　４）新規需要米等：飼料用米・米粉用米・ＷＣＳ用稲及び加工用米を含む
　　（令和４年産見込：令和５年２月現在）

品質目標：整粒歩合「80%以上」及び出荷時の水分含量（玄米）「14.5～15%」
⇨ ＊耕畜連携による堆肥等の施用及び深耕等の土づくり
＊品質・食味の向上を基本とした肥培管理の徹底
＊農薬の適期、適正使用による病害虫防除
＊登熟期間の積算温度や帯緑色籾歩合等を活用した適期収穫の徹底
＊異品種や異物混入の防止
＊品質目標値を確保するための調製、保管管理の徹底

３　重点推進目標

(1) 生産・流通対策

ア　適地適品種の推進と基本技術の励行
　高温耐性品種等の現地実証圃の設置を行いながら、産地の気象環境に適した品種の作付けと、高温登熟などの気象条件の変化に対応した基本技術の励行を推進する。

イ　特色ある米づくりの推進
　特別栽培米や良食味米等、消費者の望む米づくりの振興を図る。

ウ　高度先端技術の導入
　遠隔水管理システムや圃場管理システム、ＧＰＳを活用したスマート農業機械等の導入により、生産性向上を図る。

エ　共同乾燥調製貯蔵施設等の管理体制強化と安全で高品質な米の流通
　共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。

オ　米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保

米トレーサビリティ法に基づき、産地情報を消費者に伝達するため、栽培管理記帳や取引記録の作成・保存の徹底を図るとともに、加工用米・飼料用米・米粉用米等の用途限定米穀の適正流通を推進する。

カ　適正な農産物検査の実施

信頼される産地として農産物検査が適確に行われるよう、検査技術の維持・向上を図る。

(2) 販売対策

ア　売れる米づくりの実践

地域における「売れる米づくり」への取組を積極的に支援し、ＪＡ直売所や生産者団体の販売により地域内需要を掘り起こしつつ、地域の実情に応じた販売方式を推進する。

イ　業務用途米への対応

用途別の需要を把握・分析し、需要に即した品種の作付及び生産量の確保を図るとともに、基本技術の遵守により高品質米の安定供給に努める。

ウ　県産米の県内消費の拡大

県内消費者へ向けて県産米の情報提供を積極的に行い、県産米の県内消費拡大への理解を促し、地産地消等を推進する。

(3) 担い手育成対策

ア　担い手の育成・支援

水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。

イ　集落営農組織の経営体質強化

各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。

ウ　農地集積の促進

農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(4) 経営所得安定対策の加入促進と新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進

ア　経営所得安定対策の加入促進

需要に即した生産の推進と食料自給率の向上を図るため、国、県、市町村、農業団体等の関係機関と連携し、経営所得安定対策の加入促進を図る。

イ　新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進

制度を活用し、麦や新規需要米等の戦略作物の作付拡大により水田の有効活用を図る。

(ｱ) 飼料用米

ＪＡ組織で行う流通での取扱を基本とし、県内の稲作農家と畜産農家による地域流通の取組も併せて推進する。また、本県二毛作に適した飼料用米専用品種（多収・特認品種）の導入支援を図る。

(ｲ) 米粉用米

米粉製品の販促活動により、米粉の需要拡大を図る。

(ｳ) 飼料イネ（ＷＣＳ用稲）

稲作農家と畜産農家とのマッチングを進めながら作付を推進するとともに、収穫調製機械の整備やコントラクター（農作業受託組織）の育成を図る。

(5) 種子の安定供給と種子生産者の確保

安定した稲生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

４　関連施策

・農業経営力向上事業（県単）（旧　はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業）
・高温耐性品種生産技術実証事業（県単）
・経営所得安定対策（国庫）
・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）

参考　群馬県稲作の現状及び課題

＜現状＞
○経営規模は小さく、複合経営の一部門が多い
○平坦地は米麦二毛作体系が主体
○米麦生産の担い手不足
○農地利用集積、作業受委託の遅れ
○気象の影響等による米の品質低下
○群馬県は米の消費県

・令和４年産水稲作付面積及び収穫量（農林水産省）
作付面積：14,400ha(全国比 1.06%)
作況指数：101(全国 100)
生 産 量：72,300t（全国比 0.99%)
・米の食味ランキング（一般財団法人 日本穀物検定協会）

	R４産	R３産	R２産	R 元産	H30 産	H29 産	H28 産
北毛(コシヒカリ)：	A	A	特A	A	A	A	A
中毛(ゆめまつり)：	A	A’	A’	A’	A’	A’	A
東毛(あさひの夢)：	A	A’	A’	A’	A’	A	A’

・R４年産新規需要米の生産状況
米粉用米 372ha　飼料用米 1,575ha　飼料イネ（ＷＣＳ用稲）584ha

＜課題＞
○食の安全・安心に対するニーズへの対応
○環境と調和した農業の推進
○求められる産地による米の均質化
○認定農業者及び集落営農組織の育成・確保と経営体質強化
○県産米の県内消費拡大

・地域の栽培基準を遵守した栽培
・栽培管理記帳、トレーサビリティシステム及びポジティブリスト等への対応
・県産米のブランド化､業務用途(ブレンド米等)への対応
・県産米の県内消費の拡大及び地産地消の取り組み強化
・ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
・担い手の明確化と施策の重点化

5　令和４年産水稲生育基本調査結果

稲麦研究センター

概　要

「ゆめまつり」の生育について、移植後20日調査（7月第3半旬）では茎数が平年より多く生育の早まりが予測されたが、移植後40日調査（8月第1半旬）では、平年を下回る茎数となった。その後の生育は幼穂形成始期、出穂期が平年並で8月7日、8月30日であった。10月上旬が低温で推移したため登熟の遅延が懸念されたが、成熟期は平年よりも早まり10月13日、登熟日数は平年より5日短く44日であった。稈長は83㎝、穂長は20.8cmであった。収量構成要素の玄米千粒重や登熟歩合は平年を上回っていたが、穂数及び㎡当全籾数が少なく、㎡当玄米重（収量）は平年比96%となった。倒伏及び病害虫の発生は認められず、外観品質は検査等級１等相当であった。

注）生育基本調査 過去９カ年平均値との比較で記載

１．耕種方法

（１）試験場所：前橋市江木町　農業技術センター　稲麦研究センター内

（２）土壌条件：淡色多湿黒ボク土（江木統）

（３）供試品種：「ゆめまつり」

（４）耕種概要　①育苗　様　　式：箱育苗（ビニールプール）

播 種 日：5 月 24 日

播 種 量：100g/箱(乾籾)

施 肥 量：基肥(g/箱)　N:0.6 P_2O_5:1.2 K_2O:1.1（粒状培土 D：2.5kg/箱）

追肥(g/箱)　N:1.0　（硫安）

②本田　面　　積：19.44 ㎡（6.48 ㎡×3 反復）

栽植密度：18.5 本/㎡（条間 30cm、株間 18cm）　植付本数：１株４本

(現地慣行栽培に合わせ令和４年産より株間 18cm に変更)

移 植 期：6 月 24 日

施 肥 量：基肥(kg/a)　N:0.60（N-P-K:14-18-16）

追肥(kg/a)　N:0.20（N-P-K 17- 0-16）

２．結果の概要

（１）気象経過（6 月～10 月）（別紙　気象経過）

① 気　　温

育苗期間の平均気温は平年差-0.1℃、移植後～幼穂形成始期は、平年差+2.3℃であった。幼穂形成期～出穂期は平年差+1.0℃、出穂期～成熟期は平年差+0.5℃であった。

月別の平均気温は、6 月は平年差+1.7℃で 23.2℃、7 月は平年差+2.4℃で 27.5℃、8 月は平年差+1.0℃で 27.4℃、9 月は平年差+1.6℃で 24.0℃、10 月は平年差+0.1℃で 16.6℃であった。生育期間全体の 6 月～10 月の平均気温は、平年差+1.3℃で 23.7℃であった。

② 降 水 量

本年の関東地方の梅雨入りは平年より 1 日早く 6 月 6 日、梅雨明けは平年より 22 日早く 6 月 27 日であった。育苗期間の降水量は平年比 83%、移植後～幼穂形成始期は平年比 118%、幼穂形成期～出穂期は平年比 16%、出穂期～成熟期は平年比 91%であった。

月別の降水量は、6 月は平年比 84%で 122.5mm、7 月は平年比 126%で 248.0mm、8 月は平年比 51%で 103.0mm、9 月は平年比 90%で 198.0mm、10 月は平年比 52%で 59.5mm であった。台風による大雨等の被害はなく、生育期間全体の 6 月～10 月は、平年比 83%で 731.0mm であった。

③ 日照時間

育苗期間の日照時間は平年比 95%、移植後～幼穂形成始期は平年比 122%、幼穂形成期～出穂期は平年比 84%、出穂期～成熟期は、平年比 81%であった。

月別の日照時間は、6 月は平年比 123%、7 月は平年比 113%、8 月は平年比 83%で、9 月は平年比 95%、10 月は平年比 93%で、生育期間全体の 6 月～10 月は、平年比 100%であった。

注）前橋地方気象台の気象データを使用。平年値は 1991 年～2020 年。

（２）生育及び収量（表 1、2・図 1、2）

移植苗の主稈葉数は 3.9 葉（+0.1 葉）、草丈は 15.1 ㎝（-1.5 ㎝）であった。移植後 20 日調査では、草丈は 37.8 ㎝（+1.0 ㎝）、㎡当茎数は 440 本（124%）であった。移植後 40 日調査では、草丈は 74.7 ㎝（+3.9 ㎝）、㎡当茎数は 482 本（89%）であった。幼穂形成始期は 8 月 7 日（±0 日）、出穂期は 8 月 30 日（±0 日）であった。稈長は 83 ㎝（+3.1 ㎝）、穂長は 20.8 ㎝（-0.4 ㎝）であった。成熟期は 10 月 13 日（-6 日）、登熟に要した日数は 44 日（-5 日）であった。

収量構成要素の㎡当穂数は 338 本（83%）、1 穂籾数は 83.6 粒（103%）であった。㎡当全籾数は 28,237 粒（85%）であった。粒厚分布(重量比)は、2.0mm 以上粒は 80.4%（平年値 56.1%）、1.9mm 以上粒は 93.7%（平年値 86.1%）、1.8mm 以上粒は 97.1%（平年値 93.9%）であった。玄米千粒重は 23.7g（105%）、登熟歩合は 89.9%（平年値 84.8%）、㎡当玄米重は 603g（96%）であった。病害虫の発生はなく、外観品質は検査等級 1 等相当であった。

注）（ ）内は生育基本調査の過去 9 カ年平均値または平年値との比較を示す。

表１　令和４年産　水稲生育基本調査（生育経過資料）

試験の特徴	裁植密度 18.5 株/㎡、1 株 4 本植 5 月 24 日播種　〔施肥量〕 6 月 24 日移植　基肥Ｎ：0.6kg/a（化成 486 号） 育苗日数　31 日(中苗)　追肥Ｎ：0.2kg/a（化成 NK17）

品種名		ゆめまつり		実測値			対差・対比			
項目			比較年次	本年	前年	平均	前年		平均	
生育状況	移植時	主稈葉数	(葉)	3.9	3.8	3.8	0.1	葉	0.1	葉
		草丈	(cm)	15.1	15.2	16.6	▲ 0.1	cm	▲ 1.5	cm
	移植後 20 日	草丈	(cm)	37.8	38.0	36.9	▲ 0.2	cm	1.0	cm
		茎数	(本/㎡)	440	231	355	190	%	124	%
	移植後 40 日	草丈	(cm)	74.7	64.7	70.8	10.0	cm	3.9	cm
		茎数	(本/㎡)	482	630	540	77	%	89	%
	幼穂形成始期		(月/日)	8/7	8/7	8/6	0	日	0	日
	出穂期		(月/日)	8/30	9/1	8/30	▲ 2	日	0	日
	成熟期		(月/日)	10/13	10/20	10/19	▲ 7	日	▲ 6	日
	登熟日数		(日)	44	49	50	▲ 5	日	▲ 5	日
	稈長		(cm)	83	79	80	3.8	cm	3.1	cm
	穂長		(cm)	20.8	21.9	21.1	▲ 1.1	cm	▲ 0.4	cm
収量構成要素	㎡当	全穂数	(本)	338	378	410	89	%	83	%
	粒数	1 穂当全籾数	(粒)	83.6	73.8	81.4	113	%	103	%
		㎡当全籾数	(×100 粒)	282	279	332	101	%	85	%
	登熟	玄米千粒重	(g)	23.7	23.4	22.6	101	%	105	%
		千籾当収量	(g)	21.3	22.5	19.2	95	%	111	%
		登熟歩合	(%)	89.9	96.3	84.8	▲ 6.4		5.1	
収量		㎡当玄米重	(g)	603	629	631	96	%	96	%
		精玄米重歩合	(%)	94.8	94.4	94.8	0.4		0.0	
		検査等級	(等)	1	1	1.1	−		−	
		蛋白質含有率	(%)	7.7	7.7	7.9	0.0		0.2	
		倒伏程度		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
		病害虫の発生状況		0.0	−	−		−		−

※「ゆめまつり」生育基本調査は平成 25 年産から開始した。平均は過去 9 カ年の平均値。
※ 対差（比）の▲印は、月日に関しては早まったことを意味し、他の項目に関しては減少を意味する。
※ ㎡当玄米重（収量）、玄米千粒重は粒厚 1.8mm 以上、水分 14.5%に補正。
※ 蛋白質含有率は静岡精機G S -2000 で測定。
※ 令和 4 年より株間 18 ㎝（18.5 株/㎡）。

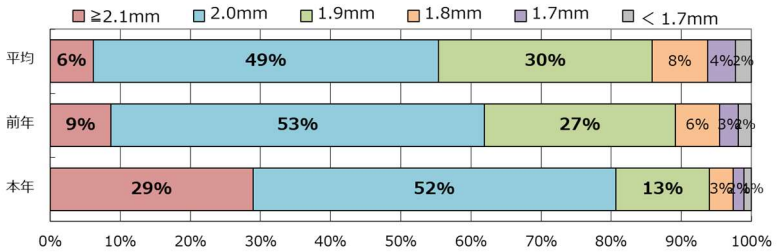


図１　粒厚分布

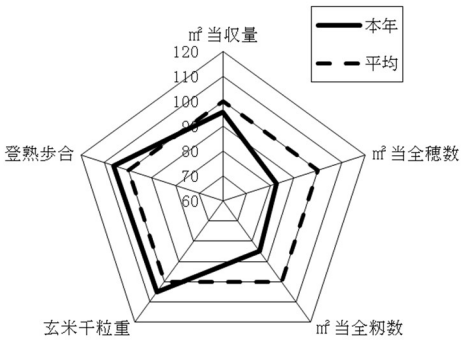


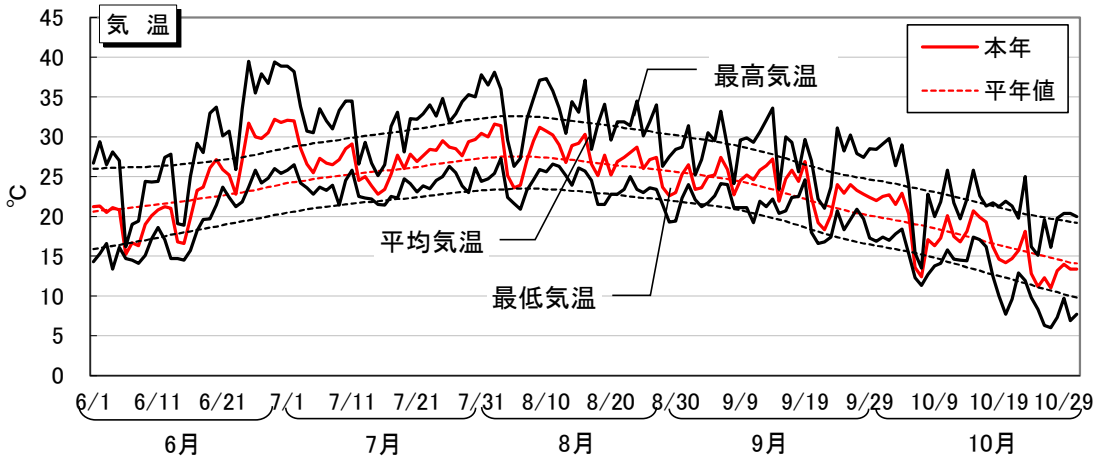
図２　収量構成要素(相対値比較)

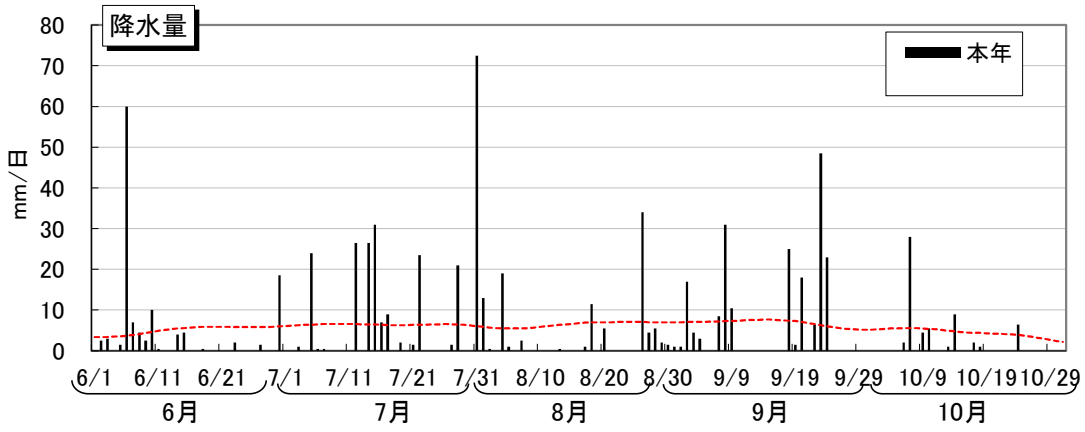
表２　玄米品質　（%）

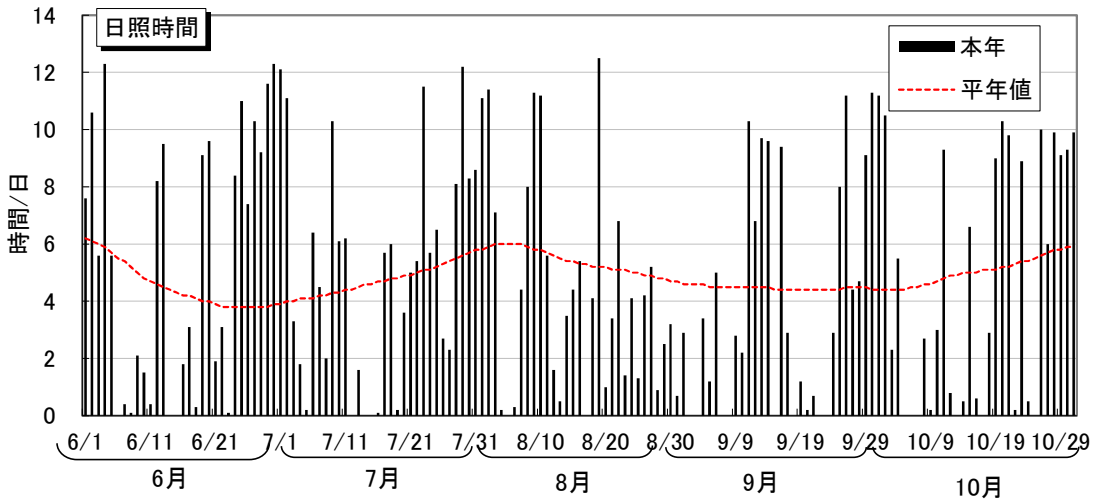
産年	整粒	未熟粒	被害粒	死米	着色粒	胴割粒	砕粒	蛋白質含量	検査等級
平成 25 年	83.2	9.0	0.2	0.3	0.0	1.9	5.4	8.3	1 等
平成 26 年	85.2	5.6	0.1	0.2	0.0	1.8	7.2	7.8	1 等
平成 27 年	80.7	8.7	0.4	0.6	0.0	1.8	7.7	8.3	1 等
平成 28 年	79.6	9.7	0.0	0.2	0.0	4.5	6.0	8.4	2 等
平成 29 年	88.5	4.3	0.3	0.1	0.0	1.5	5.3	8.3	1 等
平成 30 年	78.7	17.8	2.7	0.8	0.0	0.0	0.6	7.6	1 等
令和元年	91.2	7.7	0.3	0.1	0.0	0.6	0.1	7.8	1 等
令和 2 年	74.3	24.5	0.7	0.5	0.0	0.1	0.2	7.4	1 等
令和 3 年	69.3	30.4	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	7.7	1 等
令和 4 年	69.4	29.8	0.5	0.2	0.0	0.1	0.3	8.3	1 等
平均	80.0	14.7	0.5	0.3	0.0	1.2	3.3	8.0	-

注 1)玄米品質は、平成 29 年まで RS2000X（静岡製機）、以降は、RGQI90A（サタケ）で測定（粒重比）。
注 2)蛋白質含量は、GS2000（静岡製機）で測定（値は dry base）。
注 3)検査等級は、平成 29 年までは関東農政局群馬県拠点、以降は、JA 前橋市調べ。

気象経過(日別:2022年6月～10月)







気象経過（2022年6月～10月）

月	半旬	平均気温 本年	前年	平年値	前年差	平年差	最高気温 本年	前年	平年値	前年差	平年差	最低気温 本年	前年	平年値	前年差	平年差	降水量 本年	前年	平年値	前年比	平年比	日照時間 本年	前年	平年値	前年比	平年比
6	1	21.0	23.7	20.8	(2.8)	0.2	27.5	28.8	26.1	(1.3)	1.5	15.1	19.2	16.2	(4.1)	(1.0)	7.0	0.5	17.3	1400%	40%	41.7	33.8	29.9	123%	139%
		17.5	24.8	21.2	(7.4)	(3.7)	20.7	31.3	26.2	(10.6)	(5.6)	15.1	19.4	16.9	(4.3)	(1.8)	84.0	9.5	20.7	884%	406%	4.1	46.9	25.9	9%	16%
	3	19.3	24.3	21.7	(5.0)	(2.4)	23.5	29.2	26.4	(5.7)	(2.9)	15.9	20.6	17.7	(4.7)	(1.7)	9.0	97.0	26.4	9%	34%	18.1	17.9	22.5	101%	80%
		24.0	22.9	22.3	1.1	1.7	29.8	27.5	26.8	2.3	3.0	18.9	18.7	18.4	0.2	0.5	0.5	29.5	29.2	2%	2%	23.9	30.0	20.5	80%	117%
	5	26.5	21.3	22.9	5.2	3.6	31.9	24.8	27.3	7.1	4.6	22.6	18.7	19.2	3.8	3.3	2.0	18.5	29.2	11%	7%	24.5	2.6	19.1	942%	128%
		30.9	24.2	23.7	6.7	7.2	37.7	27.8	28.1	9.8	9.6	25.2	20.4	20.0	4.8	5.2	20.0	36.5	29.3	55%	68%	50.8	19.4	19.1	262%	266%
7	1	29.0	24.5	24.4	4.5	4.5	34.4	29.0	28.9	5.4	5.5	24.6	20.9	20.7	3.6	3.8	25.0	47.5	31.4	53%	80%	28.5	12.5	20.1	228%	142%
		27.2	24.8	25.0	2.4	2.2	32.9	27.7	29.5	5.2	3.3	23.4	22.1	21.3	1.3	2.1	1.0	72.5	32.9	1%	3%	29.3	1.2	21.1	2442%	139%
	3	25.0	22.8	25.5	2.2	(0.5)	28.4	26.3	30.1	2.1	(1.7)	22.9	20.3	21.8	2.6	1.1	84.0	44.0	32.7	191%	257%	7.8	10.3	22.5	76%	35%
		26.0	22.9	25.9	3.1	0.1	30.3	26.5	30.6	3.8	(0.4)	23.0	19.9	22.2	3.1	0.8	18.0	11.5	31.6	157%	57%	15.6	15.3	23.9	102%	65%
	5	28.1	24.5	26.5	3.7	1.7	33.3	27.3	31.2	6.0	2.1	24.0	22.1	22.6	1.9	1.4	25.0	44.5	32.2	56%	78%	34.1	5.6	25.3	609%	135%
		29.1	24.3	27.1	4.8	2.0	34.6	27.7	32.0	6.9	2.5	24.9	21.6	23.1	3.2	1.8	95.0	47.0	38.2	202%	249%	42.2	7.4	33.3	570%	127%
8	1	28.3	27.8	27.5	0.6	0.9	33.3	33.0	32.5	0.3	0.8	24.3	23.3	23.4	1.0	0.9	33.5	0.0	28.2	--	119%	29.8	31.4	29.7	95%	100%
		28.5	29.2	27.5	(0.7)	1.0	33.7	33.9	32.5	(0.2)	1.2	24.1	25.0	23.5	(1.0)	0.6	2.5	0.0	28.2	--	9%	35.2	26.2	29.5	134%	119%
	3	28.8	31.0	27.1	(2.2)	1.7	33.5	37.5	32.1	(4.0)	1.4	25.6	25.6	23.3	(0.0)	2.3	0.5	46.0	31.8	1%	2%	15.6	48.9	27.6	32%	57%
		27.0	30.9	26.7	(3.9)	0.3	32.2	37.2	31.6	(5.0)	0.6	23.2	26.2	22.9	(3.0)	0.3	18.0	0.0	34.7	--	52%	23.0	50.3	26.2	46%	88%
	5	27.4	28.7	26.3	(1.3)	1.1	32.0	34.3	31.0	(2.4)	0.9	23.5	24.0	22.5	(0.5)	1.0	0.0	8.0	35.4	0%	0%	17.0	40.8	25.3	42%	67%
		24.9	29.5	25.8	(4.7)	(0.9)	29.5	34.9	30.4	(5.4)	(0.9)	21.6	25.1	22.1	(3.5)	(0.5)	48.5	6.5	42.1	746%	115%	16.7	42.4	28.8	39%	58%
9	1	24.7	27.2	25.2	(2.4)	(0.4)	28.7	32.5	29.7	(3.7)	(0.9)	22.3	23.9	21.5	(1.6)	0.8	25.5	88.0	35.4	29%	72%	7.5	21.7	22.9	35%	33%
		25.1	27.2	24.5	(2.1)	0.6	29.1	32.2	29.0	(3.1)	0.1	22.3	23.9	20.9	(1.6)	1.4	50.0	21.0	36.4	238%	137%	10.0	18.2	22.5	55%	44%
	3	25.2	24.5	23.6	0.6	1.6	29.8	28.4	28.0	1.4	1.8	21.0	21.7	20.0	(0.8)	1.0	0.0	95.5	38.1	0%	0%	36.4	12.4	22.4	294%	163%
		24.8	24.1	22.4	0.7	2.4	28.3	27.7	26.8	0.6	1.5	21.6	21.1	18.9	0.5	2.8	44.5	5.0	36.9	890%	121%	13.7	9.0	22.0	152%	62%
	5	20.9	21.3	21.2	(0.3)	(0.3)	25.2	25.3	25.6	(0.1)	(0.4)	18.0	18.7	17.6	(0.8)	0.3	78.0	29.5	31.5	264%	248%	11.6	16.6	22.0	70%	53%
		22.9	19.6	20.3	3.3	2.6	25.2	23.9	24.8	1.3	0.5	18.0	15.9	16.6	2.0	1.3	0.0	5.5	26.7	0%	0%	40.7	26.7	22.4	152%	182%
10	1	22.0	20.4	19.5	1.5	2.5	27.7	25.4	24.1	2.2	3.6	17.2	16.8	15.9	0.4	1.3	0.0	0.0	26.9	--	0%	29.5	18.3	22.0	161%	134%
		15.3	16.2	18.7	(0.9)	(3.3)	18.7	18.9	23.2	(0.2)	(4.5)	12.8	14.0	15.0	(1.2)	(2.2)	40.0	117.5	27.7	34%	144%	5.9	4.2	22.9	140%	26%
	3	18.6	20.4	17.7	(1.8)	0.9	23.0	25.2	22.3	(2.2)	0.7	15.3	16.7	13.9	(1.4)	1.5	10.0	2.0	24.7	500%	40%	17.2	18.2	24.6	95%	70%
		16.8	13.5	16.6	3.3	0.2	21.7	17.7	21.3	4.1	0.4	12.7	10.3	12.7	2.4	(0.0)	3.0	18.5	21.8	16%	14%	22.8	16.1	25.5	142%	89%
	5	14.5	15.1	15.6	(0.6)	(1.1)	19.5	20.0	20.3	(0.6)	(0.9)	10.5	11.2	11.6	(0.7)	(1.1)	6.5	12.5	19.9	52%	33%	19.4	25.0	26.8	78%	72%
		13.0	14.3	14.5	(1.3)	(1.5)	19.3	20.5	19.5	(1.1)	(0.2)	7.5	9.6	10.4	(2.1)	(2.8)	0.0	0.0	17.0	--	0%	54.2	52.2	34.7	104%	156%
6月		23.2	23.5	21.5	(0.4)	1.7	28.5	28.2	26.2	0.3	2.3	18.8	19.5	17.5	(0.7)	1.3	122.5	191.5	145.2	64%	84%	163.1	150.6	132.2	108%	123%
7月		27.5	24.0	25.1	3.5	2.4	32.4	27.4	29.7	5.0	2.7	23.8	21.2	21.4	2.7	2.4	248.0	267.0	197.3	93%	126%	157.5	52.3	139.0	301%	113%
8月		27.4	29.5	26.4	(2.1)	1.0	32.3	35.1	31.3	(2.9)	1.0	23.6	24.9	22.6	(1.2)	1.0	103.0	60.5	202.3	170%	51%	137.3	240.0	165.1	57%	83%
9月		24.0	24.0	22.4	(0.0)	1.6	28.3	28.3	26.7	(0.1)	1.6	20.7	20.9	18.9	(0.2)	1.8	198.0	244.5	220.6	81%	90%	119.9	104.6	126.2	115%	95%
10月		16.6	16.6	16.5	(0.0)	0.1	21.6	21.3	21.2	0.3	0.4	12.5	13.0	12.5	(0.5)	(0.0)	59.5	150.5	115.5	40%	52%	149.0	134.0	161.0	111%	93%
6-10月		23.7	23.5	22.4	0.2	1.3	28.6	28.1	27.0	0.5	1.6	19.9	19.9	18.6	0.0	1.3	731.0	914.0	880.9	80%	83%	726.8	681.5	723.5	107%	100%
6/1旬-5旬（育苗期間）		21.7	23.4	21.8	(1.8)	(0.1)	26.7	28.3	26.6	(1.6)	0.1	17.5	19.3	17.7	(1.8)	(0.1)	102.5	155.0	122.8	66%	83%	112.3	131.2	117.9	86%	95%
6/6旬～8/1旬（移植～幼穂形成始期）		28.0	24.5	25.7	3.5	2.3	33.1	28.1	30.4	5.0	2.7	24.0	21.3	21.9	2.7	2.1	301.5	303.5	256.5	99%	118%	238.1	103.1	195.0	231%	122%
8/2旬-8/5旬（幼穂形成期～出穂期）		27.9	29.9	26.9	(2.0)	1.0	32.8	35.7	31.8	(2.9)	1.0	24.1	25.2	23.1	(1.1)	1.0	21.0	54.0	130.1	39%	16%	90.8	166.2	108.6	55%	84%
8/6旬-10/3旬（出穂期～成熟期）		22.5	23.2	22.0	(0.7)	0.5	26.9	27.6	26.5	(0.7)	0.5	19.1	19.9	18.3	(0.7)	0.8	296.5	370.5	326.4	80%	91%	189.2	187.7	232.5	101%	81%
6/1旬-10/3旬		25.5	24.9	24.2	0.6	1.3	30.2	29.2	28.9	1.0	1.4	21.8	21.4	20.5	0.5	1.3	619.0	728.0	713.0	85%	87%	518.1	457.0	536.1	113%	97%

注）前橋地方気象台の気象データを使用。平年値は1991年～2020年。

６　水田面積の推移

区分	群馬県					全国				
	耕地面積	水田			水田率	耕地面積	水田			水田率
	(a)	本地	畦畔	計 (b)	(b／a)	(a)	本地	畦畔	計 (b)	(b／a)
	ha	ha	ha	ha	%	千ha	千ha	千ha	千ha	%
S 30	117,623			34,385	32.5					
35	121,495	39,357	2,963	42,320	34.8	6,017	3,146	236	3,381	55.7
40	120,400	39,700	2,990	42,700	35.5	6,004	3,154	236	3,391	56.5
45	114,100	39,700	2,900	42,600	37.3	5,796	3,180	234	3,415	58.9
50	106,500	36,500	2,670	39,200	36.8	5,572	2,959	212	3,171	56.9
55	103,100	35,800	2,600	38,400	37.2	5,461	1,858	197	3,055	55.9
56	102,100	35,300	2,570	37,900	37.1	5,442	2,836	195	3,031	55.7
57	101,000	34,800	2,540	37,300	36.9	5,426	2,817	193	3,010	55.5
58	100,700	34,600	2,520	37,100	36.8	5,411	2,798	191	2,989	55.2
59	100,200	34,200	2,480	36,700	36.6	5,396	2,783	188	2,971	55.1
60	99,500	34,000	2,470	36,500	36.7	5,379	2,766	186	2,952	54.9
61	98,100	33,600	2,280	35,900	36.6	5,358	2,748	183	2,931	54.7
62	97,300	33,400	2,270	35,700	36.7	5,340	2,729	181	2,910	54.5
63	96,500	33,100	2,260	35,400	36.7	5,317	2,710	179	2,889	54.3
H1	95,200	32,800	2,230	35,000	36.8	5,279	2,692	177	2,868	54.3
2	93,900	32,500	2,210	34,700	37.0	5,243	2,672	175	2,846	54.3
3	92,700	32,000	2,180	34,200	36.9	5,204	2,652	173	2,825	54.3
4	91,900	31,800	2,170	33,990	36.9	5,165	2,631	171	2,802	54.2
5	90,600	31,300	2,150	33,400	36.9	5,124	2,612	170	2,782	54.3
6	89,500	31,000	2,130	33,100	37.0	5,083	2,596	168	2,764	54.4
7	88,700	30,800	2,120	32,900	37.1	5,038	2,579	166	2,745	54.5
8	87,900	30,400	2,090	32,500	37.0	4,994	2,560	164	2,724	54.5
9	86,700	30,100	2,080	32,200	37.1	4,949	2,539	162	2,701	54.6
10	85,700	29,900	2,060	32,000	37.3	4,905	2,519	160	2,679	54.6
11	84,700	29,700	2,050	31,700	37.4	4,866	2,510	158	2,659	54.6
12	83,800	29,500	2,030	31,500	37.6	4,830	2,485	156	2,641	54.7
13	82,900	29,300	2,010	31,300	37.8	4,794	2,469	155	2,624	54.7
14	81,700	28,900	1,980	30,880	37.8	4,762	2,454	153	2,607	54.4
15	80,400	28,400	1,950	30,300	37.7	4,736	2,440	152	2,592	54.7
16	79,200	27,900	1,930	29,800	37.6	4,714	2,425	151	2,575	54.6
17	78,500	27,500	1,910	29,400	37.5	4,692	2,410	146	2,556	54.5
18	77,900	27,300	1,900	29,200	37.5	4,671	2,398	145	2,543	54.4
19	77,400	27,100	1,880	29,000	37.5	4,650	2,386	143	2,530	54.4
20	76,900	26,800	1,870	28,700	37.3	4,628	2,373	143	2,516	54.4
21	76,300	26,600	1,850	28,400	37.2	4,609	2,364	142	2,506	54.4
22	75,400	26,300	1,820	28,100	37.3	4,593	2,355	141	2,496	54.3
23	74,500	26,000	1,790	27,800	37.3	4,561	2,334	140	2,474	54.2
24	73,900	25,800	1,770	27,570	37.3	4,549	2,329	140	2,469	54.3
25	73,300	25,700	1,760	27,400	37.4	4,537	2,326	140	2,465	54.3
26	72,600	25,500	1,750	27,200	37.5	4,518	2,320	138	2,458	54.4
27	71,900	25,300	1,740	27,100	37.7	4,496	2,310	136	2,446	54.4
28	70,900	25,100	1,720	26,800	37.8	4,471	2,296	135	2,432	54.4
29	69,500	24,700	1,680	26,400	38.0	4,444	2,284	134	2,418	54.4
30	68,400	24,400	1,640	26,100	38.2	4,420	2,273	132	2,405	54.4
R1	67,600	24,100	1,630	25,800	38.2	4,397	2,261	132	2,393	54.4
R2	66,800	23,700	1,600	25,300	37.9	4,372	2,248	131	2,379	54.4
R3	65,900	23,100	1,580	24,700	37.5	4,349	2,236	130	2,366	54.4
R4	64,900	22,700	1,550	24,200	37.3	4,325	2,223	129	2,352	54.4

注）農林水産省「耕地面積」による。

7　作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

（１）群馬県

項目	水陸稲合計		水稲					陸稲				
年次	作付面積	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	kg		ha	kg	t	kg	
30	52,958	183,495	35,721	394	140,580	368	107	15,312	231	35,340	171	135
35	53,628	183,660	39,172	393	154,100	366	107	14,479	204	29,600	185	111
40	50,100	155,800	39,600	351	139,000	383	92	10,500	160	16,800	203	79
45	39,900	148,600	36,000	390	140,400	373	105	3,870	211	8,170	182	116
50	34,300	145,400	33,000	434	143,200	397	109	1,300	166	2,160	191	87
55	28,800	104,700	28,100	368	103,400	411	90	650	197	1,280	187	105
56	27,500	107,400	26,800	396	106,100	411	96	661	191	1,260	187	102
57	27,000	85,900	26,300	322	84,700	415	78	684	174	1,190	187	93
58	27,400	102,500	26,700	379	101,200	415	91	679	193	1,310	187	103
59	27,800	123,700	27,200	451	122,700	415	109	620	168	1,040	187	90
60	27,900	128,900	27,300	468	127,800	415	113	600	178	1,070	183	97
61	27,300	123,200	26,700	456	121,800	419	109	639	224	1,430	183	122
62	24,700	115,700	24,000	475	114,000	423	112	697	242	1,690	183	132
63	24,200	95,300	23,400	401	93,800	429	93	803	184	1,480	187	98
Ｈ１	23,700	105,100	22,900	452	103,500	431	105	791	206	1,630	191	108
2	23,200	107,700	22,500	474	106,700	436	109	706	137	967	194	71
3	22,300	100,500	21,800	455	99,200	441	103	576	231	1,330	194	119
4	22,700	107,700	22,200	482	107,000	446	108	466	156	727	197	79
5	22,600	88,500	22,200	396	87,900	452	88	409	150	614	197	76
6	24,500	124,000	24,100	512	123,400	452	113	394	146	575	197	74
7	23,300	116,300	23,000	503	115,700	456	110	372	169	629	197	86
8	21,500	109,000	21,200	512	108,500	460	111	324	141	457	190	74
9	21,100	105,000	20,900	500	104,500	468	107	224	222	497	166	134
10	19,700	87,600	19,500	447	87,600	476	94	196	216	423	－	－
11	19,700	96,400	19,500	493	96,100	484	102	154	209	322	－	－
12	19,500	91,800	19,400	472	91,600	491	96	130	180	234	－	－
13	19,100	90,600	19,000	476	90,400	491	97	119	170	201	－	－
14	18,900	91,900	18,800	488	91,700	492	99	106	171	181	－	－
15	18,900	87,200	18,800	463	87,000	492	94	98	185	181	－	－
16	19,300	99,100	19,200	515	98,900	492	105	93	163	152	－	－
17	19,500	95,800	19,400	493	95,600	494	100	88	186	164	－	－
18	19,100	89,600	19,000	471	89,500	494	95	57	161	92	－	90
19	18,900	90,000	18,800	478	89,900	494	97	48	160	77	－	92
20	18,400	91,800	18,300	501	91,700	494	101	34	173	59	－	102
21	18,200	91,100	18,200	500	91,000	494	101	27	192	52	－	112
22	18,100	73,100	18,000	406	73,100	494	82	25	144	36	－	83
23	17,700	88,200	17,600	501	88,200	494	101	20	175	35	－	104
24	17,800	90,400	17,800	508	90,400	494	103	20	152	30	－	89
25	17,600	89,600	17,600	509	89,600	494	103	17	159	27	－	97
26	17,300	86,500	17,300	500	86,500	494	101	13	162	21	－	99
27	15,800	77,300	15,800	489	77,300	479	98	11	163	18	－	99
28	15,400	77,800	15,400	505	77,800	479	102	7	157	11	－	97
29	15,500	77,300	15,500	499	77,300	479	101	3	160	5	－	101
30	15,600	78,900	15,600	506	78,900	479	102	－	－	－	－	－
Ｒ１	15,500	75,300	15,500	486	75,300	482	98	－	－	－	－	－
Ｒ２	15,500	76,900	15,500	496	76,900	482	100	－	－	－	－	－
Ｒ３	14,900	73,300	14,900	492	73,300	482	99	－	－	－	－	－
Ｒ４	14,400	72,300	14,400	502	72,300	482	101	－	－	－	－	－

注）１．農林水産省「水陸稲の収穫量」による。
２．H18以降の陸稲作況指数は、参考値（10a当たり平均収量対比）。
３．作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
４．10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米重量。
H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
群馬県は1.80mmのふるい目幅で算定。（26年産までは、1.70mmで算定。）
５．群馬県陸稲の平成30年産からは統計資料無し

（２）全国

項目	水陸稲合計		水稲					陸稲				
年次	作付面積	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数
	千ha	千t	千ha	kg	千t	kg		千ha	kg	千t	kg	
30	3,222	12,385	3,045	396	12,073	335	118	177.2	175	311.6	－	－
35	3,308	12,858	3,124	401	12,539	380	108	184.0	173	319.9	－	－
※40	3,255	12,409	3,123	390	12,181	403	97	132.4	172	228.1	188	91
45	2,923	12,689	2,836	442	12,528	431	103	87.4	184	160.8	195	94
50	2,764	13,165	2,719	481	13,085	450	107	44.9	179	80.4	200	90
※55	2,377	9,751	2,350	412	9,692	471	87	27.7	215	58.6	202	106
※56	2,278	10,259	2,251	453	10,204	474	96	27.0	202	54.5	203	100
※57	2,257	10,270	2,230	458	10,212	477	96	27.3	212	58.0	204	104
※58	2,273	10,366	2,273	459	10,308	478	96	27.0	216	58.3	204	106
59	2,315	11,878	2,290	517	11,832	479	108	25.2	181	45.7	204	89
60	2,342	11,662	2,318	501	11,613	481	104	23.6	206	48.5	205	100
61	2,303	11,647	2,303	508	11,592	484	105	22.5	244	54.8	206	118
62	2,146	10,627	2,123	498	10,571	487	102	23.0	243	56.0	209	116
63	2,110	9,935	2,087	474	9,888	490	97	22.8	205	46.8	211	97
Ｈ１	2,097	10,347	2,076	496	10,297	492	101	21.6	229	49.5	214	107
2	2,074	10,499	2,055	509	10,463	494	103	18.9	189	35.7	216	88
※3	2,049	9,604	2,033	470	9,565	497	95	16.1	243	39.2	217	112
4	2,106	10,573	2,092	504	10,546	498	101	13.7	196	26.9	219	89
※5	2,139	7,834	2,139	369	7,811	499	74	12.4	183	22.7	221	83
6	2,212	11,981	2,212	544	11,691	499	109	12.3	160	19.7	223	72
7	2,118	10,748	2,106	509	10,724	501	102	11.6	209	24.3	219	95
8	1,977	10,344	1,967	525	10,328	502	105	9.4	166	15.7	220	75
9	1,953	10,025	1,944	515	10,004	504	102	8.6	243	20.9	208	117
10	1,801	8,960	1,793	499	8,939	507	98	8.0	256	20.6	209	122
11	1,788	9,175	1,780	515	9,159	512	101	7.4	214	16.0	209	102
12	1,770	9,490	1,763	537	9,472	518	104	7.0	256	18.1	211	121
13	1,706	9,057	1,700	532	9,048	518	103	6.4	144	9.2	211	68
14	1,688	8,889	1,683	527	8,876	522	101	5.6	225	12.5	211	106
※15	1,665	7,792	1,660	469	7,779	524	90	5.0	250	12.5	214	117
16	1,701	8,730	1,697	514	8,721	525	98	4.7	200	9.4	217	92
17	1,706	9,074	1,702	532	9,062	527	101	4.5	266	11.9	－	－
18	1,688	8,556	1,684	507	8,546	529	96	4.1	246	10.1	－	106
19	1,673	8,714	1,669	522	8,705	529	99	3.6	257	9.4	－	108
20	1,627	8,823	1,624	543	8,815	530	102	3.2	265	8.5	－	111
21	1,624	8,474	1,621	522	8,466	530	98	3.0	276	8.3	－	110
22	1,628	8,483	1,625	522	8,478	530	98	3.0	189	5.5	－	72
23	1,576	8,402	1,574	533	8,397	530	101	2.4	220	5.2	－	88
24	1,581	8,523	1,579	540	8,519	530	102	2.1	172	3.6	－	68
25	1,599	8,607	1,597	539	8,603	530	102	1.7	249	4.3	－	104
26	1,575	8,439	1,573	536	8,435	530	101	1.4	257	3.6	－	107
27	1,506	7,989	1,505	531	7,986	517	100	1.2	233	2.7	－	97
28	1,479	8,044	1,478	544	8,042	517	103	0.9	218	2.1	－	94
29	1,466	7,824	1,465	534	7,822	517	100	0.8	236	1.9	－	106
30	1,470	7,782	1,470	529	7,780	519	98	0.8	232	1.7	－	100
Ｒ１	1,470	7,764	1,469	528	7,762	519	99	0.7	228	1.6	－	97
Ｒ２	1,462	7,765	1,462	531	7,763	512	99	0.6	236	1.5	－	100
Ｒ３	1,403	7,564	1,403	539	7,563	512	101	0.6	230	1.3	－	99
Ｒ４	1,355	7,270	1,355	536	7,269	512	100	0.5	216	1.0	－	93

注）年次欄の※印は冷害年を示す。

8　令和４年産市町村別水稲作付面積及び収量・収穫量

区　　分	水　稲（令和４年産）a			水　稲（令和３年産）b			同左増減　a-b		
	作付面積	10ａ当り収量	収穫量	作付面積	10ａ当り収量	収穫量	作付面積	10ａ当り収量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
県計　平25	17,600	509	89,600						
平26	17,300	500	86,500						
平27	15,800	489	77,300						
平28	15,400	505	77,800						
平29	15,500	499	77,300						
平30	15,600	506	78,900						
令元	15,500	486	75,300						
令２	15,500	496	76,900						
令３	14,900	492	73,300						
令４	14,400	502	72,300						
前橋市	1,780	506	8,980	1,890	498	9,420	-110	8	-440
伊勢崎市	912	500	4,560	974	492	4,790	-62	8	-230
玉村町	393	503	1,980	406	494	2,010	-13	9	-30
渋川市	396	496	1,960	399	488	1,950	-3	8	10
榛東村	107	470	503	115	464	534	-8	6	-31
吉岡町	119	474	564	117	468	548	2	6	16
高崎市	1,350	480	6,460	1,440	472	6,810	-90	8	-350
安中市	464	481	2,230	480	472	2,270	-16	9	-40
藤岡市	413	480	1,980	426	471	2,010	-13	9	-30
上野村	0	0	0	-	-	-			
神流町	0	0	0	-	-	-			
富岡市	305	473	1,440	279	465	1,300	26	8	140
下仁田町	10	459	46	10	451	45	0	8	1
南牧村	0	0	0	-	-	-			
甘楽町	78	475	371	82	466	382	-4	9	-11
中之条町	242	514	1,240	243	496	1,210	-1	18	30
長野原町	16	499	80	16	482	77	0	17	3
嬬恋村	42	489	205	43	469	202	-1	20	3
草津町	0	0	0	-	-	-			
高山村	110	516	568	111	498	553	-1	18	15
東吾妻町	241	513	1,240	241	494	1,190	0	19	50
沼田市	496	548	2,720	506	528	2,670	-10	20	50
片品村	43	467	201	44	448	197	-1	19	4
川場村	150	548	822	150	527	791	0	21	31
昭和村	29	516	150	30	499	150	-1	17	0
みなかみ町	364	527	1,920	369	509	1,880	-5	18	40
桐生市	199	494	983	210	481	1,010	-11	13	-27
みどり市	82	495	406	85	481	409	-3	14	-3
太田市	1,270	497	6,310	1,340	486	6,490	-70	11	-180
館林市	1,560	509	7,960	1,580	499	7,900	-20	10	60
板倉町	1,390	508	7,050	1,420	497	7,050	-30	11	0
明和町	397	506	2,010	413	496	2,050	-16	10	-40
千代田町	510	513	2,620	501	504	2,530	9	9	90
大泉町	170	505	859	173	495	856	-3	10	3
邑楽町	759	511	3,880	795	501	3,980	-36	10	-100

注）１．関東農政局群馬県拠点「水稲の市町村別作付面積及び収穫量」による。
　　２．ラウンドにより、県計値と市町村内訳の計が一致しないことがある。
　　３．作付面積は、青刈り用（飼料用米等含む）の面積を除いた面積である。

９　令和４年産全国水稲作付面積及び収量・収穫量

全国・都道府県	水稲					（参考）			
	作付面積（子実用）	前年対比	10ａ当り収量	収穫量（子実用）	前年対比	主食用作付面積	収穫量（主食用）	10ａ当り平年収量	作況指数
	ha	%	kg	t	%	ha	t	kg	
全国	1,355,000	97	536	7,269,000	96	1,251,000	6,701,000	512	100
北海道	93,600	97	591	553,200	96	82,500	487,600	530	106
青森	39,600	95	594	235,200	92	33,900	201,400	575	99
岩手	46,100	95	537	247,600	92	43,700	234,700	514	99
宮城	60,800	94	537	326,500	92	57,000	306,100	512	100
秋田	82,400	97	554	456,500	91	69,100	382,800	543	95
山形	61,500	98	594	365,300	93	52,700	313,000	566	99
福島	57,800	96	549	317,300	94	51,900	284,900	532	100
茨城	60,000	94	532	319,200	93	58,300	310,200	505	101
栃木	50,800	93	532	270,300	90	46,100	245,300	515	97
群馬	**14,400**	**97**	**502**	**72,300**	**99**	**12,400**	**62,200**	**482**	**101**
埼玉	28,600	95	498	142,400	93	27,400	136,500	479	101
千葉	47,700	94	544	259,500	93	45,500	247,500	533	100
東京	115	96	421	484	100	115	484	403	102
神奈川	2,880	99	501	14,400	100	2,880	14,400	476	101
新潟	116,000	99	544	631,000	102	99,900	543,500	528	99
富山	35,500	98	556	197,400	99	31,300	174,000	520	101
石川	23,100	97	532	122,900	98	20,700	110,100	509	101
福井	23,500	96	515	121,000	96	21,600	111,200	484	99
山梨	4,790	99	532	25,500	99	4,690	25,000	532	97
長野	30,800	98	608	187,300	99	29,800	181,200	599	98
岐阜	20,700	96	487	100,800	98	20,000	97,400	475	100
静岡	15,000	98	509	76,400	99	15,000	76,400	511	98
愛知	25,900	98	505	130,800	100	25,200	127,300	490	100
三重	25,600	97	511	130,800	100	25,200	128,800	478	102
滋賀	29,000	96	523	151,700	97	27,700	144,900	483	101
京都	14,000	99	514	72,000	101	13,400	68,900	492	101
大阪	4,540	98	503	22,800	101	4,540	22,800	478	102
兵庫	34,500	96	513	177,000	101	32,800	168,300	477	102
奈良	8,410	100	522	43,900	102	8,350	43,600	500	102
和歌山	5,980	98	519	31,000	102	5,980	31,000	485	105
鳥取	12,100	96	514	62,200	98	12,000	61,700	495	100
島根	16,400	98	519	85,100	97	16,100	83,600	482	101
岡山	28,100	98	524	147,200	98	27,100	142,000	500	99
広島	21,600	97	530	114,500	99	21,100	111,800	508	101
山口	17,600	96	526	92,600	99	16,600	87,300	480	105
徳島	9,910	96	480	47,600	99	9,640	46,300	462	102
香川	10,900	96	511	55,700	98	10,800	55,200	478	103
愛媛	13,100	99	524	68,600	102	13,000	68,100	468	104
高知	10,800	98	460	49,700	100	10,600	48,800	446	100
福岡	33,400	97	491	164,000	100	32,800	161,000	456	100
佐賀	22,800	98	514	117,200	99	22,300	114,600	487	98
長崎	10,400	96	470	48,900	96	10,400	48,900	466	95
熊本	31,300	97	501	156,800	100	30,200	151,300	479	96
大分	18,900	96	493	93,200	98	18,800	92,700	476	99
宮崎	15,400	97	488	75,200	97	13,400	65,400	482	98
鹿児島	18,000	97	478	86,000	97	16,600	79,300	470	98
沖縄	639	96	313	2,000	93	604	1,890	301	101

注）１．農林水産省「水陸稲の収穫量」　２．作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等含む）の面積を除いた面積である。　３．主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む）から加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積である。

１０　群馬県における昭和60年以降の水稲地域別作柄概況の推移

年次	作付面積（ｈａ）				10a当たり収量（kg）				収穫量（ｔ）			
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛
51	33,100	13,600	3,160	16,300	374	378	278	390	123,800	51,400	8,800	63,600
55	28,100	11,200	2,600	14,300	368	366	338	375	103,400	41,000	8,790	53,600
60	27,300	11,100	2,540	13,700	468	449	472	482	127,800	49,800	12,000	66,000
元	22,900	9,170	2,150	11,600	452	446	441	458	103,500	40,900	9,480	53,100
2	22,500	9,020	2,150	11,300	474	468	489	477	106,700	42,200	10,500	53,900
3	21,800	8,770	2,120	10,900	455	450	472	456	99,200	39,500	10,000	49,700
4	22,200	8,990	2,150	11,100	482	481	464	485	107,000	43,200	9,990	53,100
5	22,200	8,990	2,160	11,100	396	400	249	422	87,900	36,000	5,380	46,800
6	24,100	10,000	2,260	11,800	512	508	525	513	123,400	50,800	11,900	60,700
7	23,000	9,430	2,200	11,300	503	516	473	500	115,700	48,600	10,400	56,700
8	21,200	8,500	2,130	10,500	512	504	515	519	108,500	42,800	11,000	54,700
9	20,900	8,380	2,120	10,400	500	495	525	499	104,500	41,500	11,100	51,900
10	19,500	7,740	2,000	9,770	447	441	469	447	87,200	34,200	9,380	43,600
11	19,500	7,720	1,980	9,800	493	486	501	498	96,100	37,500	9,920	48,800
12	19,400	7,590	1,970	9,810	472	456	518	476	91,600	34,600	10,200	46,700
13	19,000	7,470	1,940	9,620	476	467	520	475	90,400	34,900	10,100	46,700
14	18,800	8,960	1,920	7,930	488	486	514	484	91,700	43,500	9,840	38,400
15	18,800	8,970	1,920	7,900	463	459	473	466	87,000	41,100	9,070	36,800
16	19,200	9,260	1,930	7,980	515	506	538	521	98,900	46,900	10,400	41,600
17	19,400	9,100	1,980	8,360	493	501	528	479	95,600	45,600	10,500	40,000
18	19,000	8,980	1,970	8,050	471	466	503	470	89,500	41,800	9,920	37,800
19	18,800	9,010	1,970	7,830	478	468	522	479	89,900	42,200	10,300	37,500
20	18,300	8,630	1,940	7,760	501	493	522	504	91,700	42,500	10,100	39,100
21	18,200	8,540	1,950	7,730	500	491	516	503	91,000	42,000	10,100	38,900
22	18,000	8,460	1,950	7,640	406	342	524	446	73,100	28,900	10,200	34,100
23	17,600	8,340	1,930	7,370	501	792	532	504	88,200	40,900	10,300	37,100
24	17,800	8,280	1,930	7,610	508	487	542	523	90,400	40,300	10,400	39,700
25	17,600	8,070	1,920	7,640	509	488	548	521	89,600	39,300	10,500	39,800
26	17,300	7,820	1,900	7,600	500	490	489	514	86,500	38,300	9,310	39,100
27	15,800	6,910	1,880	6,980	489	484	510	490	77,300	33,500	9,590	34,200
28	15,400	6,820	1,850	6,740	505	497	508	506	77,800	33,900	9,600	34,300
29	15,500	6,730	1,820	6,910	499	493	505	503	77,300	33,200	9,210	34,800
30	15,600	6,830	1,790	6,950	489	482	514	490	78,900	34,200	9,340	35,300
元	15,500	6,800	1,770	6,970	486	481	509	485	75,300	32,700	9,010	33,800
2	15,500	6,830	1,770	6,930	496	490	530	493	76,900	33,500	9,380	34,200
3	14,900	6,620	1,750	6,520	492	484	509	495	73,300	32,000	8,910	32,300
4	14.400	6.320	1.730	6.340	502	492	528	506	72.300	31.100	9.130	32.100

注）１．農林水産省「作物調査」による。
　　２．平成21年以降は関東農政局群馬県拠点「水稲の市町村別作付面積と収穫量」による。
　　３．10a当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米重量。
　　H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
　　群馬県は1.80㎜のふるい目幅で算定。（26年産までは、1.70㎜で算定。）

年次	10a当たり平年収量（kg）				作況指数				摘要
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	
51	405	404	400	407	92	94	70	96	冷害と穂いもち病による稔実不足
55	411	413	401	413	90	89	84	91	冷害、いもち病、日照不足。
60	415	418	403	414	113	107	117	116	梅雨明け後～9月中旬までの好天気。
元	431	428	420	435	105	104	105	105	8月以降の好気象、気象・病気等の被害少。
2	436	432	430	440	109	108	114	108	登熟期の高温・低湿・乳白粒の発生。
3	441	436	436	447	103	103	108	102	9月上旬の高温と中旬以降の曇雨天による粒の充実阻害、乳白粒の発生。
4	446	440	444	451	108	109	105	108	8月中旬以降の高温多照の好天候。
5	452	445	449	456	88	90	55	93	低温・寡照・多雨の影響で生育遅延・出穂遅れ、稔実歩合や粒の肥大・充実も不良、いもち病の発生。
6	452	446	449	458	113	114	117	112	7・8月の平均気温は観測史上1位。
7	456	452	454	463	110	114	104	108	
8	460	456	457	467	111	111	113	111	登熟期の日較差が大きく、稔実・肥大が良好。
9	468	465	468	470	107	106	112	106	
10	476	474	477	478	94	93	98	94	8月下旬以降の天候不順と、台風5号等による倒伏から品質不良。
11	484	481	489	486	102	101	102	102	
12	491	482	503	495	96	95	103	96	9月2･3日の高温と乾燥風により乳白粒の多発。
13	491	482	503	495	97	97	103	96	8月天候不順、台風11・15号による褐変籾の発生や台風通過後の高温・低湿による乳白米等の発生。
14	492	484	507	498	99	100	101	97	
15	492	484	507	498	94	95	93	94	低温・寡照の影響により出穂･成熟遅れ、粒の肥大･充実やや不良、いもち病の発生、品質は概ね良好。
16	492	485	511	496	105	104	105	105	6月下旬～8月中旬高温･多照により分げつ旺盛、有効穂数･全もみ数やや多い。登熟やや良。
17	494	487	520	496	100	103	102	97	高温や高夜温の影響により乳白粒・心白粒等が発生、東毛でイナズマヨコバイ大発生。
18	494	487	520	496	95	96	97	95	梅雨明けが10日程度遅れ、分げつが抑制された。登熟期の天候には恵まれたが作柄はやや不良。
19	494	487	520	496	97	96	100	97	くず米が多くやや減収した。高温の影響かゴロピカリの１等比率が低下した。
20	494	487	520	496	101	101	100	102	登熟良好。
21	494	487	520	496	101	101	99	101	
22	494	487	520	496	82	70	101	90	高温の影響により、白未熟粒等が発生し、規格外米が大量発生した。
23	494	487	520	496	101	101	102	102	台風による倒伏や9月下旬～10月上旬の低温により粒の肥大・充実が緩慢だったが、もみ数が多かった。
24	494	487	520	496	103	100	104	105	早期栽培は、全般に白未熟粒がみられた。普通期栽培では早期栽培より程度は軽かった。
25	494	487	520	496	103	100	105	105	
26	494	487	520	496	101	101	94	104	早植栽培地帯で、出穂後の低温・日照不足により死米、青未熟粒が発生した。
27	479	470	509	481	98	98	98	97	登熟期間の低温･日照不足により、死米や青未熟粒が発生し、収量・品質が低下した。
28	479	469	510	480	102	102	101	102	8月～9月の日照不足により白未熟粒の発生が見られたが、品質は平年より優れる。
29	499	493	505	503	101	101	97	101	7月～8月は日照不足。10月は長雨・台風により大幅な刈り遅れや倒伏が発生したが、品質は優れる。
30	479	470	510	480	102	103	101	102	7月の高温の影響で白未熟粒、胴割粒が多く、1等米比率が低い。
元	482	473	510	484	98	98	98	97	７月の低温、日照不足で生育が遅れたが、梅雨明け以降回復した。品質は一部で白未熟粒の発生が見られた。
2	482	473	510	484	100	100	102	99	7月の日照不足の影響で穂数が少なかった。8月の高温の影響により早期・早植栽培の一部で白未熟粒等が多く発生した。
3	482	472	511	484	99	99	98	99	8月中旬・9月上旬の低温・降雨の影響により、全域で穂いもちが多く発生した。
4	498	490	520	500	101	100	101	101	高温の影響により白未熟粒が平年より多く、全域で紋枯病、内穎褐変病が多かった。

４．作柄表示地帯区分

中毛：前橋市、高崎市、伊勢崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、榛東村、吉岡町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、玉村町

北毛：沼田市、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

東毛：桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

１１　田植の進捗状況等の推移

（１）年度別状況

項目／年度	水田面積（本地面積）	水稲作付面積	左のうち 直播面積	左のうち 移植面積（A）	時期別 5月15日 面積（B）	5月15日 B／A	6月1日 面積（B）	6月1日 B／A	6月15日 面積（B）	6月15日 B／A
	ha	ha	ha	ha	ha	%	ha	%	ha	%
昭和45	39,700	36,000	438	35,496	－	－	3,448	9.7	－	－
50	36,500	34,300	2,748	30,399	－	－	3,033	10.0	－	－
55	35,800	28,100	368	27,824	306	1.1	2,368	8.5	－	－
60	34,000	27,300	141	27,459	197	0.7	2,968	10.8	7,249	26.4
平成元年	32,800	22,900	148	22,452	176	0.8	2,970	13.2	7,667	34.1
2	32,500	22,500	165	22,035	262	1.2	3,358	15.2	6,824	31.0
3	32,000	21,800	154	21,646	265	1.2	2,951	13.6	8,090	37.4
4	31,800	22,200	128	22,572	229	1.0	3,179	14.1	9,333	41.3
5	31,300	22,200	100	22,100	309	1.4	2,149	9.7	9,221	41.7
6	31,000	24,100	100	24,100	539	2.2	3,525	14.6	11,127	46.2
7	30,800	23,000	133	23,000	815	3.5	3,562	15.5	10,694	46.5
8	30,400	21,200	128	21,072	927	4.4	3,372	16.0	8,914	42.3
9	30,100	20,900	89	20,811	868	4.2	4,235	20.3	10,665	51.2
10	29,900	19,500	83	19,417	874	4.5	4,235	21.8	10,194	52.5
11	29,700	19,500	83	19,431	791	4.1	4,349	22.4	9,684	49.8
12	29,500	19,400	75	19,308	850	4.4	4,463	23.1	10,993	56.9
13	29,300	19,000	73	18,925	806	4.3	4,613	24.4	10,560	55.8
14	28,900	18,800	71	18,729	900	4.8	4,034	21.5	9,479	50.4
15	28,400	18,800	66	18,734	921	4.9	4,474	23.9	9,701	51.6
16	27,900	19,200	60	19,140	1,138	5.9	5,145	26.8	10,522	54.8
17	27,500	19,400	54	19,346	1,125	5.8	4,889	25.9	9,933	50.1
18	27,300	19,000	48	18,952	1,042	5.5	4,909	25.9	9,495	50.1
19	27,100	18,800	47	18,753	842	4.5	4,733	25.2	9,748	52.0
20	26,800	18,300	47	18,253	922	5.1	4,723	25.9	9,770	53.5
21	26,600	18,200	44	18,156	871	4.8	4,829	26.6	9,718	53.5
22	26,300	18,000	41	17,959	844	4.7	4,472	24.9	9,482	52.8
23	26,000	17,600	44	17,556	876	5.0	4,695	26.7	9,354	53.3
24	25,800	17,800	43	17,757	1,015	5.7	4,640	26.1	9,321	52.5
25	25,700	17,600	38	17,562	1,583	9.0	4,288	24.4	9,206	52.4
26	25,500	17,300	50	17,250	1,518	8.8	3,761	21.8	9,281	53.8
27	25,300	15,800	34	15,766	1,283	8.1	3,681	23.4	8,985	57.0
28	25,100	15,400	40	15,360	1,186	7.7	3,715	24.2	8,720	56.8
29	24,700	15,500	38	15,462	1,128	7.3	3,768	24.4	8,624	55.8
30	24,400	15,600	33	15,567	1,117	7.2	3,883	24.9	8,773	56.4
令和元年	24,100	15,500	33	15,467	1,024	6.6	3,759	24.3	8,640	55.9
2	23,700	15,500	36	15,464	1,036	6.7	3,773	24.4	8,768	56.7
3	23,100	14,900	42	14,858	1,025	6.9	3,789	25.5	8,573	57.7
4	22,700	14,400	45	14,400	984	6.8	3,612	25.1	7,976	55.4

（２）地域別の状況（令和4年産）

農業事務所別	農業指導センター別	令和4年水稲作付面積推計	左のうち 直播面積	左のうち 移植面積（A）	時期別 5月15日 面積（B）	5月15日 B／A	6月1日 面積（B）	6月1日 B／A	6月15日 面積（B）	6月15日 B／A
		ha	ha	ha	ha	%	ha	%	ha	%
中部	中部	2,417		2,417	6	0.2%	268	11.1%	805	33.3%
	渋川地区	462		462	2	0.4%	156	33.8%	369	80.0%
	伊勢崎地区	1,447		1,447	0	0.0%	4	0.3%	26	1.8%
	計	4,325	0	4,325	7	0.2%	429	11.0%	1,200	30.2%
西部	西部	1,393		1,393	2	0.2%	165	11.9%	779	55.9%
	藤岡地区	726		726	0	0.0%	19	2.6%	254	35.0%
	富岡地区	323		323	2	0.8%	13	4.1%	224	69.4%
	計	2,442	0	2,442	5	0.2%	198	8.7%	1,257	53.0%
吾妻		674		674	84	12.5%	618	91.8%	671	99.6%
利根沼田		965		965	248	25.7%	945	97.9%	965	100.0%
東部	東部	1,685		1,685	2	0.1%	115	6.8%	996	59.1%
	桐生地区	419		419	13	3.2%	157	37.5%	382	91.2%
	館林地区	3,891		3,891	690	17.7%	1,245	32.0%	2,433	62.5%
	計	5,995	0	5,995	705	11.8%	1,517	25.3%	3,811	63.6%
合計		14,400	0	14,400	984	6.8%	3,612	25.1%	7,976	55.4%

注）１．蚕糸園芸課資料による。地域別作付面積推計は、地域別作付予定面積及び農林水産統計「令和4年産水稲の作付面積及び収穫量」より算定。数値はラウンドしており、合計と一致しない。

２．平成5年以前の6月1日及び7月1日現在については、それぞれ5月31日、6月30日現在の調査数値である。

３．平成22年以前の7月15日現在については、7月10日現在での調査数値である。

４．平成25年度の5月15日現在については、5月20日現在での調査数値である。

進捗状況								植付完了	項目 / 年度
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日			
面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A		
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%		
13,098	36.9	26,433	74.5	34,373	96.8	35,484	99.9	7月14日	45
20,820	68.5	28,758	94.6	30,236	99.5	30,399	100.0	7月6日	50
20,105	72.3	25,998	93.4	27,443	98.6	27,824	100.0	7月10日	55
21,046	76.6	26,807	97.6	27,408	99.8	27,459	100.0	7月10日	60
14,334	63.8	21,758	96.9	22,431	99.9	22,452	100.0	7月10日	平成元年
17,946	81.4	21,582	97.9	22,026	99.9	22,035	100.0	7月10日	2
20,290	93.7	21,591	99.7	21,646	100.0	21,646	100.0	7月4日	3
17,722	78.5	22,184	98.3	22,548	99.9	22,572	100.0	7月10日	4
17,315	78.3	21,578	97.6	21,992	99.5	22,100	100.0	7月10日	5
21,745	90.2	23,883	99.1	24,100	100.0	24,100	100.0	7月5日	6
18,817	81.8	22,397	97.4	22,976	99.9	23,000	100.0	7月10日	7
14,877	70.6	20,229	96.0	21,051	99.9	21,072	100.0	7月10日	8
19,220	92.4	20,705	99.5	20,811	100.0	20,811	100.0	7月5日	9
18,563	95.6	19,320	99.5	19,398	99.9	19,417	100.0	7月10日	10
18,600	95.7	19,362	99.6	19,431	100.0	19,431	100.0	7月5日	11
17,935	92.9	19,223	99.6	19,308	100.0	19,308	100.0	7月5日	12
17,768	93.9	18,871	99.7	18,925	100.0	18,925	100.0	7月5日	13
17,579	93.5	18,612	99.0	18,800	100.0	18,800	100.0	7月5日	14
16,506	87.8	18,574	98.8	18,706	99.5	18,800	100.0	7月10日	15
17,939	93.4	19,063	99.3	19,190	99.9	19,200	100.0	7月10日	16
18,126	76.5	18,643	96.1	19,361	99.8	19,400	100.0	7月10日	17
14,498	76.5	18,099	95.5	18,914	99.8	18,952	100.0	7月10日	18
17,314	92.3	18,658	99.5	18,714	99.8	18,753	100.0	7月9日	19
16,344	89.5	18,161	99.5	18,253	100.0	18,253	100.0	7月5日	20
17,194	94.7	18,120	99.8	18,156	100.0	18,156	100.0	7月5日	21
15,552	86.6	17,779	99.0	17,941	99.9	17,959	100.0	7月8日	22
13,629	77.6	17,004	96.9	17,537	99.9	17,556	100.0	7月13日	23
13,633	76.8	16,961	95.6	17,742	99.9	17,757	100.0	7月12日	24
14,759	84.0	17,321	98.6	17,541	99.9	17,558	100.0	7月12日	25
14,813	85.9	17,026	98.7	17,233	99.9	17,250	100.0	7月8日	26
14,305	90.7	15,651	99.3	15,757	99.9	15,766	100.0	7月13日	27
13,922	90.6	15,125	98.5	15,265	99.4	15,360	100.0	7月13日	28
13,705	88.6	15,192	98.3	15,407	99.6	15,462	100.0	7月18日	29
13,710	88.1	15,371	98.7	15,484	99.5	15,567	100.0	7月14日	30
13,351	86.3	15,044	97.3	15,362	99.3	15,467	100.0	7月12日	令和元年
13,485	87.2	15,124	97.8	15,371	99.4	15,461	100.0	7月15日	2
		14,353	96.6			14,858	100.0	7月15日	3
		13,754	95.5			14,398	100.0	7月15日	4

進捗状況								植付完了	農業指導センター別
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日			
面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A		
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%		
		2,188	90.5%			2,417	100.0%	7月15日	中部
		446	96.7%			462	100.0%	7月5日	渋川地区
		1,213	83.9%			1,447	100.0%	7月11日	伊勢崎地区
		3,847	89.3%			4,325	100.0%		計
		1,323	95.0%			1,391	99.9%	7月15日～	西部
		697	96.1%			726	100.0%	7月11日	藤岡地区
		318	98.5%			323	100.0%	7月3日	富岡地区
		2,338	95.7%			2,440	99.9%		計
		674	100.0%			674	100.0%	6月19日	吾妻
		965	100.0%			965	100.0%	6月13日	利根沼田
		1,664	98.8%			1,685	100.0%	7月13日	東部
		416	99.2%			419	100.0%	7月4日	桐生地区
		3,849	98.9%			3,891	100.0%	7月12日	館林地区
		5,928	98.9%			5,995	100.0%		計
		13,754	95.5%			14,398	100.0%		合計

１２　群馬県新規需要米等の取組計画認定状況

区分		新規需要米						
		飼料用	米粉用	輸出用	バイオエタノール用	酒造用	稲発酵粗飼料用(WCS)	青刈り稲及びわら専用稲
22	数量(t)	685	612	2	－	－		
	面積(ha)	139	124	1	－	－	287	2
23	数量(t)	3,231	772	2	－	－		
	面積(ha)	644	157	0	－	－	393	4
24	数量(t)	2,162	897	2	－	－		
	面積(ha)	440	183	0	－	－	407	0
25	数量(t)	2,132	857	2	－	－		
	面積(ha)	428	175	0	－	－	421	0
26	数量(t)	3,229	939	1	－	－		
	面積(ha)	654	191	0	－	－	462	3
27	数量(t)	8,659	1,248	2	－	－		
	面積(ha)	1,753	254	0	－	－	556	3
28	数量(t)	9,096	1,202	1	－	－		
	面積(ha)	1,844	244	0	－	－	590	3
29	数量(t)	7,580	1,120	1	－	－		
	面積(ha)	1,541	228	0	－	－	556	2
30	数量(t)	6,112	1,602	14				
	面積(ha)	1,243	324	3			519	－
元	数量(t)	4,936	1,661	68				
	面積(ha)	1,003	337	14			528	－
2	数量(t)	4,752	1,610	67				
	面積(ha)	959	325	14			514	－
3	数量(t)	6,543	1,828	21				
	面積(ha)	1,321	369	4			539	－
4	数量(t)	7,805	1,842	1				
	面積(ha)	1,575	372	0			584	－

注）農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」「加工用米の取組計画認定状況」による。

種子	その他その用途が主食用米の需給に影響を及ぼさないもの	合計(A)	加工用米 うるち米	加工用米 もち米	加工用米 合計(B)	新規需要米等 総計(A+B)
9	−	1,309	3,387	−	3,387	4,696
1	−	555	676	−	676	1,231
9	−	4,013	3,599	−	3,599	7,612
1	−	1,200	720	−	720	1,920
6	−	3,067	4,524	−	4,524	7,591
1	−	1,031	905	−	905	1,936
8	−	2,998	4,849	−	4,849	7,847
2	−	1,026	970	−	970	1,996
10	−	4,180	6,153	−	6,153	10,333
2	−	1,311	1,216	−	1,216	2,527
−	−	9,909	5,709	24	5,733	15,642
−	−	2,566	1,142	5	1,147	3,713
−	−	10,300	5,680	−	5,680	15,980
−	−	2,681	1,137	−	1,137	3,818
−	−	8,701	6,946	−	6,946	15,647
−	−	2,327	1,390	−	1,390	3,717
−	−	7,728	7,395	−	7,395	15,123
−	−	2,089	1,480	−	1,480	3,569
−	−	6,665	7,367	−	7,367	14,032
−	−	1,882	1,473	−	1,473	3,355
−	−	6,429	6,598	−	6,598	13,027
−	−	1,812	1,309	−	1,309	3,121
−	−	8,392	6,801	−	6,801	15,193
−	−	2,233	1,350	−	1,350	3,583
−	−	9,648	7,249	−	7,249	16,897
−	−	2,531	1,439	−	1,439	3,970

１３　水稲うるち品種別作付面積の推移

（１）群馬県

年次	25			26			27			28			29		
順位	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率
		ｈａ	%		ｈａ	%		ｈａ	%		ｈａ	%		ｈａ	%
1	あさひの夢	7,180	40.8	あさひの夢	7,040	40.7	あさひの夢	6,050	38.3	あさひの夢	5,910	38.4	あさひの夢	6,220	40.1
2	コシヒカリ	3,870	22.0	コシヒカリ	3,900	22.6	コシヒカリ	3,840	24.3	コシヒカリ	3,750	24.3	コシヒカリ	3,660	23.6
3	ゴロピカリ	2,320	13.2	ひとめぼれ	2,090	12.1	ひとめぼれ	2,070	13.1	ひとめぼれ	2,020	13.1	ひとめぼれ	1,990	12.9
4	ひとめぼれ	2,070	11.7	ゴロピカリ	1,740	10.1	ゆめまつり	1,410	8.9	ゆめまつり	1,580	10.2	ゆめまつり	1,770	11.4
5	朝の光	310	1.8	ゆめまつり	790	4.6	ゴロピカリ	880	5.6	ゴロピカリ	670	4.4	ゴロピカリ	460	3.0
6	ゆめまつり	250	1.4	キヌヒカリ	270	1.6	キヌヒカリ	260	1.7	キヌヒカリ	260	1.7	キヌヒカリ	270	1.7
7				朝の光	240	1.406	朝の光	160	1.0	朝の光	150	1.0	朝の光	140	0.9
8															
9															
	その他	1,600	9.1	その他	1,230	7.1	その他	1,130	7.1	その他	1,060	6.8	その他	990	6.4
計		17,600	100		17,300	100		15,800	100		15,400	100		15,500	100

年次	30			元			2			3			4		
順位	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率	品種名	作付面積	比率
		ｈａ	%		ｈａ	%		ｈａ	%		ｈａ	%		ｈａ	%
1	あさひの夢	6,040	38.7	あさひの夢	6,220	40.1	あさひの夢	6,500	41.9	あさひの夢	6,710	45.0	あさひの夢	6,340	44.1
2	コシヒカリ	3,600	23.1	コシヒカリ	3,610	23.3	コシヒカリ	3,660	23.6	コシヒカリ	3,460	23.2	コシヒカリ	3,390	23.6
3	ひとめぼれ	1,950	12.5	ひとめぼれ	2,010	13.0	ひとめぼれ	1,880	12.1	ひとめぼれ	1,860	12.5	ひとめぼれ	1,820	12.6
4	ゆめまつり	1,670	10.6	ゆめまつり	1,530	9.9	ゆめまつり	1,610	10.4	ゆめまつり	1,515	10.2	ゆめまつり	1,410	9.8
5	ゴロピカリ	380	2.5	ゴロピカリ	280	1.8	キヌヒカリ	250	1.6	キヌヒカリ	220	1.5	にじのきらめき	220	1.5
6	キヌヒカリ	260	1.7	キヌヒカリ	170	1.1	ゴロピカリ	200	1.3	ゴロピカリ	150	1.0	キヌヒカリ	200	1.4
7	朝の光	140	0.9	朝の光	20	0.1	朝の光	60	0.4	にじのきらめき	95	0.6	ゴロピカリ	130	0.9
8															
9															
	その他	1,560	10.0	その他	1,570	10.1	その他	1,340	8.6	その他	890	6.0	その他	880	6.1
計		15,600	100		15,500	100		15,500	100		14,900	100		14,400	100

注）１．作付面積は、農林水産統計「水稲の作付面積（子実用）」の数値を基に作付比率から算出し、ラウンドした数値。（子実用：青刈(飼料用米含む)面積除く）
（※飼料用米への用途変更等で差付け面積比率の年次間変動が大きい場合がある。）　下線の実践は奨励品種、点線は認定品種。その他には糯品種含む。
２．平成25～30、令和２～４年産の作付比率は水稲共済・水田一体化データに基づく推計値。令和元年産は技術支援課調べ。

（２）全国（品種別作付比率）

年次	29		30		元		2		3	
順位	品種名	比率	品種名	比率	品種名	比率	品種名	比率	品種名	比率
		%		%		%		%		%
1	コシヒカリ	35.6	コシヒカリ	35.0	コシヒカリ	33.9	コシヒカリ	33.7	コシヒカリ	33.5
2	ひとめぼれ	9.4	ひとめぼれ	9.2	ひとめぼれ	9.4	ひとめぼれ	9.1	ひとめぼれ	8.8
3	ヒノヒカリ	8.9	ヒノヒカリ	8.6	ヒノヒカリ	8.4	ヒノヒカリ	8.3	ヒノヒカリ	8.3
4	あきたこまち	7.0	あきたこまち	6.8	あきたこまち	6.7	あきたこまち	6.8	あきたこまち	6.9
5	ななつぼし	3.5	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.0
6	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8
7	キヌヒカリ	2.4	キヌヒカリ	2.2	まっしぐら	2.2	まっしぐら	2.5	まっしぐら	2.5
8	まっしぐら	1.9	まっしぐら	2.0	キヌヒカリ	2.1	キヌヒカリ	1.9	キヌヒカリ	1.9
9	あさひの夢	1.7	あさひの夢	1.6	あさひの夢	1.7	きぬむすめ	1.6	きぬむすめ	1.7
10	ゆめぴりか	1.6	ゆめぴりか	1.5	ゆめぴりか	1.6	ゆめぴりか	1.6	こしいぶき	1.5
11	こしのいぶき	1.4	こしのいぶき	1.4	きぬむすめ	1.5	あさひの夢	1.5	ゆめぴりか	1.5
12	きぬむすめ	1.3	きぬむすめ	1.4	こしいぶき	1.4	こしいぶき	1.4	つや姫	1.3
13	つや姫	1.1	つや姫	1.1	つや姫	1.2	つや姫	1.2	あさひの夢	1.2
14	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0
15	つがるロマン	1.0	つがるロマン	0.9	ふさこがね	0.9	ふさこがね	0.9	ふさこがね	0.9
16	あいちのかおり	0.9	あいちのかおり	0.9	つがるロマン	0.8	あいちのかおり	0.9	天のつぶ	0.9
17	彩のかがやき	0.7	彩のかがやき	0.8	あいちのかおり	0.8	天のつぶ	0.8	あいちのかおり	0.8
18	きらら３９７	0.7	きらら３９７	0.7	彩のかがやき	0.7	あきさかり	0.7	あきさかり	0.8
19	ふさこがね	0.6	ふさこがね	0.7	天のつぶ	0.7	彩のかがやき	0.7	きらら３９７	0.7
20	ハツシモ	0.6	ハツシモ	0.6	きらら３９７	0.7	きらら３９７	0.7	彩のかがやき	0.7
計		84.1		82.6		81.9		81.5		80.7

注）１．米穀機構「水稲の品種別作付動向について」
２．令和4年産は、令和5年2月末現在で調査されていない。

１４　稲作農家数等の推移（農林業センサス）

区分 年	総農家数 戸	経営耕地面積 ha	田のある農家数 戸	水田面積 ha	稲収穫農家数 戸	稲収穫面積 ha	水稲		
							収穫農家数 戸	収穫面積 ha	販売農家数 戸
1950 (S25)	130,066	106,165		33,157			94,851	31,575	
1955 (S30)	129,180	108,233		33,027	－	－	－	－	－
1960 (S35)	130,015	112,506	101,803	36,661		49,431	101,723	35,987	91,397
1970 (S45)	118,764	101,775	96,724	38,174		42,281	95,608	37,348	70,382
1975 (S50)	109,456	91,201	88,826	34,105		33,381	84,935	31,625	56,552
1980 (S55)	101,953	85,006	82,712	32,991		28,211	77,269	27,476	52,751
1985 (S60)	93,364	78,230	74,855	30,500		25,539	68,806	25,018	45,011
1990 (H 2)	82,601	71,999	66,682	29,126	50,948	20,609	50,444	20,056	36,660
1995 (H 7)	72,979	65,115	58,950	26,465	44,738	21,266	41,514	20,907	33,114
2000 (H12)	65,565	58,346	40,388	24,554	37,523	17,317	37,523	17,317	27,532
2005 (H17)	62,527	52,263	32,048	20,518	29,514	15,759	29,514	15,759	21,768
2010 (H22)	57,252	49,080	26,231	20,560	23,825	15,564	23,825	15,564	17,613
2015 (H27)	50,084	44,001	20,145	19,501	18,394	16,198	18,394	16,198	13,483
2020 (R２)	42,275	40,374	13,788	17,631	－	－	－	－	9,795

注)S30、S35の面積は次により換算した。１反＝0.0991735ha。
注）水稲販売農家数は飼料用除く

１５　群馬県における米穀の年次別検査成績

（１）水稲うるち玄米　　（単位：トン）

年産構成比	種別	水稲うるち玄米				
	検査数	等級内訳				
		１等	２等	３等	等外	規格外
60	74,371 (100.0)	50,040 (67.3)	18,201 (24.5)	2,570 (3.5)	3,545 (4.8)	15 (0.0)
元	49,351 (100.0)	20,204 (40.9)	24,293 (49.2)	2,590 (5.2)	2,218 (4.5)	46 (0.1)
5	30,152 (100.0)	26,771 (88.8)	1,095 (3.6)	139 (0.5)	2,131 (7.1)	15 (0.1)
10	23,648 (100.0)	2,492 (10.5)	6,771 (28.6)	10,868 (46.0)	546 (2.3)	2,971 (12.6)
11	22,514 (100.0)	15,077 (67.0)	6,832 (30.3)	599 (2.7)		6 (0.0)
12	20,065 (100.0)	3,879 (19.3)	12,040 (60.0)	3,940 (19.6)		207 (1.0)
13	18,692 (100.0)	10,667 (57.1)	5,281 (28.3)	2,607 (13.9)		137 (0.7)
14	23,242 (100.0)	8,039 (34.6)	12,317 (53.0)	2,671 (11.5)		215 (0.9)
15	25,137 (100.0)	20,005 (79.6)	4,939 (19.6)	184 (0.7)		10 (0.0)
16	32,584 (100.0)	26,602 (81.6)	5,642 (17.3)	306 (0.9)		35 (0.1)
17	28,910 (100.0)	7,304 (25.3)	19,155 (66.3)	2,215 (7.7)		232 (0.8)
18	26,179 (100.0)	18,730 (71.5)	7,145 (27.3)	272 (1.0)		32 (0.1)
19	27,153 (100.0)	15,858 (58.4)	10,710 (39.4)	564 (2.1)		21 (0.1)
20	29,715 (100.0)	20,599 (69.3)	8,701 (29.3)	376 (1.3)		39 (0.1)
21	30,605 (100.0)	22,867 (74.7)	7,517 (24.6)	203 (0.7)		18 (0.1)
22	31,481 (100.0)	904 (2.9)	5,780 (18.4)	13,126 (41.7)		11,670 (37.1)
23	26,208 (100.0)	12,301 (46.9)	10,495 (40.1)	3,310 (12.6)		102 (0.4)
24	29,002 (100.0)	15,890 (54.8)	10,005 (34.5)	2,999 (10.3)		108 (0.4)
25	38,042 (100.0)	15,633 (41.1)	17,864 (47.0)	4,383 (11.5)		132.0 (0.3)
26	40,253 (100.0)	35,541 (88.3)	4,068 (10.1)	609 (1.5)		35 (0.1)
27	30,950 (100.0)	24,884 (80.4)	5,564 (18.0)	468 (1.5)		34 (0.1)
28	32,467 (100.0)	28,750 (88.6)	3,546 (10.9)	143 (0.4)		28 (0.1)
29	38,432 (100.0)	35,420 (92.2)	2,747 (7.1)	258 (0.7)		8 (0.0)
30	37,131 (100.0)	33,060 (89.0)	3,581 (9.6)	467 (1.3)		23 (0.1)
元	35,675 (100.0)	32,165 (90.2)	3,239 (9.1)	264 (0.7)		7 (0.0)
2	35,708 (100.0)	29,701 (83.2)	5,575 (15.6)	430 (1.2)		2 (0.0)
3	34,925 (100.0)	32,134 (92.0)	2,650 (7.6)	133 (0.4)		8 (0.0)
4	29,524 (100.0)	26,778 (90.7)	2,562 (8.7)	177 (0.6)		7 (0.0)

注）１．農林水産省資料による。
　　２．令和４年産の数値は、令和４年１２月末時点のものである。
　　３．（　）は等級割合。

（２）水稲もち玄米　　（単位：トン）

年産構成比	種別	水稲もち玄米				
	検査数	等級内訳				
		１等	２等	３等	等外	規格外
60	297 (100.0)	56 (18.7)	174 (58.5)	61 (20.6)	2 (0.6)	5 (1.5)
元	328 (100.0)	52 (15.9)	200 (60.8)	73 (22.4)	2 (0.5)	2 (0.5)
5	122 (100.0)	50 (41.4)	55 (44.8)	11 (9.3)	5 (4.3)	0 (0.2)
10	99 (100.0)	5 (4.7)	62 (62.4)	29 (29.0)		4 (3.9)
11	82 (100.0)	21 (25.7)	48 (58.2)	13 (15.6)		0 (0.6)
12	77 (100.0)	6 (8.0)	38 (49.9)	32 (41.4)		1 (0.7)
13	72 (100.0)	16 (22.5)	39 (54.6)	16 (22.8)		0 (0.2)
14	48 (100.0)	8 (17.5)	29 (61.7)	10 (20.2)		0 (0.6)
15	36 (100.0)	5 (14.9)	20 (54.4)	10 (26.6)		1 (4.1)
16	78 (100.0)	20 (25.7)	43 (54.3)	14 (17.4)		2 (2.6)
17	81 (100.0)	9 (10.6)	57 (70.2)	13 (15.6)		3 (3.6)
18	93 (100.0)	17 (18.5)	50 (53.2)	25 (26.7)		1 (1.5)
19	45 (100.0)	4 (9.8)	29 (64.6)	11 (23.6)		1 (2.0)
20	67 (100.0)	11 (16.4)	38 (57.1)	18 (26.3)		0 (0.2)
21	79 (100.0)	41 (51.2)	31 (38.9)	7 (8.9)		1 (0.9)
22	96 (100.0)	5 (5.0)	55 (57.4)	30 (31.3)		6 (6.3)
23	166 (100.0)	14 (8.6)	130 (78.4)	21 (12.7)		0 (0.3)
24	169 (100.0)	28 (16.7)	98 (57.8)	40 (23.9)		3 (1.7)
25	106 (100.0)	19 (17.6)	55 (52.3)	29 (27.4)		3 (2.7)
26	75 (100.0)	22 (28.9)	38 (50.7)	15 (19.6)		1 (0.8)
27	120 (100.0)	27 (22.8)	67 (55.9)	25 (20.9)		1 (0.4)
28	118 (100.0)	26 (22.4)	66 (55.9)	21 (18.1)		4 (3.5)
29	103 (100.0)	35 (33.7)	51 (49.5)	16 (15.3)		2 (1.5)
30	77 (100.0)	22 (29.0)	40 (52.2)	14 (17.8)		1 (1.0)
元	67 (100.0)	18 (26.6)	29 (43.4)	19 (28.6)		1 (1.5)
2	67 (100.0)	10 (14.9)	24 (35.8)	32 (47.8)		1 (1.5)
3	54 (100.0)	16 (30.4)	22 (40.7)	15 (28.0)		0 (0.9)
4	54 (100.0)	16 (28.8)	18 (32.7)	20 (37.3)		1 (1.2)

注）１．農林水産省資料による。
２．令和４年産の数値は、令和４年１２月末現在のものである。
３．（　）は等級割合。

（３）醸造用玄米　　（単位：トン）

年産構成比	種別	醸造用玄米					
	検査量 トン	等級内訳					
		特上	特等	1等	2等	3等	規格外
5	255 (100.0)			196 (76.9)	39 (15.3)	20 (7.8)	
10	210 (100.0)			110 (52.2)	72 (34.3)	28 (13.4)	
11	159 (100.0)			86 (54.4)	63 (39.6)	9 (5.9)	
12	138 (100.0)		3 (2.3)	59 (42.6)	48 (34.9)	28 (20.3)	
13	120 (100.0)	2 (1.2)	15 (12.6)	36 (30.2)	61 (51.0)	6 (5.0)	
14	122 (100.0)		3 (2.4)	52 (42.5)	56 (46.1)	11 (8.9)	
15	111 (100.0)			38 (34.2)	53 (47.3)	21 (18.5)	
16	123 (100.0)			73 (59.3)	46 (37.4)	4 (3.3)	
17	159 (100.0)			6 (3.7)	134 (84.6)	19 (11.7)	
18	119 (100.0)			84 (70.6)	26 (21.7)	9 (7.7)	
19	95 (100.0)			57 (59.7)	30 (31.9)	8 (8.4)	
20	111 (100.0)			17 (15.7)	90 (81.2)	3 (3.1)	
21	115 (100.0)			5 (4.6)	93 (81.0)	17 (14.4)	
22	98 (100.0)		6 (5.9)	3 (3.5)	10 (10.7)	78 (79.9)	
23	105 (100.0)			90 (85.8)	8 (7.4)	7 (6.4)	0 (0.4)
24	105 (100.0)		6 (5.9)	8 (7.4)	91 (86.5)	0 (0.1)	
25	124.0 (100.0)			85 (68.1)	26 (21.1)	13 (10.7)	0 (0.0)
26	139 (100.0)		2 (1.1)	6 (4.4)	108 (77.3)	24 (17.2)	
27	121 (100.0)			12 (9.9)	94 (77.8)	14 (12.0)	0 (0.3)
28	120 (100.0)			17 (13.8)	78 (65.0)	26 (21.3)	
29	132 (100.0)		1 (1.1)	62 (47.2)	56 (42.0)	13 (9.7)	
30	130 (100.0)			90 (69.0)	32 (24.7)	8 (6.4)	
元	139 (100.0)		4 (2.7)	91 (65.6)	30 (21.6)	14 (9.8)	0 (0.3)
2	88 (100.0)			45 (51.5)	31 (35.8)	11 (12.7)	
3	126 (100.0)			85 (67.3)	30 (24.1)	11 (8.6)	
4	142 (100.0)		2 (1.7)	74 (52.5)	44 (31.1)	21 (14.7)	

注）１．　農林水産省資料による。
　　２．　令和4年産の数値は、令和４年12月末現在のものである。
　　３．　（　）は等級割合。

１６　米の生産費及び収益性　（１０ａ当たり）

（１）群馬県					関東・東山地域平均					
項目 ＼ 年次		24	25	26	27	28	29	30	元	2
生産費（円）	種苗費	2,443	2,542	2,955	3,284	3,387	3,263	3,131	3,587	3,089
	肥料費	9,121	9,285	8,854	7,757	8,115	7,267	7,590	7,797	7,820
	農薬費	6,863	6,291	6,282	5,881	6,125	6,242	6,646	6,596	6,690
	光熱動力費	5,276	5,274	5,867	4,613	4,086	4,465	4,917	4,948	4,795
	その他諸材料費	3,193	2,693	2,154	1,925	1,848	2,084	2,122	2,192	2,196
	土地改良及び水利費	3,129	2,727	3,381	3,815	3,759	4,295	3,954	4,000	4,529
	貸借料及び料金	6,764	7,437	9,610	10,241	9,851	9,701	10,154	9,507	10,053
	物件税及び公課諸負担	2,593	3,157	1,682	2,215	2,233	2,357	2,005	2,233	1,740
	建物費	9,051	1,498	2,207	3,974	3,850	5,019	4,312	4,705	4,591
	自動車及び農機具費	34,169	21,988	24,016	33,376	30,632	31,894	28,161	33,890	30,201
	生産管理費	439	450	973	328	333	318	322	294	541
	労力費	46,591	43,460	43,976	37,233	37,256	38,260	39,968	39,300	39,122
	費用合計	129,632	106,802	111,957	114,642	111,475	115,165	113,282	119,049	115,367
	副産物価額	885	1,160	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575
	生産費	128,747	105,642	111,643	113,787	109,516	111,379	110,993	117,176	113,792
	支払利子	－	－	－	62	53	72	85	91	85
	支払地代	2,132	3,407	4,212	5,181	5,510	5,871	5,472	5,041	4,943
	支払利子･地代算入生産費	130,879	109,049	115,855	119,030	115,079	117,322	116,550	122,308	118,820
	自己資本利子	8,812	5,193	4,296	5,935	5,664	5,810	5,280	6,130	5,744
	自作地地代	6,684	5,326	4,871	10,946	9,872	9,557	9,712	10,019	9,841
	全算入生産費	146,375	119,568	125,022	135,911	130,615	132,689	131,542	138,457	134,405
	60ｋｇ当たり全算入生産費	18,969	14,802	15,739	13,288	15,270	13,431	15,442	16,990	16,266
収益性	主産物数量(kg)	463	484	476	510	516	498	511	488	495
	主産物価額(円)	101,424	90,651	77,254	94,078	105,468	111,642	114,893	108,742	103,972
	副産物価額(円)	885	1,160	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575
	経営所得安定対策等受取金(円)									532
	粗収益(円)	102,309	91,811	77,568	94,933	107,427	115,428	117,182	110,615	106,079
	生産費総額(円)	147,260	120,728	125,336	136,766	132,574	136,475	133,831	140,330	135,980
	利潤(円)	△ 44,951	△ 28,917	△ 47,768	△ 41,833	△ 25,147	△ 21,047	△ 16,649	△ 29,715	△ 29,901
	所得(円)	11,387	22,293	3,163	9,845	25,166	29,516	35,052	21,897	20,000
	家族労働報酬(円)	△ 4,109	28,445	△ 3,004	△ 7,036	9,630	14,149	20,060	5,748	4,947
	家族労働時間(時間)	28.55	29.39	29.35	22.81	21.70	22.28	23.02	21.81	21.39
	１日当たり家族労働報酬(円)	－	7,743	－	－	－	－	6,971	2,108	1,850

注）１．農林水産統計年報「米生産費調査」による。令和3年度の全国数値は速報値
２．米生産費統計は、主産地における「販売農家」の結果である。
「販売農家」とは、「玄米を600kg以上販売し、かつ平年作に対する増減収率が±20%未満の農家」である。
３．収益性は次のとおり算出している。①粗収益＝主産物価額＋副産物価額、②生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代、③所得＝粗収益－〔生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代）〕、④家族労働報酬＝粗収益－（生産費総額－家族労働費）、⑤１日当たり家族労働報酬＝家族労働報酬÷家族労働時間×８時間（１日換算）
４．27年産からは、関東・東山平均の数値。

（２）全国

項目 ＼ 年次		24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
生産費（円）	種苗費	3,523	3,704	3,693	3,691	3,695	3,697	3,756	3,707	3,542	3,788
	肥料費	9,339	9,500	9,520	9,318	9,313	8,872	8,942	9,065	9,030	9,091
	農薬費	7,530	7,555	7,630	7,640	7,464	7,639	7,570	7,670	7,774	7,864
	光熱動力費	4,556	4,782	5,095	4,362	3,844	4,227	4,693	4,745	4,517	5,101
	その他諸材料費	1,954	1,820	1,819	1,939	1,942	1,904	1,927	1,987	1,972	1,924
	土地改良及び水利費	4,583	4,442	4,444	4,468	4,313	4,213	4,191	4,333	4,545	4,335
	貸借料及び料金	11,872	12,078	12,576	12,200	11,953	11,989	11,569	11,495	11,147	11,407
	物件税及び公課諸負担	2,296	2,424	2,316	2,297	2,297	2,363	2,157	2,241	2,044	2,093
	建物費	7,319	4,802	4,502	4,170	4,146	4,292	3,973	3,640	3,834	4,009
	自動車及び農機具費	32,215	27,530	27,947	28,812	27,734	28,544	28,011	29,172	28,912	27,909
	生産管理費	438	424	392	414	426	455	396	394	460	433
	労力費	36,276	35,884	35,396	34,731	34,525	35,028	34,854	34,247	34,729	33,506
	費用合計	121,721	114,945	115,330	114,042	111,652	113,223	112,039	112,696	112,506	111,460
	副産物価額	2,875	2,373	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050
	生産費	118,846	112,572	114,268	112,719	109,471	109,729	109,446	109,995	109,989	109,410
	支払利子	331	294	307	306	288	281	229	164	146	176
	支払地代	4,985	4,832	4,710	5,034	5,128	4,779	4,999	5,289	5,309	5,206
	支払利子・地代算入生産費	124,162	117,698	119,285	118,059	114,887	114,789	114,674	115,448	115,444	114,792
	自己資本利子	5,699	5,369	5,319	5,166	4,992	5,104	4,834	5,141	5,161	5,144
	自作地地代	11,096	10,974	10,581	10,069	9,706	9,444	9,216	8,916	8,581	8,209
	全算入生産費	140,957	134,041	135,185	133,294	129,585	129,337	128,724	129,505	129,186	128,145
	60kg当たり全算入生産費	15,957	15,229	15,416	15,390	14,584	15,147	15,352	15,155	15,046	14,758
収益性	主産物数量(kg)	529	528	526	519	533	512	504	512	516	520
	主産物価額(円)	—	—	—	—	—	—	—	116,331	111,495	
	副産物価額(円)	2,875	2,373	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050
	経営所得安定対策等受取金									1,395	
	粗収益(円)	—	—	—	—	—	—	—	119,032	115,407	
	生産費総額(円)	143,832	136,414	136,247	134,617	131,766	132,831	131,317	132,206	131,703	130,195
	利潤(円)	—	—	—	—	—	—	—	△ 13,174	△ 16,296	
	所得(円)	—	—	—	—	—	—	—	32,568	27,751	
	家族労働報酬(円)	—	—	—	—	—	—	—	18,511	15,404	
	家族労働時間(時間)	24.10	23.77	23.09	22.36	21.97	21.61	21.49	20.78	20.66	20.15
	1日当たり家族労働報酬(円)	—	—	—	—	—	—	—	7,126	5,965	

Ⅱ　麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」

１　基本方針

（１）ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
（２）基本技術の励行による高品質麦の生産
（３）は種前契約の徹底や実需者との連携強化
（４）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（５）経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
（６）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（７）地産地消の取組等、新たな需要づくり
（８）種子生産者の確保と生産体制の強化
（９）スマート農業技術の普及

２　麦の生産目標

令和５年産作付計画等を次のとおりとする。

表１　麦種別作付計画　（ｈａ，ｔ）

区分＼麦種	小　麦	二条大麦	六条大麦	計
令和４年産作付面積	5,380	1,640	506	7,530
令和４年産収穫量	22,400	5,810	1,680	29,900
令和５年産作付計画面積	5,201	1,677	452	7,330
令和５年産目標収穫量	21,857	5,870	1,590	29,320

注）令和５年産作付計画面積および目標収穫量は県集荷団体の契約予定数量を基にした数字。

表２　小麦品質ランク区分評価　（単位：％）

項目＼ランク区分等	検査等級１等比率	A	B	C	D
令和３年産実績	８０	９０	１０	０	０
令和４年産見込	９３	６７	３３	１	０
令和５年産目標	９０以上	８０	２０	０	０

注）令和４年産検査等級結果は令和４年 10 月末現在。
ランクは日本めん用小麦の結果（数量比率）。令和４年産見込は令和５年１月末現在。

３　重点推進目標

(1) 需要に即した麦づくり

ア　小　　麦

(ｱ)　実需者のニーズに対応した品種作付を行う。

(ｲ)　実需者の求める品質および生産量を確保し、安定的な供給を目指す。

イ　六条大麦

(ｱ)　大麦については、実需者からの需要に応じた作付を推進する。

(ｲ)　主食用大麦「シュンライ」は、品質向上と需要に応じた作付を図る。

ウ　二条大麦（ビール大麦）

(ｱ)　実需者の求める醸造適性および産地における生産性を考慮した品種作付けを行う。

(ｲ)　オオムギ縞萎縮病の常発地域では、「サチホゴールデン」「アスカゴールデン」等の抵抗性品種の作付を行う。

エ　需要拡大等への取組

多様な加工用途への積極的な対応を図るため、県産麦に対する実需者の意見・要望の聞き取りを行い、需要拡大に向けた取組を促進する。また、新たな需要作りとして、地産地消や６次産業化等への取組を推進する。

(2) 安全で高品質な麦づくり

ア　小麦では、日本麺用「きぬの波」「つるぴかり」「さとのそら」等は、ランク区分基準のタンパク質含量9.7～11.3%、パン・中華麺用「ゆめかおり」は、ランク区分基準のタンパク質含量11.5%以上を基本とし、実需者が求めるタンパク質含量を目標に栽培管理を徹底する。

イ　六条大麦「シュンライ」は、主食用の用途に適した硝子率や白度を目指し、平坦二毛作地帯の水田作を基本として作付する。麦茶用では、タンパク質含量10.5%以上を目標とし、実需者の要望に応えた生産を行う。

ウ　二条大麦（ビール用）については、発芽勢（98%以上）の確保、適正タンパク質含量（10.0～11.0%の範囲内）及び整粒歩合（2.5㎜以上95%以上）を確保する。

エ　生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。また、赤かび病（ＤＯＮ）や残留農薬等に対する安全性を生産者・生産者団体が主体的に確認する。

オ　異種穀粒や異物混入を防止する。特にカラスノエンドウやソバの混入防止を徹底する。

カ　貯蔵保管時の水分含量は12.5%以下とし、虫の発生等による品質低下防止に努める。

(3) 生産・流通対策

ア　種子更新率の向上と地域に適した麦種・品種の作付けを基本に、追肥や麦踏み等の基本技術の励行、適期収穫、適切な乾燥調製等を実施する。また、湿害対策を実施する。

イ　縞萎縮病については、抵抗性品種の導入や麦種を転換する等の耕種的防除対策を実施し、被害の発生を防止する。

ウ　赤かび病については、発生防止のための適期防除に努める。万一発生した場合には、被害粒の混入を極力防止するなどの適切な措置をとり、被害を最小限に留める。

エ　共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、担い手の利用を踏まえた効率的な運営を図る。

オ　圃場管理システムやＧＰＳを活用したスマート農業機械の導入等を推進するとともに、新規需要米等と組み合わせた二毛作体系により、生産性向上と作付拡大を図る。

(4) 担い手育成対策

ア　担い手の育成・支援

水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。

イ　集落営農組織の経営体質強化

各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。

ウ　農地集積の促進

農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(5) ＧＡＰ(農業生産工程管理)の導入と実践

麦の適正な生産管理を図るため、ＧＡＰの導入・実践を推進する。

ア　ＧＡＰ（農業生産工程管理：Good Agricultural Practice）とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のことである。

ＧＡＰを取り入れることにより、結果として食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保を図る。

イ　ほ場条件の確認、農薬の適正使用、施肥管理等の記帳管理等を行う。
ウ　乾燥調製貯蔵施設や管理貯蔵施設等の作業の記録や保管管理体制を強化する。
エ　整理、整頓、清掃、清潔、習慣づけの５Ｓを実践する。

(6) 種子の安定供給と種子生産者の確保

安定した麦生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

４　関連施策

・農業経営力向上事業（県単）（旧　はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業）
・強い群馬の麦づくり対策事業（県単）
・経営所得安定対策（国庫）
・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
・麦・大豆生産技術向上事業（国庫）

５　麦の需要に関する動向

（農林水産省「麦の参考資料」（令和４年３月公表）より抜粋）

（１）麦の流通の概要

麦は需要量の約８割を外国産麦の輸入で賄っています。国内産食糧用麦は民間流通により取引されており、外国産食糧用麦は政府が国家貿易により計画的に輸入し、需要者に売り渡しています。

（単位：万トン）

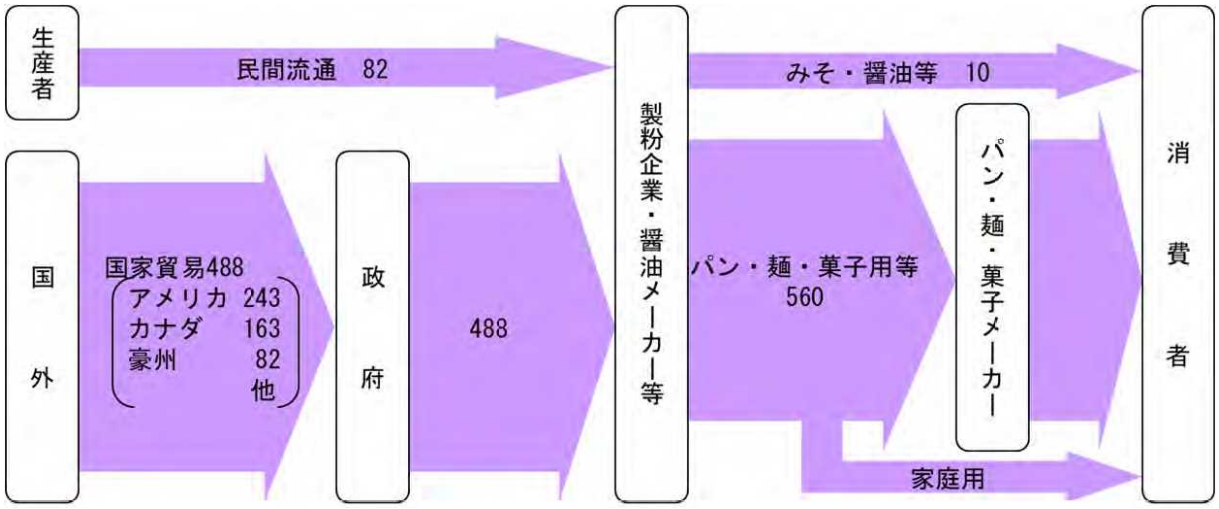


図１　食糧用小麦の流通の現状（平成２８年度～令和２年度の平均数量）

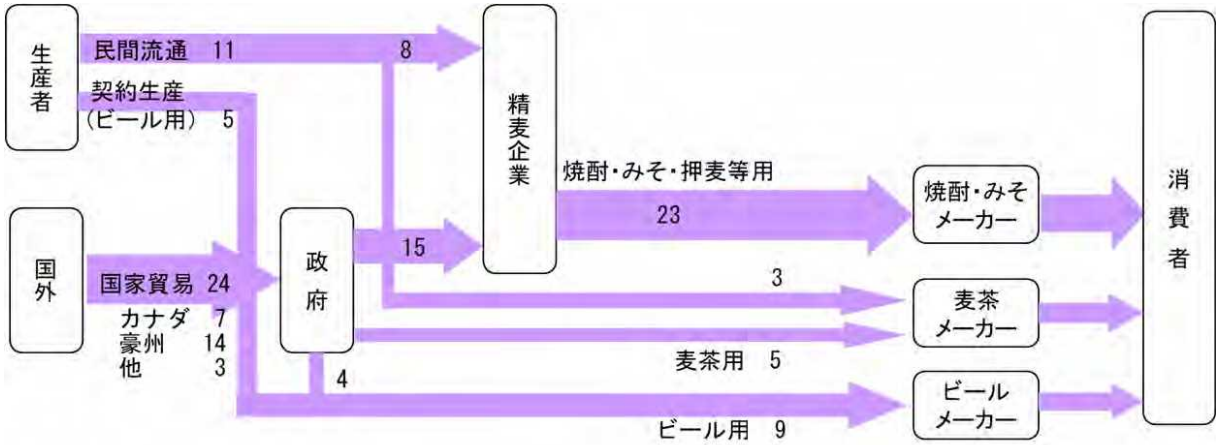


図２　食糧用大麦及びはだか麦の流通の現状（平成２８年度～令和２年度の平均数量）

（２）国内麦の取引の概要

国内産食糧用麦は、加工原料としての商品特性から、需要に応じて計画的に生産できるよう、は種前契約に基づく取引が行われています。

まず、取引の指標となる透明性のある適正な価格を形成するため、は種前に販売予定数量の３～４割（具体の比率は民間流通地方連絡協議会の協議を踏まえ決定）について入札が行われます。残りは相対取引が行われており、その価格については、入札で形成された指標価格（落札加重平均価格）を基本として、取引当事者間で決められています（図３）。

また、取引を円滑に進めるため、生産者、需要者等で構成される民間流通連絡協議会において、取引に必要な情報交換、取引に係る基本事項の見直し等が行われています（表１）。

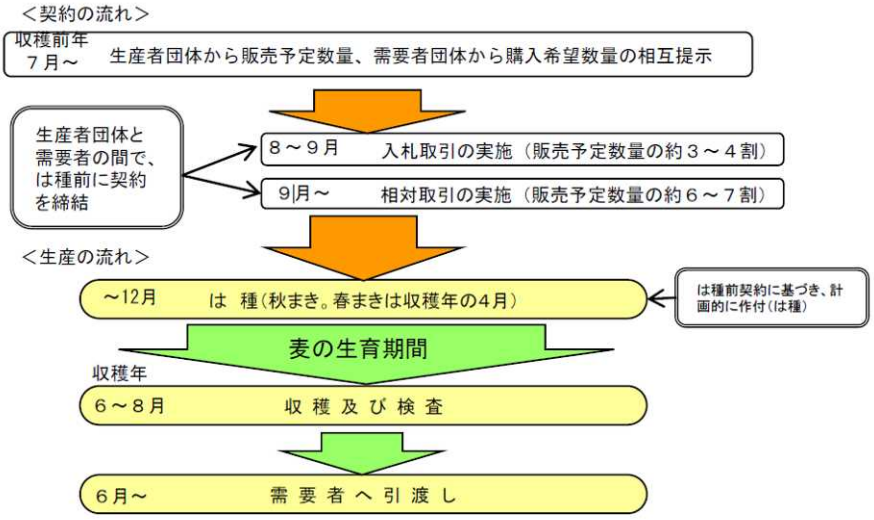


図３　国内産食糧用麦の基本的な流通フロー

表１　国内産食糧用麦の入札の仕組み

項　目	概　　要	見直しの変遷
実施主体	一般社団法人 全国米麦改良協会	
実施時期	は種前に２回実施（８～９月）	平成13年産から１回→２回へ見直し
上場数量	産地銘柄別に販売予定数量が小麦３千トン以上、大麦・はだか麦１千トン以上の銘柄について、その30～40%を上場（ほかに希望上場あり）	令和元年産から30%→30～40%へ見直し
基準価格	小麦は前年産の落札加重平均価格に当年産の入札実施時点での外国産麦の政府売渡価格の変動率を乗じた価格、大麦・はだか麦は前年産の落札加重平均価格	小麦の外国産麦との連動は平成24年産から実施
値幅制限	基準価格の±10%	小麦 平成12年産～16年産：±5% 平成17年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±30% 平成24年産～　：±10% 大麦・はだか麦 平成12年産～18年産：±5% 平成19年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±15% 平成24年産～　±10%
取引価格の事後調整（小麦のみ）	外国産食糧用小麦の政府売渡価格の改定（4、10月）に合わせて、は種前の入札又は相対により契約された価格に外国産食糧用小麦の政府売渡価格の変動率を乗じて取引価格を改定	平成23年産から実施
申込限度数　量	買い手別に 上場数量×買受実績シェア×1.45	小麦は平成17年産から、大麦及びはだか麦は平成19年産から 1.35→1.45へ見直し
相対取引	入札で形成された指標価格を基本に、生産者団体と需要者の間で協議・決定	平成19年産から過去の実績シェアに基づく取引ルールを廃止
再入札	第１回入札及び第２回入札において、落札残数量が発生した場合は、売り手の希望により再度入札に付すか相対による契約を行うかいずれかの方法をとることができる。	平成25年産から売り手の申し出により、再入札における入札の値幅を設定できること等を規定。

（３）外国産食糧用小麦の政府売渡

外国産食糧用小麦の政府売渡については、平成 19 年４月以降、輸入価格（過去の一定期間における輸入価格の平均値）に、マークアップ（政府管理経費及び国内産小麦の生産振興対策に充当）を上乗せした価格で売り渡す「相場連動制」に移行しました（表２、図４）。

表２　政府売渡価格改定ルール

項　　目	基本的なルール
価格改定	現在年２回（４月期、10月期）
買付価格算定期間	直近６か月間

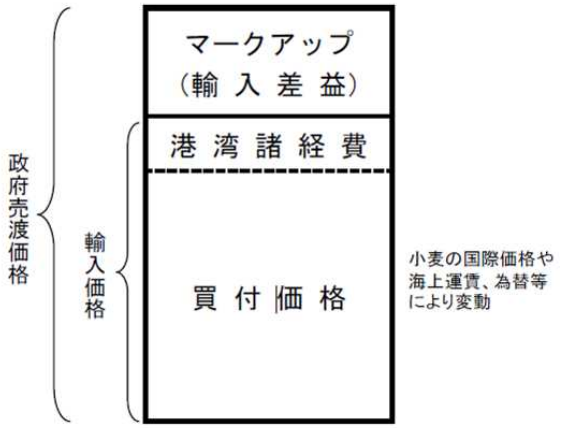


図４　政府売渡価格の構成

また、外国産食糧用小麦の売渡しについては、平成 22 年 10 月以降、輸入した小麦を直ちに製粉企業等に販売し、製粉企業等が一定期間備蓄することになっています。（即時販売方式）

即時販売方式の導入後は、製粉企業等が 2.3 か月分の外国産食糧用小麦の備蓄を行った場合、国が 1.8 か月分の保管経費を助成しています（図５）。

また、不測の事態が生じた場合には、国は、製粉企業等に対して、備蓄する外国産食糧用小麦の取崩しの指示等を行います。

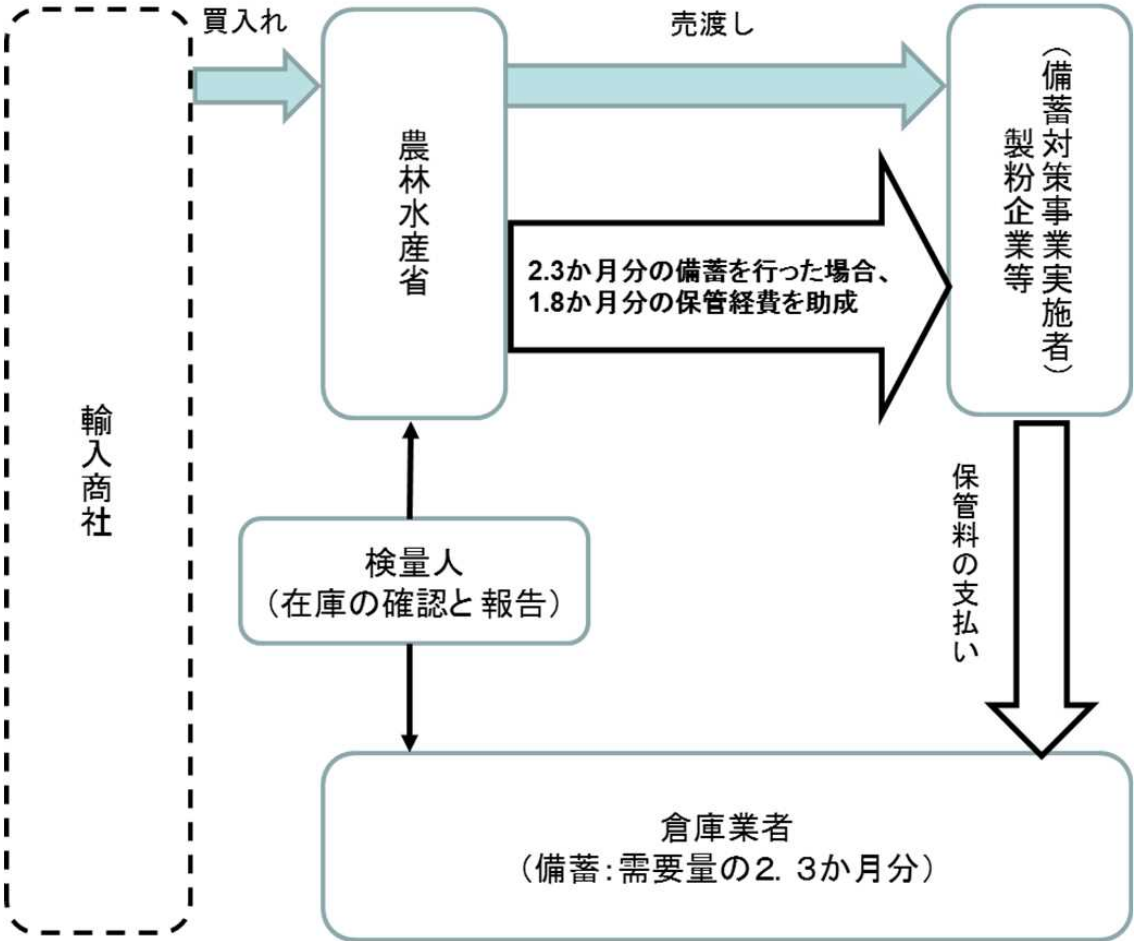


図５　食糧麦備蓄対策事業のスキーム

６　令和５年産民間流通麦入札結果

価格は税別

産地	銘　柄	基準価格 円／トン	指標価格 円／トン	指標価格 円/60kg	参考 対比	上場数量 t	申込数量 t	落札数量 t	落札残 t	申込 倍率
小麦										
北海道	春よ恋	95,598	86,051	5,163	90.0	13,430	4,060	4,060	9,370	0.3
北海道	きたほなみ	69,490	63,014	3,781	90.7	138,310	147,610	138,310	0	1.1
北海道	ゆめちから	71,200	64,084	3,845	90.0	30,190	16,550	16,550	13,640	0.5
北海道	はるきらり	82,208	73,988	4,439	90.0	2,560	500	500	2,060	0.2
岩手	ゆきちから	49,763	54,739	3,284	110.0	1,060	3,810	1,060	0	3.6
宮城	シラネコムギ	60,867	63,306	3,798	104.0	480	480	480	0	1.0
茨城	さとのそら	61,719	64,169	3,850	104.0	3,810	5,830	3,810	0	1.5
群馬	**つるぴかり**	**71,039**	**75,100**	**4,506**	**105.7**	**1,170**	**2,810**	**1,170**	**0**	**2.4**
群馬	**さとのそら**	**46,469**	**64,917**	**3,895**	**139.7**	**4,750**	**8,980**	**4,600**	**150**	**1.9**
埼玉	あやひかり	63,833	70,216	4,213	110.0	1,550	5,660	1,550	0	3.7
埼玉	さとのそら	60,420	65,760	3,946	108.8	4,520	11,120	4,520	0	2.5
岐阜	イワイノダイチ	63,105	62,881	3,773	99.6	1,300	1,550	1,060	240	1.2
岐阜	さとのそら	62,741	65,378	3,923	104.2	1,360	3,170	1,360	0	2.3
愛知	きぬあかり	65,827	72,405	4,344	110.0	6,130	10,440	6,130	0	1.7
愛知	ゆめあかり	59,208	58,002	3,480	98.0	1,020	1,980	1,020	0	1.9
滋賀	農林６１号	68,107	70,587	4,235	103.6	1,150	2,880	1,150	0	2.5
滋賀	ふくさやか	63,059	64,735	3,884	102.7	1,160	2,400	1,160	0	2.1
滋賀	びわほなみ	68,604	70,571	4,234	102.9	2,570	5,750	2,570	0	2.2
香川	さぬきの夢２００９	67,064	60,358	3,621	90.0	2,150	850	850	1,300	0.4
福岡	シロガネコムギ	66,705	68,661	4,120	102.9	6,420	10,740	5,780	640	1.7
福岡	チクゴイズミ	60,665	65,654	3,939	108.2	5,700	14,420	5,700	0	2.5
福岡	ミナミノカオリ	73,011	65,717	3,943	90.0	2,050	1,140	1,140	910	0.6
佐賀	シロガネコムギ	65,660	68,534	4,112	104.4	7,350	13,300	7,350	0	1.8
佐賀	チクゴイズミ	60,065	64,156	3,849	106.8	3,740	12,470	3,740	0	3.3
佐賀	はる風ふわり	73,011	65,710	3,943	90.0	1,280	100	100	1,180	0.1
大分	チクゴイズミ	59,794	64,387	3,863	107.7	1,640	4,030	1,640	0	2.5
－	－－－合計－－－	68,632	64,637	3,878	94.2	246,850	292,630	217,360	29,490	1.2
六条大麦										
宮　城	シュンライ	35,754	35,764	2,146	100.0	350	720	350	0	2.1
宮　城	ミノリムギ	35,754	35,707	2,142	99.9	200	160	160	40	0.8
宮　城	ホワイトファイバー	38,858	41,753	2,505	107.5	530	650	530	0	1.2
茨　城	カシマムギ	45,268	46,283	2,777	102.2	150	190	150	0	1.3
茨　城	カシマゴール	39,490	40,490	2,429	102.5	1,070	1,070	1,070	0	1.0
栃　木	シュンライ	38,455	38,794	2,328	100.9	1,350	2,780	1,350	0	2.1
群　馬	**シュンライ**	**37,816**	**37,844**	**2,271**	**100.1**	**440**	**940**	**440**	**0**	**2.1**
富　山	ファイバースノウ	46,166	45,454	2,727	98.5	2,600	3,250	2,600	0	1.3
石　川	ファイバースノウ	43,666	43,666	2,620	100.0	1,170	1,590	1,170	0	1.4
福　井	ファイバースノウ	46,353	45,701	2,742	98.6	3,210	3,660	3,210	0	1.1
福　井	はねうまもち	46,548	50,041	3,002	107.5	480	890	480	0	1.9
長　野	ファイバースノウ	37,868	38,034	2,282	100.4	340	650	340	0	1.9
滋　賀	ファイバースノウ	35,620	35,998	2,160	101.1	360	710	360	0	2.0
滋　賀	ファイバースノウ	34,640	35,644	2,139	102.9	1,130	1,370	1,130	0	1.2
兵　庫	シュンライ	39,268	40,439	2,426	103.0	430	740	430	0	1.7
－	－－－合計－－－	42,150	42,353	2,541	100.5	13,810	19,370	13,770	40	1.4
二条大麦										
茨　城	ミカモゴールデン	28,479	30,571	1,834	107.3	660	1,080	650	10	1.6
栃　木	ニューサチホゴールデン	29,769	31,051	1,863	104.3	950	640	640	310	0.7
島　根	サチホゴールデン	35,916	36,365	2,182	101.3	320	360	320	0	1.1
岡　山	スカイゴールデン	35,396	38,868	2,332	109.8	570	670	530	40	1.2
岡　山	サチホゴールデン	36,753	40,184	2,411	109.3	350	300	300	50	0.9
佐　賀	サチホゴールデン	39,523	42,672	2,560	108.0	3,650	5,180	3,570	80	1.4
佐　賀	はるか二条	39,602	43,562	2,614	110.0	4,580	6,620	4,580	0	1.4
－	－－－合計－－－	37,896	41,160	2,470	108.6	11,080	14,850	10,590	490	1.3
裸麦										
香　川	イチバンボシ	35,161	32,354	1,941	92.0	670	500	500	170	0.7
愛　媛	ハルヒメボシ	35,639	32,925	1,976	92.4	1,180	750	750	430	0.6
－	－－－合計－－－	35,448	32,697	1,962	92.2	1,850	1,250	1,250	600	0.7

【参　考】銘柄別政府売渡価格　　単価：円/トン

産　地　銘　柄	略　称	標準売渡価格 R4.4以降	標準売渡価格 R4.10以降	用　途
小麦				
アメリカ産（ダーク）ノーザン・スプリング	ＤＮＳ	－	－	パン等の準強力粉
カナダ産ウエスタン・レッド・スプリングＮＯ１	１ＣＷ	－	－	パン等に最適な強力粉
アメリカ産ハード・レッド・ウィンター	ＨＲＷ	－	－	パン等の強力粉
オーストラリア産スタンダード・ホワイト	ＡＳＷ	－	－	麺用粉等の中力粉
アメリカ産ウエスタン・ホワイト	ＷＷ	－	－	菓子等の薄力粉
５銘柄加重平均（税込み）		72,530	72,530	（対前期比　19%）

注１）カナダ産アンバー・デュラム小麦、カナダ産ウェスタン・シックスロウ、オーストラリア産プライム・ハード
　　オーストラリア産ツーロウは、ＳＢＳ方式。

注２）H22.10以降について、銘柄ごとの売渡価格は公表しないこととなった。

7　毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について

（1）ランク区分について

平成16年産までの麦作経営安定資金、契約生産奨励金については、銘柄別、等級別に単価の差を設定してきたが、区分Ｉ（Ａ）の銘柄が全体の８５％を占めるなど、実需者のニーズが反映された助成体系ではなかった。

このため、実需者が求める良品質麦の生産を促進する観点から、平成17年産麦から麦作経営安定資金及び契約生産奨励金については、各用途麦別の品質評価項目による品質評価を反映させた助成体系へ移行した。

この助成体系を毎年の生産量・品質に基づく交付金に継承し、生産者の品質向上に対する生産努力を価格に反映する助成とした。

さらに19年産から、日本めん用小麦の品質評価基準について、需要者が望む基準値まで段階的に近づけていく観点から、基準の引上げが行われました。

（2）ランク区分基準

日本めん用小麦、パン・中華めん用小麦、醸造用小麦、主食等用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦及び麦茶用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦別に次の基準を適用し、各区分毎に、基準いずれかを満たすものとする。

区分	基　　準
A	・品質評価項目の基準値を３つ以上達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
B	・品質評価項目の基準値を２つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
C	・品質評価項目の基準値を１つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦 ・品質評価項目の基準値を２つ以上達成しているものの、許容値を達成していない麦
D	・品質評価項目の基準値を全く達成していない麦 ・品質評価項目の基準値を１つ達成しているものの、許容値を達成していない麦 ・雑銘柄の麦（品種登録の出願が１年以内になされ、かつ、農産物規格規定が定められる見込みがある新品種であって、実需者との間で当該品種として流通する旨の取り決めがなされている場合を除く。） ・異なる銘柄を混合している麦

（3）品質評価項目とその基準値、許容値

ア　日本めん用小麦

評価項目		基準値	許容値
たんぱく （やや低・低アミロース品種）	新	9.7%以上 11.3%以下	8.5%以上 12.5%以下 (8.0%以上 13.0%以下)
	旧	9.5%以上 11.5%以下	8.0%以上 13.0%以下
灰分	新	1.60%以下	1.65%以下
	旧	1.60%以下	1.70%以下
容積重	新	840g/ℓ以上	―
	旧	833g/ℓ以上	―
フォーリングナンバー	新	300以上	200以上
	旧	300以上	200以上

＊新は、平成19年産から適用。

＊許容値の（　）内は、やや低・低アミロース品種の値を示す。

対象品種：きぬの波・つるぴかり

イ　パン・中華めん用小麦

評価項目	基準値	許容値
たんぱく	11.5%以上 14.0%以下	10.0%以上 15.5%以下
灰分	1.75%以下	1.80%以下
容積重	833g/ℓ以上	―
フォーリングナンバー	300 以上	200 以上

ウ　醸造用小麦

評価項目		基準値	許容値
たんぱく	Ⅰ	11.5%以上 12.0%未満	10.0%以上
	Ⅱ	12.0%以上 13.5%未満	
	Ⅲ	13.5%以上	
容積重		760g/ℓ以上	―

※　たんぱくⅠは品質評価項目の基準値を１つ達成、たんぱくⅡは２つ達成、たんぱくⅢは３つ達成したものとする。

エ　主食等用小粒大麦・はだか麦

評価項目	基準値	許容値
容積重	小粒大麦　690g/ℓ以上 はだか麦　840g/ℓ以上	―
細麦率	小粒大麦　2.2mm（篩）下に 2.0%以下 はだか麦　2.0mm（篩）下に 2.0%以下	―
白度	小粒大麦　43 以上 はだか麦　43 以上 基準歩留：小粒大麦 55% はだか麦 60% 農産物検査時から１ヶ月経過したサンプル	40 以上 40 以上
硝子率	小粒大麦　40%以下 はだか麦　50%以下	50%以下 60%以下

オ　主食等用大粒大麦

評価項目	基準値	許容値
容積重	709g/ℓ以上	―
細麦率	2.5mm（篩）下に 3.0%以下	―
白度	40 以上 基準歩留：55% 農産物検査時から１ヶ月経過したサンプル	37 以上
正常粒率	80%以上（65%歩留時） 1.8mm（篩）上（砕粒を除く）	70%以上

カ　麦茶用小粒・大粒大麦・はだか麦

評価項目		基準値	許容値
たんぱく	Ⅰ	7.5%以上 9.0%未満	6.5%以上
	Ⅱ	9.0%以上 10.5%未満	
	Ⅲ	10.5%以上	
細麦率		小粒大麦　2.0mm（篩）下に 2.0%以下 大粒大麦　2.2mm（篩）下に 2.0%以下 はだか麦　2.0mm（篩）下に 2.0%以下	―

※　たんぱくⅠは品質評価項目の基準値を１つ達成、たんぱくⅡは２つ達成、たんぱくⅢは３つ達成したものとする。

８　令和４年産群馬県産麦品質評価結果

（１）日本めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（ｔ）	ロット数	数量（ｔ）	ロット		数量（ｔ）	
					数	比率(%)	数量（ｔ）	比率(%)
A	9	13,487	3	616	12	40	14,103	67
B	11	6,539	6	336	17	57	6,875	33
C	1	135	0	0	1	3	135	1
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	21	20,161	9	953	30	100	21,113	100

系統別	ＪＡ等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重（ｇ/ℓ）	ﾌｫｰﾘﾝｸﾞﾅﾝﾊﾞｰ	ランク
全農	前橋市	さとのそら	4,115	9.8	1.48	822	391	A
全農	前橋市	つるぴかり	948	9.4	1.55	842	379	A
全農	前橋市	きぬの波	365	8.9	1.54	826	381	B
全農	佐波伊勢崎	さとのそら	5,679	10.0	1.43	841	422	A
全農	佐波伊勢崎	つるぴかり	826	9.4	1.47	840	360	A
全農	佐波伊勢崎	きぬの波	84	9.0	1.39	858	460	A
全農	高崎市	さとのそら	938	9.8	1.54	811	390	A
全農	高崎市	きぬの波	872	8.1	1.38	835	469	B
全農	多野藤岡	さとのそら	669	9.5	1.51	834	400	B
全農	多野藤岡	つるぴかり	26	8.1	1.55	808	358	B
全農	多野藤岡	きぬの波	238	8.6	1.41	840	398	A
全農	新田みどり	さとのそら	999	9.6	1.48	833	373	B
全農	太田市	さとのそら	1,427	9.5	1.44	833	376	B
全農	太田市	つるぴかり	130	8.6	1.57	827	337	B
全農	邑楽館林	さとのそら	659	9.7	1.52	824	382	A
全農	邑楽館林	つるぴかり	1,610	9.5	1.56	837	360	B
全農	はぐくみ	さとのそら	75	9.6	1.52	829	357	B
全農	碓氷安中	きぬの波	139	9.0	1.43	825	363	B
全農	甘楽富岡	さとのそら	135	8.0	1.54	817	389	C
全農	北群渋川	さとのそら	226	9.6	1.48	837	387	B
全集	関商店	さとのそら	126	10.3	1.52	837	369	A
全集	関商店	つるぴかり	97	9.0	1.65	853	337	B
全集	鈴木商店	さとのそら	408	10.1	1.53	852	363	A
全集	鈴木商店	つるぴかり	64	8.3	1.59	838	356	B
全集	米庄商店	さとのそら	17	8.9	1.58	814	373	B
全集	藤岡中央食販	さとのそら	21	8.6	1.47	828	384	B
全集	麻生商店	さとのそら	117	9.6	1.51	826	363	B
全集	新井敏一	さとのそら	21	8.9	1.52	817	363	B
全集	吹上商事	さとのそら	83	10.3	1.56	825	370	A

（2）パン・中華めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（t）	ロット数	数量（t）	ロット		数量（t）	
					数	比率(%)	数量（t）	比率(%)
A	8	844	3	101	11	100	944	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	8	844	3	101	11	100	944	100

系統別	ＪＡ等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重（g/ℓ）	ﾌｫｰﾘﾝｸﾞﾅﾝﾊﾞｰ	ランク
全農	前橋市	ゆめかおり	186	13.7	1.39	836	474	A
全農	佐波伊勢崎	ゆめかおり	481	12.3	1.39	845	388	A
全農	高崎市	ゆめかおり	23	10.0	1.39	852	410	A
全農	多野藤岡	ゆめかおり	89	12.3	1.43	844	405	A
全農	新田みどり	ゆめかおり	7	13.6	1.42	869	414	A
全農	はぐくみ	ゆめかおり	12	10.9	1.41	857	439	A
全農	甘楽富岡	ゆめかおり	1	11.7	1.50	855	439	A
全農	北群渋川	ゆめかおり	45	10.3	1.50	865	426	A
全集	関商店	ゆめかおり	13	12.0	1.65	851	468	A
全集	鈴木商店	ゆめかおり	24	15.1	1.6	854	465	A
全集	麻生商店	ゆめかおり	64	11.5	1.48	865	435	A

（3）主食用小粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（t）	ロット数	数量（t）	ロット		数量（t）	
					数	比率(%)	数量（t）	比率(%)
A	7	1,361	3	117	10	91	1478	92
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	1	124	0	0	1	9	124	8
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	8	1,485	3	117	11	100	1602	100

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重（g/ℓ）	細麦率(%)	白度(%)	硝子率(%)	ランク
全農	前橋市	シュンライ	380	694	2.0	47	39	A
全農	佐波伊勢崎	シュンライ	123	714	0.2	48	40	A
全農	高崎市	シュンライ	377	735	0.0	47	44	A
全農	太田市	シュンライ	49	690	0.4	48	34	A
全農	邑楽館林	シュンライ	380	690	0.1	47	49	A
全農	はぐくみ	シュンライ	49	704	0.2	47	43	A
全農	赤城橘	シュンライ	4	752	0.6	47	50	A
全農	北群渋川	シュンライ	124	719	0.4	47	52	C
全集	関商店	シュンライ	9	690	0.5	50	44	A
全集	鈴木商店	シュンライ	92	690	0.4	48	48	A
全集	麻生商店	シュンライ	16	694	0.7	43	43	A

（4）主食用大粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（t）	ロット数	数量（t）	ロット		数量（t）	
					数	比率(%)	数量（t）	比率(%)
A	2	70	0	0	2	100	70	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	2	70	0	0	2	100	70	100

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重（g/ℓ）	細麦率(%)	白度(%)	正常粒率(%)	ランク
全農	佐波伊勢崎	サチホゴールデン	20	746	0.3	48	98	A
全農	新田みどり	サチホゴールデン	50	741	0.4	48	97	A

９　令和４年産 麦類生育基本調査結果

農業技術センター　稲麦研究センター

「さとのそら」の生育概要は、３月 20 日調査時点まで草丈・㎡当り茎数ともに平年を下回ったが、その後回復し幼穂形成始期、節間伸長開始期、出穂期は平年より１日早くなった。しかし、成熟期は６月上旬の低温と降雨の影響で平年より２日遅れた。

収穫物調査結果は、収量は 604g/㎡で平年比 135%と高く検査等級も１等であった。多収の要因は、稔実粒数が平年比 117%高く、上麦粒数歩合・千粒重は平年並であったことである。

※注）（ ）内は生育基本調査の過去 10 カ年平均値との比較

１．試験条件

（１）供試品種　さとのそら

（２）土壌条件　淡色黒ボク土、水田裏作

（３）試験規模　1 区 30 ㎡、2 反復

（４）耕種概要　播種期：令和３年 11 月 16 日

播種量：100 粒/㎡、播種法：畦間 60cm、播幅 12cm、2 条千鳥播

施肥量：基肥 N 量 0.6kg／a（燐加安 486 号）

追肥 N 量 0.2kg／a（硫安）（令和 4 年 3 月 24 日）

２．試験結果

（１）気象経過（11 月 1 半旬～6 月 6 半旬：図 1、表 3）

平均気温は、播種後から２月下旬までは平年並、３、４月は平年より温暖、５月は平年並、成熟期間際の６月上旬には最低気温 15℃程度日もあり低温となった。

降水量は、550mm で平年を 35mm 上回り播種時期にまとまった降雨があったが、その後は３月中旬以降まで生育に影響を与えるような降雨はなかった。その後４月、５月、６月上旬の間は平年を上回る降雨であった。

日照時間は、1702 時間で平年を 175 時間上回り、平年比 111%であった。

（２）生育経過と収穫物調査結果（表 1）

出芽は、良好で出芽日数は 10 日（-2 日）であった。冬期の乾燥により生育は停滞していたが、3 月下旬以降の降雨と高温により回復し旺盛となった。

出穂期は 4 月 22 日（-1 日）、成熟期は６月上旬の低温と降雨でやや遅れ 6 月 11 日（+2 日）となった。

稈長は 84 ㎝（+7.0cm）、穂長は 9.9 ㎝（+1.2cm）であった。収量は 604g/㎡（130%）と多収で、検査等級は 1 等（2.0 ㎜調整）であった。

多収の要因は、収量構成要素から分析すると有効穂数は 559 本/㎡（117%）、一穂粒数が 40.1 粒/穂（119%）と多く、上麦粒数歩合は 9.7%（-0.5）、千粒重は 38.0g（99%）と平年並みであったことである。

【参考：サチホゴールデン（奨励品種決定調査）】

出穂期は 4 月 9 日（-3 日）、成熟期は 5 月 24 日（-3 日）で、生育は平年より早まった。稈長は 100cm（+9.0cm）、穂長は 6.8cm（+0.5cm）であった。収量は 498 g/㎡（114%）で、収量構成要素をみると有効穂数 741 本/m²（108%）、千粒重 49.4g（104%）であった。上麦重歩合は 86.6%（-1.2）であった。検査等級は、整粒不足、裂皮粒が認められたことから、ビール麦（2.5mm 調整）で等外上であった。

※注）（ ）内は奨励品種決定調査の過去 10 カ年平均値との比較。

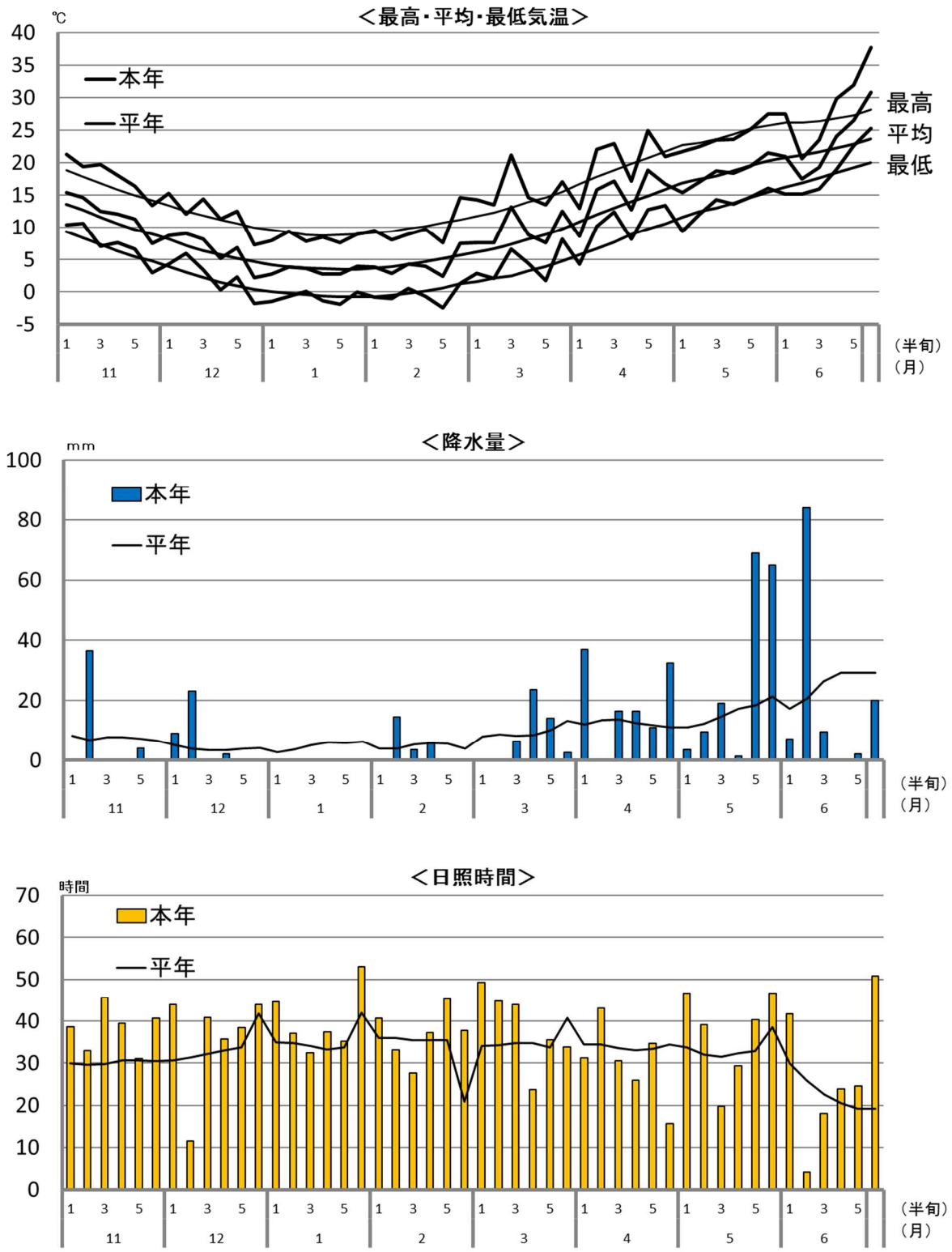


図１　麦作期間気象経過（令和３年 11 月 1 半旬～令和４年６月６半旬）

注）前橋地方気象台の気象データを使用。平年値は 1991 年～2020 年。

表１　令和４年産　麦類生育基本調査結果（前年・平均比較）

		さとのそら		
		本年 実数	前年 比・差	平均 比・差
生育状況	出芽日数(日)	10	＋0	－2
	幼穂形成始期(月/日)	3/4	＋3	－1
	節間伸長開始期(月/日)	3/24	＋6	＋1
	出穂期(月/日)	4/22	＋6	－1
	成熟期(月/日)	6/11	＋8	＋2
	稈長(cm)	84	＋1.7	＋7.0
	穂長(cm)	9.9	＋0.8	＋1.2
収量構成要素	有効穂数(本/㎡)	559	102%	117%
	稔実粒数(粒/穂)	40.1	117%	119%
	稔実小穂数歩合(%)	99.7	1.0	4.8
	上麦粒数歩合(%)	98.7	1.0	0.5
	上麦千粒重(g)	38.0	98%	99%
	上麦重(g/㎡)	604	135%	130%
	検査等級(等)	1	0	0

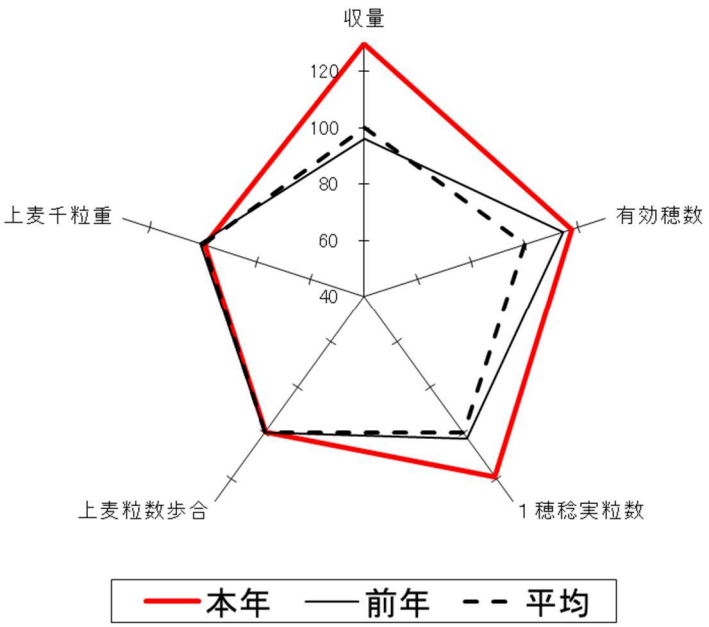


図２　さとのそら収量構成要素（前年・平均比較）

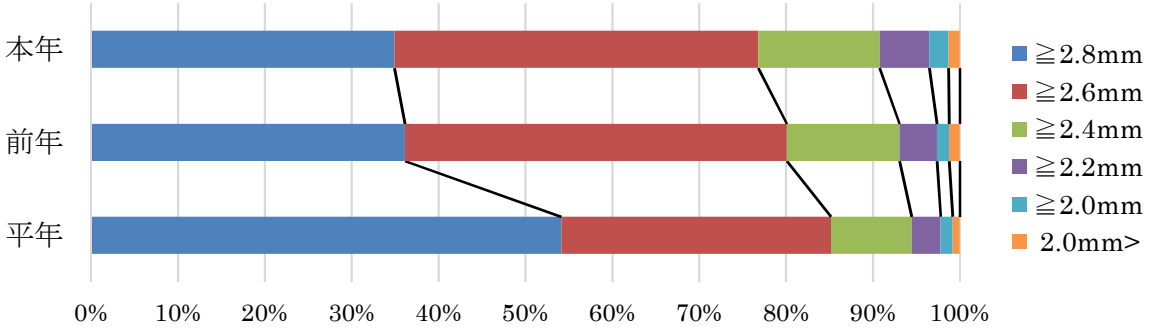


図３　さとのそら　粒厚分布（前年・平均比較）

表２　令和４年産麦類生育基本調査結果（実数）

品種名			さとのそら			
播種期			11月16日			
試験圃			水田			
比較年次			本年	前年	平均(10カ年)	参考 平均(H25産～R3産)
項目		播種日	11/17	11/17	11/14	11/15
発芽	出芽日数（日）		10	10	12	13
発芽	発芽の良否		良	良	良	良
生育状況	12月20日調査	草丈（cm）	8.2	9.1	8.0	8.0
		㎡当り茎数(本)	85	96	127	119
	1月20日調査	草丈（cm）	7.7	8.2	7.9	7.9
		㎡当り茎数(本)	197	287	296	290
	2月10日調査	草丈（cm）	7.3	9.0	8.3	8.4
		㎡当り茎数(本)	410	532	481	474
	3月 1日調査	草丈（cm）	9.7	14.2	11.7	11.9
		㎡当り茎数(本)	609	1005	864	832
	3月20日調査	草丈（cm）	24.9	29.0	23.9	24.7
		㎡当り茎数(本)	843	1088	1011	976
	4月10日調査	草丈（cm）	60.2	68.0	53.5	55.5
		㎡当り茎数(本)	832	557	729	693
	幼穂形成始期（月/日）		3/4	3/1	3/5	3/4
	節間伸長開始期①（月/日）		3/24	3/18	3/23	3/21
	出穂期②（月/日）		4/22	4/16	4/23	4/22
	穂揃日数（日）		2	3	3	3
	①～②までの日数（日）		29	29	31	31
	成熟期（月/日）		6/11	6/3	6/9	6/7
	登熟日数（日）		50	48	47	47
	稈長（cm）		84	83	77	77
	穂長（cm）		9.9	9.1	8.7	8.7
収量構成要素	全穂数（本/㎡）		563	549	480	471
	有効穂数（本/㎡）		559	546	476	467
	有効穂数歩合（%）		99.4	99.4	99.3	99.3
	一穂当 全小穂数（個）		15.2	14.3	14.6	14.6
	一穂当 稔実粒数（粒）		40.1	34.4	33.6	34.4
	一穂当 収量（g）		1.08	0.82	0.99	1.00
	登熟 稔実小穂(粒)数歩合（%）		99.7	97.3	94.9	96.2
	登熟 上麦粒数歩合（%）		98.7	99.8	98.3	98.3
	登熟 上麦千粒重（g）		38.0	38.7	38.2	38.2
収量	㎡当り上麦重（g）		604	448	466	464
	上麦重歩合（%）		98.7	98.8	99.2	99.2
品質	原粒蛋白質含量（%）		9.6	10.4	9.2	9.2
	容積重(g)		808	822	801	802
	ﾌｫｰﾘﾝｸﾞﾅﾝﾊﾞｰ値		365	399	386	390
	灰分含量(%)		1.20	1.62	1.60	1.61
	検査等級（等）		1	1	1	1
被害発生状況			－	－	－	－

※ 上麦：小麦では2.0mm以上とし、品質については上麦を調査。㎡当り上麦重、上麦千粒重・・水分12.5%換算
※ 原粒蛋白質含量：静岡精機GS-2000による原粒の近赤外分析。(水分13.5%換算)
※ 原粒灰分：550℃燃焼による灰分含量(水分13.5%換算)
※ 播種期・・H22～H24産11/10播種、H25産～11/15播種

表 3　期間気象数値（2021 年 11 月～2022 年 6 月）

参考資料　麦作期間気象数値（令和3年11月～令和4年6月）

前橋気象台数値(平年値は1991～2020年)

年	月	半旬	本　年 平均気温 (℃)	平 年 値 平均気温 (℃)	本　年 最高気温 (℃)	平 年 値 最高気温 (℃)	本　年 最低気温 (℃)	平 年 値 最低気温 (℃)	本　年 降水量 (mm)	平年値 降水量 (mm)	本　年 日照時間 (時間)	平 年 値 日照時間 (時間)
令和3	11	1	15.3	13.6	21.3	18.8	10.4	9.3	0.5	8.1	38.6	30.0
			14.6	12.7	19.4	17.8	10.6	8.4	36.5	6.7	32.9	29.6
		3	12.6	11.6	19.7	16.8	7.1	7.4	0.0	7.7	45.7	29.7
			12.1	10.6	18.1	15.8	7.7	6.3	0.0	7.7	39.4	30.6
		5	11.2	9.7	16.4	14.9	6.6	5.5	4.0	7.3	31.1	30.6
			7.5	9.0	13.4	14.2	3.0	4.8	0.0	6.5	40.6	30.5
		平均または合計	12.2	11.2	18.0	16.4	7.6	7.0	41.0	44.0	228.3	181.0
	12	1	8.7	8.2	15.2	13.4	4.3	3.9	9.0	5.1	43.9	30.6
			9.1	7.2	12.1	12.5	6.0	3.0	23.0	4.0	11.6	31.3
		3	8.2	6.4	14.4	11.8	3.4	2.2	0.0	3.3	40.9	32.2
			5.2	5.8	11.3	11.2	0.3	1.5	2.0	3.4	35.7	33.0
		5	6.9	5.2	12.5	10.6	2.3	0.9	0.0	4.0	38.5	33.8
			2.2	4.7	7.3	10.0	−1.8	0.4	0.0	4.1	44.0	41.8
		平均または合計	6.7	6.3	12.1	11.6	2.4	2.0	34.0	23.9	214.6	202.7
令和4	1	1	2.7	4.2	8.0	9.6	−1.4	0.0	0.0	2.6	44.6	35.0
			3.8	3.9	9.4	9.3	−0.6	−0.2	0.0	3.7	37.1	34.7
		3	3.6	3.7	7.8	8.9	0.1	−0.4	0.5	5.2	32.5	34.0
			2.7	3.6	8.5	8.7	−1.4	−0.6	0.0	6.0	37.4	33.2
		5	2.7	3.5	7.7	8.8	−1.9	−0.7	0.0	5.8	35.2	33.7
			4.0	3.5	9.0	9.0	0.0	−0.8	0.0	6.2	53.0	42.0
		平均または合計	3.3	3.7	8.4	9.1	−0.9	−0.5	0.5	29.5	239.8	212.6
	2	1	3.8	3.7	9.5	9.2	−0.8	−0.7	0.0	3.9	40.6	36.0
			2.9	3.9	8.1	9.4	−1.1	−0.5	14.5	3.9	33.2	35.9
		3	4.3	4.3	9.0	9.8	0.6	−0.2	3.5	5.4	27.7	35.5
			4.0	4.7	9.7	10.2	−0.7	0.1	6.0	5.9	37.2	35.5
		5	2.4	5.2	7.7	10.7	−2.5	0.6	0.0	5.6	45.3	35.4
			7.5	5.7	14.6	11.2	1.3	1.2	0.0	3.9	37.8	20.8
		平均または合計	4.1	4.6	9.8	10.1	−0.5	0.1	24.0	28.6	221.8	199.1
	3	1	7.6	6.2	14.3	11.7	2.9	1.6	0.0	7.9	49.2	27.7
			7.6	6.7	13.5	12.3	2.0	2.1	0.0	8.7	44.8	34.1
		3	13.1	7.4	21.2	13.1	6.6	2.5	6.5	8.1	43.9	34.2
			8.9	8.2	14.7	14.0	4.4	3.2	23.5	8.4	23.7	34.8
		5	7.7	8.9	13.5	14.6	1.8	3.9	14.0	10.0	35.6	34.7
			12.5	9.8	17.0	15.5	8.1	4.8	2.5	13.3	33.9	33.8
		平均または合計	9.6	7.9	15.7	13.5	4.3	3.0	46.5	56.4	231.1	199.3
	4	1	8.6	10.9	13.0	16.7	4.3	5.8	37.0	12.1	31.2	34.5
			15.9	12.0	22.0	17.8	10.2	6.7	0.0	13.5	43.1	34.4
		3	17.1	13.0	23.0	18.8	12.4	7.7	16.5	13.7	30.5	33.6
			12.7	14.0	17.2	19.8	8.2	8.9	16.5	12.6	25.9	33.0
		5	18.8	14.9	25.0	20.7	12.7	9.8	11.0	11.7	34.7	33.4
			16.7	15.9	21.0	21.7	13.4	10.6	32.5	11.0	15.7	34.4
		平均または合計	15.0	13.5	20.2	19.3	10.2	8.3	113.5	74.6	181.1	203.3
	5	1	15.3	16.9	21.7	22.7	9.4	11.6	3.5	11.6	46.7	33.8
			17.0	17.5	22.5	23.1	12.0	12.4	9.5	12.4	39.1	32.0
		3	18.7	18.0	23.5	23.6	14.3	13.0	19.0	13.0	19.7	31.5
			18.3	18.8	23.6	24.4	13.6	13.8	1.5	13.8	29.4	32.4
		5	19.5	19.6	25.2	25.3	14.7	14.7	69.0	14.7	40.3	32.9
			21.5	20.3	27.4	25.7	16.0	15.5	65.0	15.5	46.6	38.5
		平均または合計	18.4	18.5	24.0	24.1	13.3	13.5	167.5	81.0	221.8	201.1
	6	1	21.0	20.8	27.5	26.1	15.1	16.2	7.0	17.3	41.7	29.9
			17.5	21.2	20.7	26.2	15.1	16.9	84.0	20.7	4.1	25.9
		3	19.3	21.7	23.5	26.4	15.9	17.7	9.5	26.4	18.1	22.5
			24.0	22.3	29.8	26.8	18.9	18.4	0.5	29.2	23.9	20.5
		5	26.5	22.9	31.9	27.3	22.6	19.2	2.0	29.2	24.5	19.1
			30.9	23.7	37.7	28.1	25.2	20.0	20.0	29.3	50.8	19.1
		平均または合計	23.2	22.1	28.5	26.8	18.8	18.1	123.0	152.1	163.1	137.0

注）最高気温、最低気温は旬ごとの各日のデータの平均値。

＜麦作期間の月別気象数値＞

	本　年 平均気温 (℃) ①	平 年 値 平均気温 (℃) ②	(℃) ①−②	本　年 降水量 (mm) ③	平年値 降水量 (mm) ④	(%) ③×100/④	本　年 日照時間 (時間) ⑤	平 年 値 日照時間 (時間) ⑥	(%) ⑤×100/⑥
2021年11月	12.2	10.8	1.4	41.0	44.7	92	228.3	179.3	127
12月	6.6	6.0	0.6	34.0	23.1	147	214.6	205.1	105
2022年　1月	3.3	3.5	−0.2	0.5	26.2	2	239.8	210.1	114
2月	4.0	4.0	0.0	24.0	32.1	75	221.8	194.3	114
3月	9.7	7.3	2.4	46.5	61.5	76	231.1	206.2	112
4月	15.0	13.2	1.8	113.5	78.1	145	181.1	199.7	91
5月	18.5	18.0	0.5	167.5	101.9	164	221.8	192.6	115
6月	23.2	21.5	1.7	123.0	145.2	85	163.1	132.2	123
11月～翌6月	11.6	10.6	1.0	550	515	107	1702	1527	111

１０　作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

（１）群馬県

区分	４　麦　合　計		小　　麦					二　　条　　大　　麦				
年度	作付面積 ha	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	70,700	148,400	45,700	198	220	90	90,100					
30	66,000	200,600	38,900	298	262	114	116,100					
35	63,900	172,000	36,700	248	281	88	91,000	645	271	－	－	1,740
40	43,600	111,300	32,300	248	279	89	80,100	1,150	289	335	86	3,320
45	23,400	79,600	19,300	341	323	106	65,800	1,730	340	341	100	5,880
50	11,300	42,000	9,450	375	335	112	35,400	1,430	358	346	103	5,120
51	12,100	34,600	10,200	283	345	82	28,900	1,550	279	346	81	4,320
52	12,500	48,500	10,500	389	345	113	40,800	1,800	366	346	106	6,590
53	14,300	50,800	11,700	359	350	103	42,000	2,340	332	346	96	7,770
54	15,600	62,100	12,600	394	350	113	49,600	2,740	415	346	120	11,400
55	16,400	57,400	13,500	351	361	97	47,400	2,620	329	351	94	8,620
56	16,500	67,400	13,600	408	361	113	55,500	2,610	393	351	112	10,300
57	16,300	62,300	13,300	389	375	104	51,700	2,590	345	361	96	8,940
58	16,400	69,800	13,300	439	378	116	58,400	2,580	363	361	101	9,370
59	16,700	64,000	13,600	380	385	99	51,700	2,500	404	363	111	10,100
60	16,500	67,900	13,200	418	393	106	55,200	2,710	371	370	100	10,100
61	16,700	71,000	13,100	429	399	108	56,200	2,920	411	376	109	12,000
62	16,800	67,200	12,900	393	405	97	50,700	3,230	416	382	109	13,400
63	16,900	75,800	12,900	447	408	110	57,700	3,250	446	390	114	14,500
H１	17,000	73,600	12,900	428	414	103	55,200	3,380	444	394	113	15,000
２	16,200	69,100	11,900	428	420	102	50,900	3,470	425	402	106	14,700
３	15,100	58,400	11,100	390	423	92	43,300	3,340	378	412	92	12,600
４	14,100	57,300	10,500	398	426	93	41,800	3,110	431	416	104	13,400
５	13,300	58,700	9,840	430	426	101	42,300	3,130	467	416	112	14,600
６	12,700	54,600	9,330	416	426	98	38,800	3,110	463	426	109	14,400
７	12,300	57,000	9,020	462	426	108	41,700	3,040	460	431	107	14,000
８	11,900	54,600	8,690	455	428	106	39,500	2,900	471	435	108	13,700
９	11,400	49,800	8,360	439	439	100	36,700	2,720	435	444	98	11,800
10	11,200	41,500	8,420	387	441	88	32,600	2,440	337	454	74	8,220
11	10,400	42,400	8,090	406	441	92	32,800	2,040	420	456	92	8,570
12	10,100	45,200	7,950	444	441	101	35,300	1,880	470	459	102	8,840
13	10,200	43,400	8,070	422	441	96	34,100	1,840	445	459	97	8,190
14	10,100	47,100	8,130	467	441	106	38,000	1,640	459	459	100	7,530
15	10,100	46,500	8,190	468	441	106	38,300	1,570	435	459	95	6,830
16	9,690	32,700	7,950	338	441	77	26,900	1,430	325	459	71	4,650
17	9,320	38,500	7,680	417	425	98	32,000	1,310	390	419	93	5,110
18	9,220	39,500	7,610	440	431	102	33,500	1,250	381	430	89	4,760
19	7,890	30,200	6,310	393	438	90	24,800	1,220	337	422	80	4,110
20	7,920	33,000	6,340	418	428	98	26,500	1,200	408	398	103	4,900
21	7,900	31,900	6,260	411	427	96	25,700	1,210	396	390	102	4,590
22	7,660	25,900	5,960	337	416	81	20,100	1,250	348	382	91	4,350
23	7,640	29,200	5,860	386	395	98	22,600	1,290	362	370	98	4,670
24	7,810	32,600	5,890	451	405	111	26,600	1,400	315	375	84	4,410
25	7,830	32,900	5,860	433	410	106	25,400	1,470	368	365	101	5,410
26	7,720	29,400	5,750	410	408	100	23,600	1,470	309	362	85	4,540
27	7,590	30,800	5,580	421	412	102	23,500	1,480	364	358	102	5,390
28	7,640	30,400	5,580	424	412	103	23,700	1,530	336	351	96	5,140
29	7,670	31,800	5,570	436	415	105	24,300	1,570	367	345	106	5,760
30	7,760	29,800	5,680	406	425	96	23,100	1,580	322	349	92	5,090
R１	7,650	30,200	5,570	412	425	97	22,900	1,580	351	341	103	5,550
２	7,650	29,800	5,500	403	420	96	22,200	1,630	357	348	103	5,820
３	7,630	29,500	5,430	386	415	93	21,000	1,670	403	346	116	6,730
４	7,530	29,900	5,380	416	413	101	22,400	1,640	354	355	100	5,810

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。（令和３年産については第１報）

（注）１．昭和３０年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。
２．平成１７年から平年収量ではなく平均収量（直近７カ年の内、最高及び最低を除いた５カ年の平均値）。
３．平成１７年から作況指数ではなく平均収量対比となった。
４．四捨五入の関係で、４麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六　条　大　麦					は　だ　か　麦				
年度	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	21,700	238	239	100	51,600	3,340	220	—	—	6,720
30	21,400	318	302	105	67,900	5,660	293	278	106	16,600
35	24,700	303	316	96	74,600	1,810	257	300	86	4,670
40	9,780	275	275	100	26,900	343	278	316	88	954
45	2,210	334	330	101	7,380	176	315	300	105	554
50	364	367	345	106	1,340	41	339	307	110	139
51	389	316	349	91	1,230	41	295	317	93	121
52	254	385	349	110	978	32	363	323	112	116
53	265	351	355	99	930	35	323	334	97	113
54	250	403	355	114	1,010	24	379	334	113	91
55	335	388	365	106	1,300	22	327	340	96	72
56	358	434	365	119	1,550	16	363	340	107	58
57	440	377	379	99	1,660	7	314			22
58	522	393	384	102	2,050	3	356			12
59	529	420	390	108	2,220	0	291			1
60	630	413	398	104	2,600	0	322			1
61	644	430	405	106	2,770	0	316			0
62	694	442	412	107	3,070	0	300			0
63	762	472	420	112	3,600	0	317			0
H1	757	446	428	104	3,380	0	332	—	—	0
2	773	446	431	103	3,450	—	—	—	—	—
3	618	403	437	92	2,490	—	—	—	—	—
4	466	460	441	104	2,140	—	—	—	—	—
5	369	496	441	112	1,830	—	—	—	—	—
6	306	468	454	103	1,430	—	—	—	—	—
7	272	467	456	102	1,270	—	—	—	—	—
8	276	494	456	108	1,360	—	—	—	—	—
9	280	457	462	99	1,280	—	—	—	—	—
10	287	253	463	55	726	—	—	—	—	—
11	252	419	463	90	1,060	—	—	—	—	—
12	226	474	461	103	1,070	—	—	—	—	—
13	261	434	457	95	1,130	—	—	—	—	—
14	334	457	457	100	1,530	—	—	—	—	—
15	307	442	455	97	1,360	—	—	—	—	—
16	312	355	453	…	1,110	—	—	—	—	—
17	328	409	421	97	1,340	—	—	—	—	—
18	355	355	432	82	1,260	—	—	—	—	—
19	364	354	419	84	1,290	—	—	—	—	—
20	376	412	399	103	1,550	—	—	—	—	—
21	422	381	395	96	1,610	—	—	—	—	—
22	460	324	382	85	1,490	—	—	—	—	—
23	489	389	371	105	1,900	—	—	—	—	—
24	523	310	378	82	1,620	—	—	—	—	—
25	504	409	361	122	2,060	—	—	—	—	—
26	498	259	371	70	1,290	—	—	—	—	—
27	523	360	363	99	1,880	—	—	—	—	—
28	532	310	353	88	1,650	—	—	—	—	—
29	527	328	339	97	1,730	—	—	—	—	—
30	491	325	339	96	1,600	3	200	—	—	6
R1	494	360	327	110	1,780	5	257	—	—	13
2	515	341	337	101	1,760	3	184	—	—	6
3	520	342	333	103	1,780	3	293	214	137	9
4	506	332	340	98	1,680	1	298	234	127	3

作柄と作況指数　　良：１０６以上
やや良：１０２～１０５
平年並み：９９～１０１
やや不良：９５～９８
不良：９４以下

（２）全国

区分	４　麦　合　計		小　　麦					二　条　大　麦				
年度	作付面積	収穫量	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量
	千ha	千ｔ	千ha	kg	kg		千ｔ	千ha	kg	kg		千ｔ
S25	1,784	3,298	794	175			1,338					
30	1,659	3,875	663	221			1,468					
35	1,440	3,831	602	254			1,531	83	279			231
40	898	2,521	476	270			1,287	113	281			318
45	455	1,046	229	207	275	75	474	99	271	307	88	269
50	168	462	90	269	280	96	241	50	276	296	93	137
51	169	433	89	250	283	88	222	53	254	292	87	135
52	164	442	86	275	285	96	236	53	252	293	86	135
53	208	693	112	327	284	115	367	70	342	295	116	239
54	265	948	149	363	286	127	541	84	352	296	119	294
55	313	968	191	305	298	102	583	85	317	302	105	269
56	347	970	224	262	303	86	587	83	318	305	104	264
57	351	1,132	228	326	305	107	742	82	317	307	103	259
58	353	1,075	229	303	311	97	695	84	297	311	95	249
59	349	1,136	232	319	316	101	741	82	262	313	116	295
60	347	1,252	234	374	319	117	874	80	331	319	104	264
61	353	1,220	246	357	328	109	876	76	329	324	102	249
62	383	1,217	271	319	337	95	864	76	312	329	95	237
63	396	1,420	282	362	338	107	1,021	74	356	332	107	265
H１	397	1,356	284	347	343	101	985	76	344	335	103	260
2	366	1,297	260	365	348	105	952	74	344	338	102	254
3	334	1,042	239	318	356	89	759	68	303	344	88	207
4	299	1,045	215	354	367	96	759	63	357	345	103	225
5	261	921	184	347	369	112	638	61	375	348	112	228
6	214	790	152	372	380	109	565	55	362	353	109	200
7	210	662	151	293	379	77	444	51	375	354	106	192
8	216	711	159	302	377	80	478	46	411	358	115	190
9	215	766	158	364	376	97	573	44	337	365	92	148
10	217	713	162	351	375	94	570	39	273	368	74	107
11	221	788	169	345	377	92	583	37	411	368	112	151
12	237	903	183	376	377	100	688	37	419	370	113	154
13	257	906	197	355	355	95	700	40	351	351	94	139
14	272	1,045	207	401	371	108	828	41	334	374	89	136
15	276	1,054	212	403	370	109	856	40	312	370	84	123
16	272	1,056	213	404	371	109	860	37	347	369	94	129
17	268	1,062	214	411	377	109	877	35	358	354	101	125
18	272	1,011	218	383	391	98	837	34	347	365	95	118
19	264	1,105	210	434	395	110	910	32	373	352	106	129
20	265	1,100	209	423	403	105	882	35	410	345	119	145
21	266	854	208	324	412	79	675	36	321	353	91	116
22	266	729	207	274	408	67	568	37	285	354	81	104
23	272	912	212	353	388	91	746	38	317	348	91	119
24	270	1,027	209	409	378	108	855	38	292	341	86	112
25	270	995	210	386	379	101	811	38	311	331	91	117
26	273	1,019	213	399	379	105	849	38	287	325	88	108
27	274	1,181	213	471	371	127	1,004	38	298	313	95	113
28	276	947	214	363	371	98	778	38	276	305	90	105
29	274	1,087	212	426	384	111	905	38	308	295	104	118
30	273	941	212	362	399	91	768	38	315	301	105	121
R１	273	1,260	212	490	399	123	1,037	38	386	301	128	147
2	276	1,171	213	447	411	109	949	39	368	306	121	145
3	283	1,311	220	490	423	116	1,078	38	409	317	129	156
4	290	1,220	227	434	441	98	987	38	396	337	118	150

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。（令和3年産については第1報）

（注）１．昭和３０年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。

２．平成１７年から平年収量ではなく平均収量（直近７カ年の内、最高及び最低を除いた５カ年の平均値）。

３．平成１７年から作況指数ではなく平均収量対比となった。

４．四捨五入の関係で、４麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六　条　大　麦					はだか麦				
年度	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量
	千ha	kg	kg		千ｔ	千ha	kg	kg		千ｔ
S25	429	209			897	591	180			1,063
30	434	265			1,148	562	224			1,260
35	319	305			975	436	251			1,095
40	132	305			403	177	290			513
45	46	320	337	98	148	80	193	269	72	155
50	11	334	334	105	37	17	271	274	99	47
51	11	328	326	101	35	17	244	278	88	40
52	10	336	335	100	33	15	261	280	93	39
53	11	336	332	101	37	15	330	284	116	50
54	15	347	325	107	54	17	352	286	123	59
55	19	325	326	100	63	18	296	294	101	53
56	23	286	318	90	67	16	327	299	109	53
57	26	312	317	98	82	15	326	306	107	48
58	27	343	321	107	91	14	291	311	94	39
59	24	241	326	74	58	11	383	313	122	43
60	23	331	327	101	76	10	366	321	114	38
61	22	295	330	89	65	10	314	332	95	30
62	27	330	324	102	89	8	317	337	94	27
63	31	339	318	107	105	9	340	340	100	29
H1	29	298	314	95	86	9	296	348	85	25
2	25	282	316	89	69	8	298	349	85	23
3	21	300	313	96	63	6	225	347	65	14
4	17	291	314	93	49	4	296	343	78	12
5	13	328	316	112	44	3	375	335	112	12
6	4	345	345	109	14	3	356	337	109	12
7	4	324	347	93	12	4	358	334	107	14
8	7	374	330	113	26	4	438	337	130	18
9	9	334	338	99	29	5	332	340	98	17
10	10	253	341	74	26	5	199	345	58	11
11	10	338	339	100	35	5	392	345	114	19
12	11	336	337	100	38	5	409	350	117	22
13	15	320	320	95	48	6	328	328	92	20
14	18	347	341	102	61	6	325	357	91	20
15	18	312	345	90	57	6	312	356	88	18
16	18	291	338	86	51	5	306	352	87	16
17	16	309	319	97	48	5	267	334	80	12
18	15	278	327	85	43	4	303	337	90	13
19	16	334	318	105	53	4	356	315	113	14
20	17	333	311	107	56	4	370	311	119	16
21	18	301	310	97	53	4	253	315	80	11
22	17	261	307	85	45	5	252	309	82	12
23	17	222	299	74	39	5	267	295	91	14
24	17	280	289	97	48	5	247	290	85	12
25	17	305	291	105	52	5	291	288	101	15
26	17	271	294	92	47	5	282	284	99	15
27	18	290	286	101	53	5	215	270	80	11
28	18	293	281	104	53	5	199	255	78	10
29	18	283	278	102	51	5	256	251	102	13
30	17	224	285	79	39	5	252	252	100	14
R1	18	315	285	111	56	6	351	250	140	20
2	18	314	290	108	57	6	322	260	124	20
3	18	304	292	104	55	7	320	266	120	22
4	19	336	298	113	65	6	291	275	106	17

作柄と作況指数　　良：　１０６以上
やや良：　１０２～１０５
平年並み：　９９～１０１
やや不良：　９５～９８
不良：　９４以下

１１　令和２、３年産市町村別麦類10ａ当たり収量、収穫量

市町村別	４　麦　計				小　麦					
	作付面積(ha)		収穫量(ｔ)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(ｔ)	
	R２年産	３年産	R２年産	３年産	R２年産	３年産	R２年産	３年産	R２年産	３年産
前橋市	1,618	1,612	7,049	5,958	1,320	1,320	438	359	5,770	4,750
高崎市	672	648	2,577	2,412	570	543	383	374	2,180	2,030
桐生市	3	0	8	0	x	x	x	x	x	x
伊勢崎市	1,266	1,230	5,353	5,097	1,220	1,160	424	417	5,180	4,860
太田市	635	646	2,414	2,380	608	646	381	368	2,320	2,380
沼田市	1	1	3	2	1	1	288	236	3	2
館林市	733	748	2,572	2,884	143	129	329	371	471	479
渋川市	106	102	238	273	81	71	215	280	174	199
藤岡市	322	320	1,030	1,115	295	295	350	361	1,030	1,070
富岡市	13	13	44	51	13	13	338	392	44	51
安中市	35	34	136	132	35	34	389	388	136	132
みどり市	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
榛東村	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
吉岡町	13	14	38	44	x	x	x	x	x	x
上野村	0	0	0	－	0	0	…	…	…	…
神流町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
下仁田町	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
南牧村	0	0	0	0	－	－	－	－	－	－
甘楽町	37	39	126	134	37	39	341	344	126	134
中之条町	5	5	15	10	5	5	297	196	15	10
長野原町	0	0	－	－	0	0	…	…	…	…
嬬恋村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
草津町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高山村	0	0	－	－	0	0	…	…	…	…
東吾妻町	2	2	5	4	2	2	242	200	5	4
片品村	－	－	－	－	0	0	…	…	…	…
川場村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
昭和村	0	0	0	0	0	0	…	…	…	…
みなかみ町	2	2	7	6	2	2	337	277	7	6
玉村町	622	596	2,619	2,588	554	530	443	439	2,450	2,330
板倉町	171	182	631	746	171	182	369	410	631	746
明和町	113	125	396	500	63	72	360	408	227	294
千代田町	437	449	1,477	1,838	72	85	376	422	271	359
大泉町	51	39	169	159	15	15	347	407	52	61
邑楽町	727	711	2,505	2,917	256	244	372	420	952	1,020
県計	7,645	7,623	29,780	29,529	5,500	5,430	403	387	22,200	21,000

注）農林水産関係市町村別統計による。令和４年産については、令和５年２月末現在、公表されていない。

市町村別	二　条　大　麦						六　条　大　麦					
	作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(ｔ)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(ｔ)	
	R２年産	３年産	R２年産	３年産	R２年産	３年産	R２年産	３年産	R２年産	３年産	R２年産	３年産
前橋市	188	187	443	432	833	808	110	105	405	381	446	400
高崎市	x	x	x	x	x	x	102	105	389	364	397	382
桐生市	－	－	－	－	－	－	3	x	280	x	8	x
伊勢崎市	14	16	407	394	57	63	32	54	363	322	116	174
太田市	x	x	x	x	x	x	27	x	348	x	94	x
沼田市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
館林市	483	515	369	396	1,780	2,040	107	104	300	351	321	365
渋川市	－	－	－	－	－	－	25	31	256	239	64	74
藤岡市	－	－	－	－	－	－	27	25	174	180	47	45
富岡市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
安中市	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
みどり市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
榛東村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
吉岡町	－	－	－	－	－	－	13	14	292	314	38	44
上野村	－	－	－	－	－	－	－	x	－	x	－	－
神流町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
下仁田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
南牧村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
甘楽町	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
中之条町	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
長野原町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
嬬恋村	x	x	x	x	x	x	－	－	－	－	－	－
草津町	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－
高山村	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－
東吾妻町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
片品村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川場村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
昭和村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
みなかみ町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
玉村町	53	58	319	386	169	224	15	8	420	425	63	34
板倉町	x	x	x	x	x	x	－	－	－	－	－	－
明和村	33	36	355	406	117	146	17	17	306	353	52	60
千代田町	332	330	335	409	1,110	1,350	33	34	291	379	96	129
大泉町	36	24	325	408	117	98	－	－	－	－	－	－
邑楽町	470	465	329	408	1,550	1,890	1	2	291	350	3	7
県計	1,630	1,670	357	403	5,820	6,730	515	520	341	345	1,760	1,790

１２　令和４年産４麦の作付面積及び収穫量

(1)　４麦計

全国農業地域・都道府県	作付面積	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	収穫量 対差	収穫量 対比
	ha	t	ha	%	t	%
全国	290,500	1,220,000	7,500	103	△112,000	92
(全国農業地域)						
北海道	132,400	616,100	4,100	103	△121,600	84
都府県	158,200	603,900	3,500	102	9,500	102
東　北	7,910	22,100	150	102	1,300	106
北　陸	10,700	38,800	710	107	9,600	133
関東・東山	38,000	128,600	500	101	△ 7,200	95
東　海	17,900	69,900	500	103	3,100	105
近　畿	11,000	38,800	600	106	6,100	119
中　国	6,570	24,100	△ 170	97	200	101
四　国	5,250	17,900	△ 90	98	△ 2,200	89
九　州	60,800	263,600	1,300	102	△ 1,500	99
沖縄	12	14	△ 2	86	△ 4	78
(都道府県)						
北海道	132,400	616,100	4,100	103	△121,600	84
青森	x	x	x	x	x	x
岩手	3,820	9,200	30	101	1,150	114
宮城	2,420	8,740	10	100	△ 140	98
秋田	288	962	16	106	336	154
山形	x	x	x	x	x	x
福島	460	885	x	x	x	x
茨城	7,610	17,900	230	103	△ 4,400	80
栃木	12,700	45,000	100	101	△ 3,100	94
群馬	**7,530**	**29,900**	**△ 100**	**99**	**400**	**101**
埼玉	6,270	22,500	220	104	△ 1,500	94
千葉	x	x	x	x	x	x
東京	x	x	x	x	x	x
神奈川	x	x	x	x	x	x
新潟	246	715	45	122	223	145
富山	3,560	13,500	200	106	3,200	131
石川	1,700	6,160	150	110	1,270	126
福井	5,190	18,400	300	106	4,900	136
山梨	117	361	0	100	36	111
長野	2,960	11,000	130	105	2,480	129
岐阜	3,750	13,100	100	103	1,900	117
静岡	x	x	x	x	x	x
愛知	5,980	30,400	80	101	500	102
三重	7,390	24,500	250	104	1,200	105
滋賀	8,180	30,500	340	104	4,000	115
京都	295	668	25	109	83	114
大阪	x	x	x	x	x	x
兵庫	2,380	7,250	210	110	1,970	137
奈良	x	x	x	x	x	x
和歌山	x	x	x	x	x	x
鳥取	x	x	x	x	x	x
島根	712	1,980	24	103	70	104
岡山	3,270	12,900	△ 50	98	△ 500	96
広島	x	x	x	x	x	x
山口	2,050	7,860	△ 160	93	420	106
徳島	x	x	x	x	x	x
香川	3,220	11,300	90	103	△ 800	93
愛媛	1,880	6,190	△ 190	91	△ 1,490	81
高知	12	33	0	100	4	114
福岡	22,700	101,200	400	102	△ 4,300	96
佐賀	22,000	103,500	200	101	0	100
長崎	2,020	6,530	△ 20	99	△ 740	90
熊本	7,930	30,100	410	105	700	102
大分	5,680	20,900	330	106	2,700	115
宮崎	x	x	x	x	x	x
鹿児島	323	844	x	x	x	x
沖縄	12	14	△ 2	86	△ 4	78

注）農林水産統計「令和４年産麦類（子実用）の作付面積（全国）及び収穫量（都府県）」による。

(2) 小　麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	227,300	434	987,600	7,300	103	87	△109,400	90	98	441
(全国農業地域)										
北海道	130,600	467	609,400	4,500	104	81	△119,000	84	91	516
都府県	96,700	391	378,200	2,800	103	99	9,300	103	115	341
東　北	6,300	267	16,800	10	100	106	1,000	106	110	243
北　陸	398	244	971	67	120	123	314	148	117	209
関東・東山	20,800	350	72,700	400	102	99	500	101	96	366
東　海	17,400	393	68,400	500	103	102	3,200	105	109	360
近　畿	8,450	355	30,000	220	103	113	4,200	116	131	271
中　国	2,950	393	11,600	60	102	109	1,200	112	128	306
四　国	2,850	389	11,100	360	114	96	1,000	110	111	351
九　州	37,600	443	166,500	1,300	104	95	△ 2,200	99	125	353
沖縄	7	103	7	△ 5	58	77	△ 9	44	76	135
(都道府県)										
北海道	130,600	467	609,400	4,500	104	81	△119,000	84	91	516
青森	733	260	1,910	32	105	106	190	111	108	240
岩手	3,750	240	9,000	30	101	114	1,150	115	117	205
宮城	994	392	3,900	△ 116	90	100	△ 460	89	97	405
秋田	288	334	962	16	106	145	336	154	153	219
山形	109	202	220	26	131	90	33	118	82	245
福島	432	194	838	24	106	74	△ 232	78	87	223
茨城	4,640	268	12,400	130	103	88	△ 1,400	90	86	310
栃木	2,380	365	8,690	90	104	104	630	108	98	372
群馬	**5,380**	**416**	**22,400**	**△ 50**	**99**	**107**	**1,400**	**107**	**101**	**413**
埼玉	5,290	360	19,000	210	104	92	△ 1,000	95	92	392
千葉	739	231	1,710	△ 52	93	66	△ 1,040	62	73	317
東京	12	175	21	△ 2	86	107	△ 2	91	72	242
神奈川	39	233	91	△ 3	93	90	△ 18	83	85	275
新潟	118	296	349	49	171	129	190	219	133	223
富山	51	248	126	1	102	127	28	129	127	196
石川	94	215	202	△ 8	92	119	18	110	103	208
福井	135	218	294	25	123	111	78	136	108	202
山梨	76	346	263	0	100	111	26	111	113	306
長野	2,270	360	8,170	50	102	128	1,910	131	113	320
岐阜	3,490	358	12,500	120	104	113	1,800	117	116	308
静岡	749	245	1,840	5	101	79	△ 470	80	107	229
愛知	5,870	511	30,000	90	102	100	600	102	108	473
三重	7,250	332	24,100	270	104	102	1,300	106	107	309
滋賀	6,430	374	24,000	220	104	111	3,100	115	130	288
京都	196	195	382	22	113	106	62	119	127	153
大阪	1	117	1	△ 1	50	96	△ 1	50	91	129
兵庫	1,710	307	5,250	△ 20	99	126	1,050	125	138	223
奈良	119	303	361	2	102	106	25	107	126	241
和歌山	4	180	7	1	133	125	2	140	142	127
鳥取	81	323	262	4	105	98	7	103	108	299
島根	143	186	266	11	108	98	15	106	111	168
岡山	956	433	4,140	△ 12	99	108	260	107	119	365
広島	206	244	503	39	123	138	207	170	137	178
山口	1,560	415	6,470	10	101	112	750	113	138	301
徳島	73	321	234	19	135	89	39	120	111	288
香川	2,360	380	8,970	140	106	92	△ 200	98	106	358
愛媛	409	452	1,850	195	191	130	1,110	249	140	322
高知	4	139	6	0	100	95	0	100	88	158
福岡	16,500	457	75,400	500	103	94	△ 2,700	97	122	374
佐賀	12,100	469	56,700	500	104	96	0	100	127	369
長崎	656	332	2,180	5	101	96	△ 70	97	121	275
熊本	5,210	399	20,800	60	101	95	△ 800	96	126	317
大分	2,960	371	11,000	170	106	105	1,180	112	139	266
宮崎	120	261	313	17	117	202	180	235	146	179
鹿児島	48	198	95	15	145	90	22	130	129	153
沖縄	7	103	7	△ 5	58	77	△ 9	44	76	135

注：1　「(参考) 10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（原則として直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値をいう。ただし、直近７か年全ての10 a 当たり収量が確保できない場合は、６か年又は５か年の最高及び最低を除いた平均とし、４か年又は３か年の場合は、単純平均である。）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。なお、直近７か年のうち、３か年分の10 a 当たり収量のデータが確保できない場合は、10 a 当たり平均収量を作成していない（以下各統計表において同じ。）。

2　全国農業地域別（都府県を除く。）の10 a 当たり平均収量は、各都道府県の10 a 当たり平均収量に当年の作付面積を乗じて求めた収穫量（平均収穫量）を全国農業地域別に積み上げ、当年の全国農業地域別作付面積で除して算出している（以下各統計表において同じ。）。

(3)　二条大麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	38,100	396	150,700	△ 100	100	96	△ 6,900	96	118	337
(全国農業地域)										
北海道	1,700	381	6,480	△ 40	98	85	△ 1,280	84	95	402
都府県	36,400	396	144,200	0	100	96	△ 5,600	96	119	334
東　北	23	330	76	x	x	96	x	x	126	261
北　陸	2	150	3	0	100	75	△ 1	75	100	150
関東・東山	11,900	356	42,400	△ 100	99	89	△ 5,700	88	97	366
東　海	x	226	x	x	x	88	x	x	nc	…
近　畿	x	372	x	x	x	110	x	x	nc	…
中　国	2,920	360	10,500	△ 30	99	93	△ 900	92	108	333
四　国	x	293	x	x	x	130	x	x	98	298
九　州	21,300	424	90,400	100	100	100	800	101	135	315
沖縄	5	133	7	3	250	153	5	350	222	60
(都道府県)										
北海道	1,700	381	6,480	△ 40	98	85	△ 1,280	84	95	402
青森	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
岩手	x	x	x	x	x	x	x	x	x	363
宮城	x	x	x	x	x	x	x	x	x	310
秋田	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	214
山形	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
福島	8	263	21	1	114	148	9	175	168	157
茨城	912	188	1,710	△ 98	90	61	△ 1,400	55	72	262
栃木	8,600	372	32,000	△ 50	99	91	△ 3,300	91	98	378
群馬	**1,640**	**354**	**5,810**	**△ 30**	**98**	**88**	**△ 920**	**86**	**100**	**355**
埼玉	726	391	2,840	24	103	93	△ 100	97	99	396
千葉	x	x	x	x	x	x	x	x	x	234
東京	1	245	3	0	100	151	1	150	125	196
神奈川	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	173
新潟	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	40
富山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	139
石川	x	x	x	x	x	x	x	x	x	165
福井	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
山梨	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
長野	12	290	35	2	120	132	13	159	104	279
岐阜	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
静岡	17	212	36	△ 1	94	83	△ 10	78	139	152
愛知	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
三重	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
滋賀	64	505	323	6	110	113	65	125	128	393
京都	99	289	286	3	103	105	21	108	136	213
大阪	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
兵庫	2	109	3	1	200	97	2	300	nc	…
奈良	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
和歌山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	−
鳥取	92	290	267	3	103	100	8	103	99	292
島根	536	306	1,640	34	107	102	130	109	108	283
岡山	2,090	380	7,940	△ 30	99	91	△ 940	89	106	357
広島	x	120	x	x	x	x	x	x	117	103
山口	200	339	678	△ 32	86	107	△ 55	92	142	238
徳島	38	276	105	△ 7	84	131	10	111	93	297
香川	x	x	x	x	x	x	x	x	x	327
愛媛	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
高知	5	420	21	0	100	117	3	117	141	297
福岡	5,680	424	24,100	△ 110	98	97	△ 1,300	95	131	323
佐賀	9,670	473	45,700	△ 300	97	103	0	100	140	337
長崎	1,140	339	3,860	△ 20	98	87	△ 660	85	109	312
熊本	2,600	347	9,020	370	117	105	1,640	122	125	278
大分	1,870	364	6,810	130	107	112	1,170	121	144	253
宮崎	61	351	214	△ 6	91	117	13	106	129	272
鹿児島	257	274	704	32	114	83	△ 39	95	122	225
沖縄	5	133	7	3	250	153	5	350	222	60

(4)　六条大麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	19,300	336	64,800	1,200	107	111	9,700	118	113	298
(全国農業地域)										
北海道	13	408	53	x	x	x	x	x	121	337
都府県	19,300	335	64,700	1,300	107	109	9,700	118	112	298
東　北	1,590	329	5,230	140	110	98	340	107	102	322
北　陸	10,300	367	37,800	640	107	124	9,300	133	126	292
関東・東山	4,800	263	12,600	270	106	85	△ 1,500	89	86	306
東　海	x	287	x	x	x	104	x	x	112	257
近　畿	2,060	358	7,370	300	117	108	1,530	126	121	296
中　国	x	237	x	x	x	123	x	x	127	186
四　国	x	x	x	x	x	x	x	x	x	220
九　州	x	281	x	x	x	109	x	x	nc	…
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
(都道府県)										
北海道	13	408	53	x	x	x	x	x	121	337
青森	x	x	x	x	x	x	x	x	x	349
岩手	78	256	200	2	103	97	△ 1	100	105	244
宮城	1,410	339	4,780	130	110	97	330	107	104	327
秋田	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	128
山形	x	x	x	x	x	x	x	x	x	118
福島	20	130	26	△ 13	61	73	△ 33	44	50	261
茨城	1,700	188	3,200	170	111	65	△ 1,250	72	74	254
栃木	1,690	250	4,230	50	103	90	△ 350	92	80	311
群馬	**506**	**332**	**1,680**	**△ 14**	**97**	**96**	**△ 110**	**94**	**98**	**340**
埼玉	150	331	497	△ 10	94	69	△ 276	64	81	407
千葉	34	289	98	0	100	68	△ 47	68	89	324
東京	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
神奈川	−	−	−	x	x	x	x	x	−	329
新潟	128	286	366	△ 4	97	113	33	110	115	248
富山	3,500	382	13,400	190	106	124	3,200	131	131	292
石川	1,610	370	5,960	170	112	113	1,250	127	113	326
福井	5,060	358	18,100	280	106	128	4,800	136	127	282
山梨	41	239	98	0	100	111	10	111	115	207
長野	672	420	2,820	69	111	113	580	126	111	380
岐阜	262	232	608	△ 12	96	133	128	127	131	177
静岡	x	156	x	x	x	121	x	x	107	146
愛知	106	392	416	2	102	88	△ 46	90	96	408
三重	102	324	330	△ 30	77	93	△ 132	71	107	304
滋賀	1,580	363	5,740	100	107	107	710	114	117	309
京都	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	80
大阪	x	x	x	x	x	x	x	x	x	86
兵庫	473	344	1,630	197	171	117	819	201	134	257
奈良	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	124
和歌山	1	160	1	0	100	132	0	100	119	134
鳥取	x	x	x	x	x	x	x	x	x	135
島根	11	118	13	△ 1	92	128	2	118	90	131
岡山	2	191	4	1	200	109	2	200	134	143
広島	87	255	222	△ 17	84	126	11	105	131	195
山口	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
徳島	x	x	x	x	x	x	x	x	x	220
香川	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
愛媛	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
高知	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
福岡	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
佐賀	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
長崎	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
熊本	7	257	18	△ 7	50	106	△ 16	53	78	328
大分	9	278	25	1	113	97	2	109	82	341
宮崎	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
鹿児島	8	379	30	x	x	x	x	x	96	396
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−

(5)　はだか麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	5,870	291	17,100	△ 950	86	90	△5,000	77	106	275
(全国農業地域)										
北海道	84	213	179	△ 414	17	73	△1,280	12	71	302
都府県	5,780	292	16,900	△ 540	91	90	△3,700	82	106	276
東　北	−	−	−	x	x	x	x	x	nc	−
北　陸	4	50	2	2	200	33	△ 1	67	nc	…
関東・東山	509	177	903	x	x	62	x	x	57	310
東　海	x	258	x	x	x	96	x	x	98	264
近　畿	x	246	x	x	x	112	x	x	nc	…
中　国	607	295	1,790	△ 183	77	119	△ 160	92	141	209
四　国	2,350	285	6,690	△ 450	84	81	△3,190	68	94	303
九　州	1,960	339	6,640	20	101	98	△ 90	99	127	266
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
(都道府県)										
北海道	84	213	179	△ 414	17	73	△1,280	12	71	302
青森	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
岩手	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
宮城	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
秋田	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
山形	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	76
福島	−	−	−	x	x	x	x	x	−	134
茨城	355	180	639	30	109	63	△ 287	69	56	321
栃木	46	257	118	4	110	92	1	101	104	246
群馬	**1**	**298**	**3**	**△ 2**	**33**	**102**	**△ 6**	**33**	**127**	**234**
埼玉	105	131	138	△ 6	95	45	△ 182	43	43	307
千葉	1	264	3	△ 4	20	78	△ 14	18	98	270
東京	x	x	x	x	x	x	x	x	x	240
神奈川	x	x	x	x	x	x	x	x	x	186
新潟	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
富山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	162
石川	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
福井	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
山梨	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
長野	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
岐阜	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
静岡	x	x	x	x	x	x	x	x	x	209
愛知	10	200	20	△ 9	53	78	△ 29	41	82	245
三重	35	274	96	6	121	99	16	120	102	269
滋賀	106	366	388	16	118	116	104	137	99	368
京都	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
大阪	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
兵庫	203	183	371	39	124	111	100	137	108	169
奈良	x	x	x	x	x	x	x	x	x	150
和歌山	0	150	1	0	nc	203	1	nc	132	114
鳥取	4	187	7	△ 1	80	94	△ 3	70	94	200
島根	22	286	63	△ 20	52	88	△ 74	46	122	235
岡山	223	386	861	△ 2	99	130	190	128	145	267
広島	65	214	139	△ 18	78	122	△ 6	96	135	159
山口	293	244	715	△ 142	67	108	△ 268	73	141	173
徳島	19	168	32	△ 13	59	168	0	100	104	162
香川	852	271	2,310	△ 57	94	85	△ 590	80	87	310
愛媛	1,480	293	4,340	△ 380	80	79	△2,600	63	97	301
高知	3	190	6	0	100	109	1	120	108	176
福岡	490	336	1,650	8	102	82	△ 320	84	109	309
佐賀	282	401	1,130	33	113	91	30	103	123	325
長崎	217	224	486	△ 10	96	101	△ 16	97	138	162
熊本	103	271	279	△ 28	79	91	△ 110	72	133	203
大分	842	362	3,050	29	104	109	360	113	139	260
宮崎	14	179	25	0	100	139	7	139	170	105
鹿児島	10	153	15	△ 15	40	69	△ 41	27	88	174
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−

１３　品種別作付面積の推移（群馬県）

区分	品種名	平成25年産		平成26年産		平成27年産		平成28年産		平成29年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
小麦	つるぴかり	1,000	17	900	16	950	17	1,030	19	1,000	18
	きぬの波	310	5	340	6	470	8	470	9	500	9
	ダブル8号	420	7	370	7	360	6	360	6	350	6
	さとのそら	4,130	70	4,140	72	3,800	68	3,720	67	3,720	67
	計	5,860	100	5,750	100	5,580	100	5,580	100	5,570	100
二条大麦	あまぎ二条	220	15	210	14	―	―	―	―	―	―
	ミカモゴールデン	800	54	790	54	780	52	650	43	760	48
	サチホゴールデン	450	31	470	32	700	48	880	57	780	50
	アスカゴールデン	―	―	―	―	―	―	―	―	30	2
	計	1,470	100	1,470	100	1,480	100	1,530	100	1,570	100
六条大麦	シュンライ	429	85	426	86	448	86	443	83	488	93
	さやかぜ	37	7	35	7	36	7	43	8	39	7
	セツゲンモチ	38	7	36	7	39	7	46	9	-	-
	計	504	100	498	100	523	100	532	100	527	100
麦計		7,830	―	7,720	―	7,590	―	7,640	―	7,670	―

区分	品種名	平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
小麦	つるぴかり	1,030	18	970	17	1,000	18	900	17	950	18
	きぬの波	470	8	460	8	430	8	440	8	350	6
	ゆめかおり(ダブル8号)	330	6	310	6	310	6	310	6	270	5
	さとのそら	3,850	68	3,810	69	3,750	68	3,770	70	3,820	71
	計	5,680	100	5,570	100	5,500	100	5,430	100	5,380	100
二条大麦	ミカモゴールデン	640	41	410	26	―	―	―	―	―	―
	サチホゴールデン	890	57	770	48	530	33	580	35	620	38
	アスカゴールデン	40	2	410	26	1,100	68	1,090	65	1,020	62
	計	1,570	100	1,580	100	1,630	100	1,670	100	1,640	100
六条大麦	シュンライ	491	100	494	100	515	100	520	100	506	100
	さやかぜ	―	-	―	-	―	-	―	-	―	-
	セツゲンモチ	―	-	―	-	―	-	―	-	―	-
	計	491	100	494	100	515	100	520	100	506	100
麦計		7,760	-	7,650	-	7,650	-	7,630	-	7,530	-

注）1.　数字は推計値であり、ラウンドにより合計が一致しない場合がある。
　　2.　農林水産統計（麦類の作付面積）と全農ぐんま及び集連のは種前契約より推計。
　　3.　令和2年産より「ダブル8号」から「ゆめかおり」に品種転換した。

１４　検査数量上位品種の推移（全国）

（１）普通小麦

順位	２ 年 産			３ 年 産			４ 年 産		
	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率
		t	%		t	%		t	%
1	きたほなみ	504,143	52.2	きたほなみ	575,799	52.0	きたほなみ	490,893	47.6
2	ゆめちから	83,881	8.7	ゆめちから	101,965	9.2	ゆめちから	102,557	9.9
3	春よ恋	49,581	5.1	シロガネコムギ	73,927	6.7	シロガネコムギ	69,705	6.8
4	シロガネコムギ	49,053	5.1	チクゴイズミ	53,066	4.8	チクゴイズミ	52,638	5.1
5	さとのそら	48,656	5.0	さとのそら	50,780	4.6	さとのそら	49,856	4.8
6	チクゴイズミ	42,345	4.4	春よ恋	49,894	4.5	春よ恋	45,573	4.4
7	きぬあかり	25,615	2.7	きぬあかり	24,521	2.2	きぬあかり	23,654	2.3
8	あやひかり	20,938	2.2	あやひかり	21,224	1.9	あやひかり	21,191	2.1
9	ミナミノカオリ	14,566	1.5	ミナミノカオリ	18,951	1.7	ミナミノカオリ	18,646	1.8
10	農林61号	12,540	1.3	農林61号	9,191	0.8	はるきらり	9,754	0.9
	上位10品種計	851,318	88.2	上位10品種計	979,319	88.5	上位10品種計	884,467	85.8
	全品種計	965,450	100.0	全品種計	1,106,972	100.0	全品種計	1,031,111	100.0

（２）二条大麦

順位	２ 年 産			３ 年 産			４ 年 産		
	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率
		t	%		t	%		t	%
1	はるか二条	30,420	31.7	はるか二条	29,901	29.6	はるか二条	33,884	32.9
2	サチホゴールデン	21,058	22.0	サチホゴールデン	24,014	23.8	サチホゴールデン	25,589	24.8
3	はるしずく	10,351	10.8	はるしずく	6,772	6.7	はるしずく	8,604	8.3
4	ニシノホシ	4,582	4.8	ニシノホシ	5,125	5.1	ニシノホシ	6,258	6.1
5	スカイゴールデン	4,034	4.2	スカイゴールデン	4,325	4.3	ニューサチホゴールデン	4,249	4.1
	上位5品種計	70,445	73.5	上位5品種計	70,137	69.5	上位5品種計	78,584	76.2
	全品種計	95,849	100.0	全品種計	100,942	100.0	全品種計	103,100	100.0

（３）六条大麦

順位	２ 年 産			３ 年 産			４ 年 産		
	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率
		t	%		t	%		t	%
1	ファイバースノウ	31,744	58.0	ファイバースノウ	31,881	59.7	ファイバースノウ	40,950	66.8
2	シュンライ	10,510	19.2	シュンライ	8,926	16.7	シュンライ	8,701	14.2
3	カシマゴール	3,226	5.9	カシマゴール	3,892	7.3	ホワイトファイバー	3,448	5.6
4	はねうまもち	3,072	5.6	はねうまもち	1,832	3.4	はねうまもち	2,401	3.9
5	ホワイトファイバー	2,074	3.8	ホワイトファイバー	1,772	3.3	カシマゴール	2,295	3.7
	上位5品種計	50,626	92.5	上位5品種計	48,303	90.5	上位5品種計	57,795	94.2
	全品種計	54,759	100.0	全品種計	53,377	100.0	全品種計	61,346	100.0

注）農林水産省資料による。令和4年10月末現在の数値。

１５　令和４年産麦類検査等級比率

（１）　全国・群馬県の検査等級比率

区分 / 種類		全国 検査数量（t）	全国 検査等級数量（t）（%） 1等	全国 2等	全国 規格外（等外上）	群馬 検査数量（t）	群馬 検査等級数量（t）（%） 1等	群馬 2等	群馬 規格外（等外上）
小麦		1,031,111	866,724（84.1）	76,418（7.4）	87,969（8.5）	20,984	19,580（93.3）	820（3.9）	584（2.8）
普通小粒大麦		61,346	47,313（77.1）	7,735（12.6）	6,299（10.3）	1,334	928（69.6）	340（25.5）	66（4.9）
普通大粒大麦		103,100	80,979（78.5）	8,481（8.2）	13,640（13.2）	615	116（18.9）	14（2.3）	485（78.9）
普通はだか麦		18,037	10,325（57.2）	6,282（34.8）	1,430（7.9）		－	－	－
ビール大麦		45,509	3（0.0）	43,625（95.9）	1,882（4.1）	5,553	－	5,283（95.1）	270（4.9）
種子用	小麦	5,499	5,499（合格）	－	－	285	285（合格）	－	－
種子用	大麦	2,323	2,323（合格）	－	－	53	53（合格）	－	－
種子用	はだか麦	133	133（合格）	－	－		－	－	－
種子用	小計	7,955	7,955（合格）	－	－	338	338（合格）	－	－
合計		1,267,058	1,013,299	142,541	111,220	28,824	20,962	6,457	1,405

注）１．農林水産省資料による。検査数量等は、令和４年10月末現在である。
　　２．ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

（２）　群馬県内の主要品種の検査等級比率

区分 / 品種		令和３年産 検査数量（t）	令和３年産 検査等級数量（t）（%） 1等	令和３年産 2等	令和３年産 規格外（等外上）	令和４年産 検査数量（t）	令和４年産 検査等級数量（t）（%） 1等	令和４年産 2等	令和４年産 規格外（等外上）
小麦	さとのそら	14,606	12,722（87.1）	1,584（10.8）	299（2.0）	15,180	14,357（95.6）	474（3.1）	349（1.3）
小麦	つるぴかり	3,582	2,654（74.1）	839（23.4）	88（2.5）	3,888	3,608（92.8）	132（3.4）	148（3.8）
小麦	きぬの波	1,851	725（39.2）	1,115（60.2）	11（0.6）	884	732（82.8）	140（15.8）	12（1.4）
小麦	ゆめかおり	827	765（92.6）	42（5.1）	19（2.4）	944	865（91.6）	57（6.0）	22（2.4）
普通小粒大麦	シュンライ	1,849	937（50.7）	810（43.8）	101（5.5）	1,297	896（69.1）	340（26.2）	61（4.7）
普通小粒大麦	さやかぜ	－	－（－）	－（－）	－（－）		（）	（）	（）
普通大粒大麦	ミカモゴールデン	－	－（－）	－（－）	－（－）		（）	（）	（）
普通大粒大麦	サチホゴールデン	648	103（15.8）	19（2.9）	526（81.2）	200	56（28.0）	14（7.0）	130（65.0）

注）１．農林水産省資料による。検査数量等は、令和４年10月末現在である。
　　２．ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

１６　累年の県産麦類検査等級

年産 構成比	種別	検査数 t	等級内訳（上段:t、下段:%） １等	２等	規格外	参考 全国 検査数量	１等
29	小麦	24,817 －	14,186 57%	9,846 40%	785 3%	963,805 －	817,183 85%
	小粒大麦	1,864 －	773 41%	855 46%	237 13%	51,062 －	35,591 70%
	大粒大麦	1,352 －	323 24%	6 0%	1,023 76%	66,717 －	50,537 76%
	ビール大麦	5,035 －	0 0%	4,992 99%	43 1%	52,598 －	142 0%
	計	33,069 －	15,282 46%	15,699 47%	2,088 6%	1,134,183 －	903,453 80%
30	小麦	22,800 －	18,530 81%	3,853 17%	417 2%	854,681 －	650,048 76%
	小粒大麦	1,646 －	898 55%	682 41%	66 4%	38,063 －	26,504 70%
	大粒大麦	424 －	81 19%	35 8%	308 73%	73,007 －	57,171 78%
	ビール大麦	4,954 －	－ －	4,696 95%	258 5%	46,745 －	107 0%
	計	29,823 －	19,509 65%	9,266 31%	1,049 4%	1,012,496 －	733,830 72%
元	小麦	23,554 －	14,040 60%	8,758 37%	756 3%	1,071,475 －	955,813 90%
	小粒大麦	1,811 －	956 53%	663 37%	191 11%	53,927 －	39,127 73%
	大粒大麦	956 －	32 3%	33 3%	891 93%	93,927 －	77,054 82%
	ビール大麦	5,089 －	－ －	4,825 95%	264 5%	50,802 －	193 0%
	計	31,410 －	15,029 48%	14,279 45%	2,103 7%	1,270,131 －	1,072,187 84%
2	小麦	21,526 －	20,022 93%	1,008 5%	496 2%	965,452 －	854,680 89%
	小粒大麦	1,723 －	852 49%	769 45%	102 6%	54,759 －	40,779 74%
	大粒大麦	877 －	149 17%	4 0%	725 83%	95,849 －	79,654 83%
	ビール大麦	5,035 －	－ －	4,809 96%	226 4%	46,108 －	104 0%
	計	29,162 －	21,024 72%	6,590 23%	1,548 5%	1,162,167 －	975,216 84%
3	小麦	20,997 －	16,869 80%	3,607 17%	521 2%	1,106,972 －	934,975 84%
	小粒大麦	1,854 －	937 51%	810 44%	106 6%	53,377 －	33,709 63%
	大粒大麦	1,533 －	163 11%	19 1%	1,351 88%	100,942 －	80,929 80%
	ビール大麦	5,800 －	－ －	5,600 97%	200 3%	51,462 －	614 1%
	計	30,184 －	17,969 60%	10,036 33%	2,179 7%	1,312,753 －	1,050,227 80%
4	小麦	20,984 －	19,580 93%	820 4%	584 3%	103,111 －	86,716 84%
	小粒大麦	1,334 －	928 70%	340 25%	66 5%	61,346 －	47,236 77%
	大粒大麦	615 －	116 19%	14 2%	485 79%	103,100 －	79,387 77%
	ビール大麦	5,553 －	－ －	5,283 95%	270 5%	45,509 －	35,497 78%
	計	28,486 －	20,624 72%	6,457 23%	1,405 5%	313,066 －	248,836 79%

注)農林水産省資料による。
　令和４年産は令和４年10月末現在である。

１７　小麦の生産費（１０ａ当たり）

（１）群馬県（関東・東山平均値）

項目＼年産		２７	２８	２９	３０	元	２
種苗費		3,075	3,162	3,212	3,138	3,229	3,361
肥料費		7,308	6,326	6,838	6,618	7,038	7,161
農業薬剤費		1,836	2,050	1,911	2,375	2,242	2,367
光熱動力費		2,366	1,882	2,012	2,069	2,178	2,118
その他の諸材料費		3	17	7	3	2	11
土地改良及び水利費		617	550	472	940	819	672
賃借料及び料金		5,921	6,458	6,676	6,028	6,491	5,320
物件税及び公課諸負担		599	595	617	725	664	529
建物費		971	788	885	934	682	758
自動車及び農機具費		10,368	9,340	10,830	10,221	9,046	10,622
生産管理費		109	63	62	60	66	93
労働費		7,795	7,688	7,866	7,492	7,991	7,593
	家族労働費	7,005	6,975	7,308	6,869	7,781	6,874
	雇用労働費	537	432	558	623	210	719
費用合計		40,968	38,919	41,388	40,603	40,448	40,605
10アール当たり	物財費	33,173	31,231	33,552	33,111	32,667	33,731
	労働費	7,795	7,688	7,866	7,492	7,991	7,593
	費用合計	40,968	38,919	41,388	40,603	40,448	40,605
	副産物価額	210	145	120	134	160	145
	生産費	40,758	38,774	41,268	40,469	40,288	40,460
	支払利子	60	37	60	36	33	83
	支払地代	6,081	5,870	5,976	6,206	5,873	5,109
	支払利子・地代算入生産費	46,899	44,681	47,304	46,711	46,194	45,652
	自己資本利子	1,884	1,641	1,940	1,907	1,634	1,915
	自作地地代	1,014	888	1,103	1,201	973	970
	資本利子・地代全額算入生産費	49,797	47,210	50,347	49,819	48,801	48,537
10ａ当たり収穫量(kg)		397	364	393	370	370	355
10ａ当たり投下労働時間(時間)		5.18	5.01	5.08	4.62	4.76	4.55
１戸当たりの作付面積(ａ)		550	561	587	590	669	643

注）　農林水産省「麦類生産費調査」による。令和３年度の全国数値は速報値。
関東･東山平均の数値。
物材費：費用合計－労働費

（２）全国

項目＼年産		２７	２８	２９	３０	元	2	3
種苗費		2,755	2,894	3,084	3,237	3,210	3,474	3,650
肥料費		10,207	10,249	9,403	8,985	9,858	10,061	9,532
農業薬剤費		4,640	5,085	4,818	5,046	5,354	5,549	5,422
光熱動力費		2,167	1,794	1,908	2,008	2,219	1,988	2,204
その他の諸材料費		501	455	483	575	493	507	567
土地改良及び水利費		829	829	836	834	1,037	983	1,133
賃借料及び料金		16,309	14,191	15,657	13,868	16,078	15,646	16,449
物件税及び公課諸負担		1,385	1,356	1,363	1,306	1,447	1,351	1,322
建物費		933	991	1,138	956	1,116	1,087	1,077
自動車及び農機具費		10,050	10,645	9,926	10,125	10,901	11,850	12,105
生産管理費		287	313	300	302	352	315	318
労働費		5,784	5,828	6,015	5,866	6,332	6,281	5,959
	家族労働費	5,520	5,552	5,738	5,538	5,984	5,784	5,543
	雇用労働費	264	276	277	328	348	497	521
費用合計		55,847	54,630	54,931	53,108	58,397	59,092	59,738
10アール当たり	物財費	50,063	48,802	48,916	47,242	52,065	53,308	54,195
	労働費	5,784	5,828	6,015	5,866	6,332	6,281	5,959
	費用合計	55,847	54,630	54,931	53,108	58,397	59,092	59,738
	副産物価額	2,487	2,826	2,271	2,570	1,946	2,491	2,683
	生産費	53,360	51,804	52,660	50,538	56,451	56,601	57,055
	支払利子	267	229	239	191	212	212	222
	支払地代	2,906	2,877	2,697	2,588	2,455	2,419	2,584
	支払利子・地代算入生産費	56,533	54,910	55,596	53,317	59,118	59,232	59,861
	自己資本利子	1,642	1,800	1,688	1,591	1,668	1,785	1,846
	自作地地代	5,589	5,927	5,979	6,133	6,640	6,331	6,260
	資本利子・地代全額算入生産費	63,764	62,637	63,263	61,041	67,426	67,348	67,967
10ａ当たり収穫量(kg)		545	408	483	383	542	495	562
10ａ当たり投下労働時間(時間)		3.66	3.57	3.62	3.44	3.55	3.50	3.43
１戸当たりの作付面積(ａ)		737.4	758.8	748.9	783.1	798.9	813.3	865.4

Ⅲ　大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

１　基本方針

（１）水田でのブロックローテーションや団地化の推進
（２）基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
（３）契約栽培による安定的な取引の拡大
（４）地産地消に対応した大豆生産の推進
（５）種子生産者の確保と生産体制の強化

２　大豆の生産目標

項　目 年　産	作付面積 （ｈａ）	収穫量 （ｔ）	普通大豆 検査数量 （ｔ）	検査等級 １・２等比率 （%）
令和３年産実績	２７８	４１７	２０９	４７．８
令和４年産見込	２８７	－	－	－
令和５年産目標	３００	４５０	２２５	５０以上

注)令和４年産の収穫量及び農産物検査結果は令和５年２月末現在未公表（農林水産省）。

３　重点推進目標

(1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
ア　主食用米を作付けしない水田や畑を対象に、国の補助事業を活用して計画的な作付を図るとともに、連作障害や湿害等を回避し高品質な大豆の生産を図るため、ブロックローテーションを推進する。
イ　生産組織等への集積と水系等を単位とした団地化を図る。
ウ　「麦－大豆作付体系」を推進し、農地の高度利用を図る。

(2) 基本技術の励行による高品質で安全な大豆生産の推進
ア　地域適応品種の栽培を作付する。
イ　栽培履歴記帳の定着化を推進する。
ウ　明きょ設置やサブソイラ利用による湿害回避対策を講じる。
エ　適期は種や適正施肥による収量向上を図る。
オ　適正な病害虫防除による収量・品質向上に努める。

(3) 契約栽培による安定的な取引の拡大
実需者との契約による栽培を推進し、大豆生産農家の経営安定を図る。

(4) 地産地消に対応した大豆生産の推進
県産大豆を使用した加工品等の高付加価値化や地産地消への取り組みを推進する。

(5) 種子生産者の確保と生産体制の強化
安定した大豆生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。新規種子生産者を確保するとともに、生産体制の充実・強化を図る。

４　関連施策

・農業経営力向上事業（県単）（旧　はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業）
・経営所得安定対策（国庫）
・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
・麦・大豆生産技術向上事業（国庫）

5　群馬県大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年収量 kg	作況指数※	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑			t	田	畑
S25	7,250			110					8,000		
30	5,720			151					8,840		
35	4,030			138					5,560		
40	2,150			136					2,920		
45	1,250			127				95	1,590		
50	920	74	846	132	154	130	132	100	1,210	114	1,100
55	1,160	596	564	116	129	103	128	91	1,350	770	581
56	1,220	664	558	140	155	122	128	109	1,710	1,030	681
57	1,220	648	571	123	134	110	128	96	1,500	868	628
58	1,260	712	550	148	159	133	128	116	1,860	1,130	732
59	1,230	657	577	146	177	110	130	112	1,800	1,160	636
60	1,200	622	580	154	177	130	135	114	1,850	1,100	754
61	1,150	638	511	173	185	159	139	124	1,990	1,180	812
62	1,380	862	520	188	203	162	149	126	2,590	1,750	842
63	1,410	892	515	143	159	117	162	88	2,020	1,420	603
H1	1,370	865	502	184	199	159	168	110	2,520	1,720	797
2	1,300	790	510	150	159	135	168	89	1,950	1,260	690
3	1,150	679	472	97	95	101	168	58	1,120	646	476
4	930	505	425	162	167	156	168	96	1,510	843	664
5	810	412	398	135	142	128	168	80	1,090	586	509
6	600	221	379	139	157	129	168	83	834	346	488
7	619	247	372	162	174	153	155	105	1,000	429	571
8	669	298	371	164	177	154	150	109	1,100	526	573
9	684	316	368	169	177	163	150	113	1,160	558	598
10	653	338	315	148	160	135	152	97	966	540	426
11	603	340	263	152	157	146	155	98	917	533	384
12	568	335	233	163	172	150	155	105	926	576	350
13	544	326	218	155	162	145	158	98	843	527	316
14	523	313	210	158	170	140	159	99	826	532	294
15	517	306	211	156	168	139	158	99	807	514	293
16	520	308	212	175	195	146	158	111	910	600	310
17	510	303	207	163	177	143	157	104	832	536	296
18	473	275	198	181	203	150	159	114	855	558	297
19	439	254	185	176	－	－	163	108	773	－	－
20	407	224	183	160	－	－	167	96	650	－	－
21	404	218	186	174	－	－	166	105	703	－	－
22	378	202	176	124	－	－	170	73	469	－	－
23	353	183	170	122	－	－	170	72	431	－	－
24	357	193	164	173	－	－	159	109	618	－	－
25	346	184	162	148	－	－	161	92	512	－	－
26	322	164	158	138	－	－	156	88	444	－	－
27	323	168	155	109	－	－	149	73	352	－	－
28	301	154	147	125	－	－	141	89	376	－	－
29	316	171	145	112	－	－	131	85	354	－	－
30	303	157	146	127	－	－	129	98	385	－	－
R1	291	156	135	133	－	－	130	102	387	－	－
R2	275	141	134	144	－	－	127	111	388	－	－
R3	278	141	137	150	－	－	127	118	417	－	－
R4	287	140	147	－	－	－	－	－	－	－	－

注）　1. 農林水産統計「作物統計」による。作況指数は、H16からは10a当たり平均収量対比。
2. 平成17年からの平年収量は、10a当たり平均収量（原則として、直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）。
3. 令和4年産の作付面積以外の値は、令和5年2月末現在公表されていない。
4. 作況指数は平年収量対比

６　全国大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年収量kg	作況指数※	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑			t	田	畑
S25	413,100			108					446,900		
30	385,200			132					507,100		
35	306,900			136					417,600		
40	184,100			125				94	229,700		
45	95,500			132				100	126,000		
50	86,900	15,600	71,200	145	138	146	138	105	125,600	21,600	104,000
55	142,200	85,500	56,600	122	121	125	138	88	173,900	103,300	70,600
56	148,800	98,800	50,000	142	145	137	136	104	211,700	143,200	68,500
57	147,100	99,900	47,300	154	155	151	136	113	226,300	154,900	71,200
58	143,400	95,400	48,000	151	160	135	139	109	217,200	152,500	64,800
59	134,300	87,000	47,400	177	182	168	144	123	238,000	158,200	79,800
60	133,500	82,600	50,800	171	172	169	153	112	228,300	142,200	86,100
61	138,400	87,500	50,900	177	184	166	160	111	245,200	160,800	84,400
62	162,700	115,100	47,600	177	182	164	165	107	287,200	209,100	77,900
63	162,400	117,400	45,000	171	178	150	172	99	276,900	209,200	67,600
H1	151,600	109,900	41,800	179	182	172	176	102	217,700	200,100	71,700
2	145,900	105,000	40,900	151	144	168	178	85	220,400	151,600	68,700
3	140,800	97,600	43,200	140	135	152	182	77	197,300	131,700	65,500
4	109,900	73,400	36,500	171	177	160	178	96	188,100	129,900	58,300
5	87,400	55,100	32,300	115	121	105	175	66	100,600	66,600	34,000
6	60,900	31,400	29,500	162	160	164	171	95	98,800	50,200	48,500
7	68,600	39,400	29,200	173	175	171	173	100	119,000	69,000	49,900
8	61,800	53,000	28,800	180	188	167	173	104	147,600	99,400	48,200
9	83,200	53,800	29,400	174	171	180	175	99	144,600	91,900	52,800
10	109,100	80,100	29,000	145	141	156	178	81	158,000	112,900	45,200
11	108,200	81,300	26,900	173	166	194	178	97	187,200	135,100	52,100
12	122,500	97,200	25,300	192	189	201	177	108	235,000	184,100	50,800
13	143,900	119,400	24,600	188	190	177	180	103	270,600	227,300	43,600
14	149,900	125,900	24,000	180	181	177	178	101	270,200	227,600	42,500
15	151,900	129,000	22,900	152	153	149	181	84	231,600	197,500	34,200
16	136,800	114,800	22,000	121	112	169	178	68	165,400	128,200	37,200
17	134,000	110,500	23,500	168	162	195	170	99	225,000	180,700	45,800
18	142,100	117,700	24,500	161	154	196	177	91	229,200	181,300	47,900
19	138,300	117,600	20,700	164	－	－	169	97	226,700	－	－
20	147,100	126,300	20,800	178	－	－	163	109	262,100	－	－
21	145,400	124,800	20,600	156	－	－	164	95	227,000	－	－
22	137,700	119,000	18,700	162	－	－	162	100	222,800	－	－
23	136,700	117,200	19,500	161	－	－	166	97	219,900	－	－
24	131,100	111,500	19,600	175	－	－	171	102	229,100	－	－
25	128,800	108,900	19,900	154	－	－	171	91	199,900	－	－
26	131,600	110,800	20,800	176	－	－	169	104	231,800	－	－
27	142,000	117,700	24,300	171	－	－	172	99	242,400	－	－
28	150,000	120,300	29,800	157	－	－	173	91	235,500	－	－
29	150,200	120,800	29,400	166	－	－	166	100	248,600	－	－
30	146,600	118,400	28,300	145	－	－	167	87	212,900	－	－
R1	143,500	116,000	27,600	148	－	－	166	89	212,300	－	－
R2	141,700	114,200	27,500	154	－	－	161	96	218,900	－	－
R3	146,200	115,600	30,500	169	－	－	161	105	246,500	－	－
R4	151,400	120,500	30,900	－	－	－	－	－	－	－	－

7　市町村別作付面積、10当たり収量及び収穫量の推移（群馬）

単位 ： ha，kg， t

項目 / 市町村	３０年産			令和元年産			令和２年産			令和３年産		
	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量
前橋市	85	113	96	92	159	146	81	207	168	75	157	118
伊勢崎市	3	167	5	2	150	3	2	197	4	2	198	4
玉村町	22	173	38	23	165	38	22	159	35	22	205	45
渋川市	14	136	19	9	67	6	13	54	7	13	92	12
榛東村	2	100	2	1	121	1	1	134	1	1	143	1
吉岡町	3	100	3	1	119	1	1	132	1	1	142	1
中部計	129	126	163	128	152	195	120	180	216	114	159	181
高崎市	22	122	27	18	156	28	17	94	16	30	207	62
安中市	3	67	2	2	50	1	2	50	1	2	54	1
藤岡市	12	67	8	12	67	8	12	75	9	12	83	10
神流町	1	91	1	1	103	1	1	111	1	2	118	2
上野村	2	50	1	2	51	1	2	51	1	2	51	1
富岡市	9	67	6	7	43	3	8	50	4	8	75	6
下仁田町	2	97	2	2	109	2	2	117	2	2	125	3
南牧村	1	91	1	1	102	1	1	111	1	1	118	1
甘楽町	2	50	1	4	51	2	3	68	2	3	68	2
西部計	54	91	49	49	96	47	48	77	37	62	142	88
中之条町	13	202	26	10	170	17	13	114	15	13	138	18
長野原町	2	163	3	2	150	3	2	100	2	2	124	2
嬬恋村	9	145	13	9	122	11	9	111	10	8	138	11
草津町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高山村	2	164	3	2	150	3	2	135	3	2	150	3
東吾妻町	9	145	13	9	111	10	9	108	10	8	138	11
吾妻計	35	166	58	32	138	44	35	114	40	33	136	45
沼田市	12	148	18	10	130	13	9	110	10	9	156	14
片品村	16	145	23	16	125	20	15	133	20	14	171	24
川場村	2	138	3	2	100	2	2	90	2	2	113	2
昭和村	2	138	3	2	100	2	2	90	2	2	150	3
みなかみ町	14	158	22	16	144	23	13	103	13	13	131	17
利根沼田計	46	150	69	46	130	60	41	115	47	40	150	60
太田市	7	161	11	8	182	15	8	241	19	9	233	21
桐生市	2	136	3	1	123	1	1	154	2	1	143	1
みどり市	3	132	4	3	120	3	2	155	3	1	143	1
館林市	8	125	10	7	113	8	6	149	9	6	139	8
板倉町	10	76	8	9	67	6	8	97	8	6	77	5
明和町	4	115	5	3	104	3	3	133	4	3	123	4
千代田町	1	129	1	1	117	1	1	146	1	1	136	1
大泉町	2	113	2	2	102	2	1	131	1	1	121	1
邑楽町	2	101	2	2	92	2	1	113	1	1	104	1
東部計	39	118	46	36	114	41	31	155	48	29	148	43
県計	303	127	385	291	133	387	275	141	388	278	150	417

注）１.農林水産統計 「作物調査市町村別データ」による。
　　２.計と内訳はラウンドのため一致しない場合がある。
　　４.中部計・西部計等は計算値。

８　団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和４年産大豆の概要

（１）団地化に取り組んだ大豆生産集団（および法人）の概要

農業振興課及び地区指導センター名	市町村	生　産　組　織　名	推定栽培面積　（ｈａ）					
			H30	R元	R2	R3	R4	前年差
中部	前橋市	農事組合法人マスダ	－	－	－	－	－	－
		農事組合法人笂井和	10.0	9.1	6.7	8.0	8.1	0.1
		農事組合法人荒口	1.0	1.0	1.0	1.1	1.2	0.1
		農事組合法人女屋	2.5	2.9	3.8	3.7	3.5	-0.2
		旧前橋市計	13.5	13.0	11.5	12.8	12.8	0.0
		農事組合法人月田	13.0	7.3	3.6	7.4	5.7	-1.7
		農事組合法人深津	19.6	18.8	13.9	16.2	23.1	6.9
		農事組合法人かすかわ中央	7.8	10.0	7.7	7.2	8.8	1.6
		農事組合法人田面機械化組合	7.5	6.6	5.7	4.4	5.5	1.1
		農事組合法人中	3.4	4.4	4.4	2.1	3.4	1.3
		株式会社上州農産	－	－	16.7	20.3	16.9	-3.4
		農業生産法人ミツミファーム	－	－	2.0	4.2	2.9	-1.3
		旧粕川村計	51.3	47.1	52.0	57.6	66.3	8.7
	計		64.8	60.1	63.5	70.4	79.1	8.7
渋川	渋川市	行幸田大豆栽培組合	4.0	4.0	4.0	4.0	2.4	-1.6
伊勢崎	玉村町	下之宮大豆転作組合	18.0	18.4	18.0	18.0	18.0	0.0
西部	高崎市	上大類大豆生産組合	0.6	－	－	－	－	－
		栗崎営農組合	1.9	－	－	－	－	－
		高崎市大豆生産組合	－	9.5	10.3	10.8	11.7	0.9
	計		2.5	9.5	10.3	10.8	11.7	0.9
吾妻	中之条町	有限会社「たけやま」	4.9	4.4	3.5	4.2	5.6	1.4
	嬬恋村	竹の子グループ	0.9	0.4	－	0.0	0.0	0.0
	計		5.8	4.8	3.5	4.2	5.6	1.4
利根沼田	みなかみ町	新治大豆生産組合	－	－	－	－	－	－
	計		－	－	－	－	－	－
東部	太田市	農事組合法人寺井	5.8	6.3	6.4	7.6	7.7	0.1
県　　計			100.9	103.1	105.7	115.0	124.5	9.5

注)令和４年12月現在

（２）令和４年産大豆の概要とりまとめ

ア　播種期

播種期が好天だったため播種作業は順調に行われたが、一部で播き直された。

イ　初期生育

湿害が少なく順調に生育した。

ウ　開花期

開花期は平年並みであった。高温に遭遇したが、落莢は見られなかった。

エ　登熟期

草丈が平年より高かったため一部で倒伏した。成熟期が平年よりやや遅れたことに加え、青立ちの発生や茎水分の低下も遅れたため、平年より遅れて収穫されたほ場が多かった。収量は平年よりやや多いが、雑草や湿害が多いほ場で減収した。品質は、収穫作業の遅れによるしわ粒や裂皮、高茎水分や雑草の影響による汚粒が見られるが、台風の影響が少なかったため２等以上の上位等級比率が高く平年より優れる。病害虫はハスモンヨトウ、雑草は帰化アサガオ類やクサネムの発生が目立った。

９　品種別作付面積の推移

区分	品種名	平成30年産		令和元年産		令和２年産		令和３年産		令和４年産	
		面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%
普通大豆	タチナガハ	216	71%	61	21%	－	－	－	－	－	－
	里のほほえみ	－	－	166	57%	184	67%	215	77%	194	68%
	ハタユタカ	44	14%	25	9%	48	17%	25	9%	49	17%
	オオツル	13	4%	10	3%	13	5%	11	4%	15	5%
その他		30	10%	30	10%	30	11%	28	10%	29	10%
計		303	100%	291	100%	275	100%	278	100%	287	100%

注）作付面積は農林水産統計「作物統計」による。品種別作付比率は種子配布実績数量から推計。

１０　令和３、４年産大豆検査数量

（１）全国の検査等級比率（令和３年産）

区分 / 種類	全国						
	検査等級数量［ｔ、(%)］						
	検査数量	普通大豆				特定加工用検査数量	種子検査数量(合格)
		１等	２等	３等	規格外		
大粒大豆	130,894	34,169（　26.1）	51,782（　39.6）	44,355（　33.9）	588（　0.4）	20,371	1,246
中粒大豆	32,576	6,799（　20.9）	11,781（　36.2）	13,619（　41.8）	377（　1.2）	7,621	327
小粒大豆	27,726	9,999（　36.1）	10,622（　38.3）	6,808（　24.6）	297（　1.1）	4,046	19
極小粒大豆	1,335	453（　33.9）	360（　27.0）	512（　38.4）	10（　0.7）	186	7
合　計	192,531	51,420	74,545	65,294	1,272	32,224	1,599

注）検査数量等は、令和2年産確定値（農林水産省公表）である。（令和3年産検査結果は令和4年2月末現在公表されていない。）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

（２）群馬県の検査等級比率（令和４年産）

区分 / 種類	群馬県						
	検査等級数量［ｔ、(%)］						
	検査数量	普通大豆				特定加工用検査数量	種子検査数量(合格)
		１等	２等	３等	規格外		
大粒大豆	211	65（　30.8）	94（　44.5）	52（　24.6）		11	
中粒大豆	7	（　0.0）	2（　28.6）	5（　71.4）		7	
小粒大豆			（　）			1	
極小粒大豆							
合　計	218	65	96	57		19	

注）検査数量等は、令和５年１月末現在である。（蚕糸園芸課調べ）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量には産地品種銘柄以外の数量も含まれるため産地品種銘柄計と一致しない場合がある。

（３）群馬県の銘柄別検査等級比率（令和４年産）

区分 / 種類	普通大豆					特定加工用	
	検査数量(t)	等級比率(%)				検査数量(t)	合格(%)
		１等	２等	３等	規格外		
オオツル	1		100.0%				
タチナガハ	4		100.0%				
ハタユタカ	36		9.3%	90.7%			
里のほほえみ	165	37.7%	49.0%	13.3%		4	4
合　計	206	30.2%	43.3%	26.5%	0.0%	4	100

注）検査数量等は、令和５年１月末現在である。（蚕糸園芸課調べ）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量合計に対する等級比率は推計値。

１１　種類別検査実績（群馬）

（単位:kg）

		１等	２等	３等	規格外	特定加工用	計
25年産	大粒大豆	－	27,180	103,770	150	21,450	152,550
	中粒大豆	－	5,310	30,540	－	6,270	42,120
	小粒大豆	－	150	2,940	－	2,820	5,910
	極小粒大豆	－	－	390	－	－	390
	計	0	32,640	137,640	150	30,540	200,970
26年産	大粒大豆	－	24,660	107,970	120	10,200	142,950
	中粒大豆	－	5,760	12,780	－	2,880	21,420
	小粒大豆	150	1,800	540	－	1,110	3,600
	極小粒大豆	－	240	60	－	－	300
	計	150	32,460	121,350	120	14,190	168,270
27年産	大粒大豆	540	27,150	74,250	－	33,300	135,240
	中粒大豆	30	480	7,740	－	5,430	13,680
	小粒大豆	－	2,040	1,350	－	900	4,290
	極小粒大豆	－	－	－	－	60	60
	計	570	29,670	83,340	0	39,690	153,270
28年産	大粒大豆	5,670	37,380	52,260	－	17,130	112,440
	中粒大豆	360	3,180	13,650	－	7,050	24,240
	小粒大豆	－	5,100	2,130	－	2,820	10,050
	極小粒大豆	－	1,080	750	－	90	1,920
	計	6,030	46,740	68,790	0	27,090	148,650
29年産	大粒大豆	480	6,600	21,750	9,300	106,770	144,900
	中粒大豆	－	360	1,290	810	14,100	16,560
	小粒大豆	－	－	5,370	30	2,070	7,470
	極小粒大豆	－	－	540	－	－	540
	計	480	6,960	28,950	10,140	122,940	169,470
30年産	大粒大豆	5,640	44,520	30,600	－	20,580	101,340
	中粒大豆	570	11,490	8,190	240	17,730	38,220
	小粒大豆	30	－	7,950	150	4,890	13,020
	極小粒大豆	－	－	780	－	30	810
	計	6,240	56,010	47,520	390	43,230	153,390
元年産	大粒大豆	14,550	31,470	92,130	1,020	37,590	176,760
	中粒大豆	240	30	1,620	270	11,580	13,740
	小粒大豆	－	－	30	－	7,230	7,260
	極小粒大豆	－	－	720	－	300	1,020
	計	14,790	31,500	94,500	1,290	56,700	198,780
2年産	大粒大豆	53,040	42,450	40,410	390	10,050	146,340
	中粒大豆	870	4,020	4,980	450	15,480	25,800
	小粒大豆	10,470	30	60	－	1,710	12,270
	極小粒大豆	7,680	510	－	－	－	8,190
	計	72,060	47,010	45,450	840	27,240	192,600
3年産	大粒大豆	5,250	87,630	94,560	－	14,670	202,110
	中粒大豆	1,110	5,640	8,190	－	5,220	20,160
	小粒大豆	30	120	3,330	－	1,200	4,680
	極小粒大豆	－	－	1,350	－	－	1,350
	計	6,390	93,390	107,430	0	21,090	228,300
4年産	大粒大豆	64,890	93,630	52,260		12,960	223,740
	中粒大豆	300	1,650	5,160		6,900	14,010
	小粒大豆	30	210			1,080	1,320
	極小粒大豆						0
	計	65,220	95,490	57,420	0	20,940	239,070

注）１．農林水産省資料による。
２．令和４年産については令和５年２月末現在公表がされていないため、蚕糸園芸課で把握している令和５年１月末現在のものである。
３．種子用は含まない。

１２　全国大豆作付面積及び収量・収穫量

全国農業地域・都道府県	Ｒ４年産	Ｒ３年産								
					前年産との比較					
					作付面積		10ａ当たり収量	収穫量		
	作付面積	作付面積	10ａ当たり収量	収穫量	対差	対比	対比	対差	対比
	ha	ha	kg	t	ha	%	%	t	%
全国	**151,400**	**146,200**	**169**	**246,500**	**4,500**	**103**	**110**	**27,600**	**113**
（全国農業地域）									
北海道	43,200	42,000	251	105,400	3,100	108	105	12,400	113
都府県	108,200	104,200	135	141,100	1,500	101	110	15,200	112
東北	37,800	35,600	169	60,100	700	102	127	13,700	130
北陸	12,400	11,700	170	19,900	△ 200	98	134	4,800	132
関東・東山	10,100	9,740	129	12,600	170	102	102	500	104
東海	12,100	12,200	111	13,500	400	103	118	2,400	122
近畿	9,790	9,270	118	10,900	170	102	104	500	105
中国	4,460	4,280	94	4,010	30	101	101	50	101
四国	540	501	124	619	8	102	94	△ 31	95
九州	21,000	21,000	93	19,600	200	101	74	△ 6,600	75
沖縄	x	x	x	x	x	x	x	x	x
（都道府県）									
北海道	43,200	42,000	251	105,400	3,100	108	105	12,400	113
青森	5,390	5,070	162	8,210	230	105	130	2,160	136
岩手	4,840	4,530	147	6,660	210	105	112	1,000	118
宮城	11,900	11,000	202	22,200	200	102	116	3,400	118
秋田	9,420	8,820	158	13,900	170	102	158	5,250	161
山形	4,910	4,740	154	7,300	△ 90	98	134	1,750	132
福島	1,410	1,410	129	1,820	20	101	107	140	108
茨城	3,380	3,360	118	3,960	10	100	103	110	103
栃木	2,510	2,350	148	3,480	100	104	95	△ 10	100
群馬	287	278	150	417	3	101	106	29	107
埼玉	657	619	94	582	△ 38	94	107	4	101
千葉	880	876	96	841	54	107	109	118	116
東京	4	4	125	5	0	100	71	△ 2	71
神奈川	39	37	149	55	0	100	95	△ 3	95
新潟	4,200	4,090	190	7,770	△ 90	98	135	1,880	132
富山	4,510	4,250	167	7,100	△ 20	100	130	1,630	130
石川	1,790	1,620	138	2,240	△ 10	99	117	320	117
福井	1,870	1,740	158	2,750	△ 60	97	156	930	151
山梨	215	212	114	242	△ 4	98	107	11	105
長野	2,160	2,010	149	2,990	50	103	104	190	107
岐阜	3,040	2,960	102	3,020	100	103	103	190	107
静岡	203	244	82	200	21	109	108	31	118
愛知	4,490	4,470	138	6,170	100	102	125	1,360	128
三重	4,340	4,530	90	4,080	180	104	120	820	125
滋賀	6,800	6,490	133	8,630	△ 20	100	107	560	107
京都	339	318	97	308	16	105	83	△ 45	87
大阪	17	15	73	11	0	100	84	△ 2	85
兵庫	2,480	2,280	76	1,730	170	108	88	△ 80	96
奈良	125	134	112	150	△ 3	98	117	18	114
和歌山	26	27	93	25	△ 1	96	104	0	100
鳥取	708	667	110	734	43	107	121	166	129
島根	804	783	103	806	3	100	84	△ 153	84
岡山	1,590	1,550	82	1,270	10	101	90	△ 130	91
広島	400	408	67	273	△ 22	95	93	△ 37	88
山口	955	870	107	931	0	100	129	209	129
徳島	15	15	93	14	5	150	116	6	175
香川	71	67	72	48	7	112	74	△ 10	83
愛媛	378	346	148	512	△ 2	99	95	△ 27	95
高知	76	73	62	45	△ 2	97	103	0	100
福岡	8,160	8,190	88	7,210	△ 30	100	70	△ 3,090	70
佐賀	7,630	7,850	96	7,540	100	101	74	△ 2,560	75
長崎	376	400	41	164	△ 9	98	111	13	109
熊本	2,660	2,500	109	2,730	80	103	70	△ 1,020	73
大分	1,560	1,440	96	1,380	30	102	102	50	104
宮崎	244	218	115	251	△ 5	98	92	△ 28	90
鹿児島	386	345	99	342	△ 1	100	132	82	132
沖縄	x	x	x	x	x	x	x	x	x

注）農林水産統計「作物統計」による。（令和4年産の10a当たり収量及び収穫量は令和5年２月末現在公表されていない。）

１３　大豆の生産費（１０a当たり）

項目＼年産	30		元		2		3
	全　国	関東・東山	全　国	関東・東山	全　国	関東・東山	全　国
種苗費	3,677	2,534	3,910	3,810	3,896	3,898	3,945
肥料費	5,462	4,566	6,019	5,066	6,243	5,593	5,800
農業薬剤費	5,796	4,670	5,871	4,296	6,506	4,233	6,242
光熱動力費	2,320	1,980	2,511	1,677	2,207	1,756	2,582
その他の諸材料費	210	7	188	1	231	3	221
土地改良及び水利費	1,555	1,835	1,544	705	1,547	796	1,352
賃借料及び料金	7,761	3,087	7,982	4,481	8,525	3,186	8,611
物件税及び公課諸負担	1,187	508	1,157	514	1,123	489	1,204
建物費	1,266	969	976	1,283	1,183	940	1,151
自動車費及び農機具費	11,945	8,416	13,008	10,665	12,902	9,256	12,583
生産管理費	288	80	267	177	319	70	314
労働費	10,430	9,208	11,317	10,506	10,906	9,524	10,179
直接労働費	9,827	8,988	10,732	10,272	10,422	9,296	9,612
間接労働費	603	220	585	234	484	228	567
費用合計	51,897	37,860	54,750	43,181	55,588	39,744	54,184
10アール当たり 物財費	41,467	28,652	43,433	32,675	44,682	30,220	44,005
10アール当たり 労働費	10,430	9,208	11,317	10,506	10,906	9,524	10,179
10アール当たり 費用合計	51,897	37,860	54,750	43,181	55,588	39,744	54,184
10アール当たり 副産物価額	134	34	198	80	462	86	199
10アール当たり 生産費	51,763	37,826	54,552	43,101	55,126	39,658	53,985
10アール当たり 支払利子	228	6	182	19	309	4	205
10アール当たり 支払地代	4,380	7,693	4,094	6,454	4,150	8,123	3,961
10アール当たり 支払利子・地代算入生産費	56,371	45,525	58,828	49,574	59,585	47,785	58,151
10アール当たり 自己資本利子	1,802	1,870	1,864	2,191	1,739	2,132	1,783
10アール当たり 自作地地代	6,038	1,134	5,916	1,331	5,871	1,050	5,671
10アール当たり 資本利子・地代全額算入生産費	64,211	48,529	66,608	53,096	67,195	50,967	65,605
10ａ当たり収穫量(kg)	178	133	195	125	206	146	218
10ａ当たり投下労働時間(時間)	6.4	5.6	6.9	6.7	6.4	5.8	6.1
1経営体当たりの作付面積(ａ)	395	572	408	575	416	500	448

注）農林水産省「大豆生産費調査」による。令和3年度の全国数値は速報値。
　　物材費＝費用合計－労働費

参考資料

資料１　そばに関する資料

1　群馬県そば生産の推移

年度	作付面積 ha	10ａ当たり収量 kg	収穫量 t	（参　考）全国		
				作付面積　ha	10ａ当たり平均収量 kg	収穫量 t
S33	883	84	740	47,900	90	43,000
34	774	79	610	46,700	96	44,900
35	774	97	750	47,300	110	52,200
36	754	96	720	43,500	98	42,800
37	655	92	600	39,500	94	37,200
38	625	98	610	37,500	108	40,500
39	610	100	610	34,700	78	27,100
40	499	91	454	31,300	96	30,100
41	357	87	311	28,100	99	27,700
42	359	96	345	25,100	110	27,500
43	341	97	331	23,800	93	22,100
44	275	85	234	20,500	107	21,900
45	254	95	241	18,500	93	17,200
55	184	76	140	24,200	67	16,100
58	193	92	178	21,100	82	17,200
61	181	96	174	19,600	94	18,400
H1	201	100	201	25,900	79	20,500
4	222	105	233	24,200	90	21,700
7	225	96	216	22,600	93	21,100
10	281	60	169	34,400	52	17,900
13	313	94	294	41,800	65	26,000
14	343	…	…	41,400	65	25,400
15	377	…	…	43,500	65	26,800
16	394	…	…	43,500	49	20,400
17	400	…	…	44,700	73	31,200
18	368	…	…	44,800	77	33,000
19	357	…	…	46,100	68	26,300
20	344	…	…	47,300	58	23,200
21	338	…	…	45,400	40	15,300
22	356	106	377	47,700	62	29,700
23	389	78	303	56,400	57	32,000
24	431	91	392	61,000	73	44,600
25	445	65	289	61,400	54	33,400
26	448	92	412	59,900	52	31,100
27	467	95	444	58,200	60	34,800
28	485	85	412	60,600	48	28,800
29	518	88	456	62,900	55	34,400
30	558	89	497	63,900	45	29,000
R1	587	93	546	65,400	65	42,600
R2	587	83	487	66,600	67	44,800
R3	585	69	404	65,500	62	40,900

注）農林水産統計「作物統計」による。

※令和４年産については、令和５年２月現在公表されていない。

2　令和３年産そば（乾燥子実）の収穫量（全国農業地域別・都道府県別）

全国農業地域・都道府県	作付面積	10ａ当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差		前年産との比較 作付面積 対比	前年産との比較 10ａ当たり収量 対比	前年産との比較 収穫量 対差		前年産との比較 収穫量 対比	（参考）10ａ当たり平均収量対比	（参考）10ａ当たり平均収量
	ha	kg	t		ha	%	%		t	%	%	kg
全国	**65,500**	**62**	**40,900**	**△**	**1,100**	**98**	**93**	**△**	**3,900**	**91**	**111**	**56**
（全国農業地域）												
北海道	24,300	71	17,300	△	1,400	95	95	△	2,000	90	103	69
都府県	41,200	57	23,600		300	101	92	△	1,900	93	119	48
東北	17,600	61	10,700		600	104	130		2,790	135	145	42
北陸	5,540	42	2,350	△	30	99	74	△	830	74	114	37
関東・東山	12,300	61	7,480	△	200	98	72	△	3,120	71	91	67
東海	534	44	236	△	35	94	75	△	99	70	122	36
近畿	x	53	x		x	x	62		x	x	120	44
中国	1,490	25	372	△	40	97	44	△	505	42	78	32
四国	119	46	55		13	112	79	△	7	89	128	36
九州	2,640	72	1,890		40	102	113		220	113	141	51
沖縄	46	73	34	△	23	67	109	△	12	74	133	55
（都道府県）												
北海道	24,300	71	17,300	△	1,400	95	95	△	2,000	90	103	69
青森	1,700	57	969		30	102	143		301	145	163	35
岩手	1,660	85	1,410	△	20	99	123		250	122	139	61
宮城	621	26	161		15	102	67	△	75	68	104	25
秋田	4,240	51	2,160		260	107	131		610	139	128	40
山形	5,430	67	3,640		110	102	163		1,460	167	181	37
福島	3,910	59	2,310		120	103	105		190	109	126	47
茨城	3,430	60	2,060	△	80	98	76	△	710	74	91	66
栃木	3,090	69	2,130		60	102	73	△	720	75	90	77
群馬	585	69	404	△	2	100	83	△	83	83	78	89
埼玉	331	54	179	△	11	97	78	△	57	76	92	59
千葉	206	43	89	△	13	94	64	△	58	61	91	47
東京	3	40	1		0	100	60	△	1	50	83	48
神奈川	33	34	11		8	132	65	△	2	85	76	45
新潟	1,250	51	638	△	20	98	113		66	112	131	39
富山	544	68	370		27	105	78	△	80	82	174	39
石川	354	34	120	△	23	94	85	△	31	79	162	21
福井	3,390	36	1,220	△	10	100	61	△	790	61	95	38
山梨	183	58	106	△	10	95	83	△	29	79	112	52
長野	4,460	56	2,500	△	140	97	65	△	1,460	63	92	61
岐阜	349	36	126		8	102	57	△	89	59	100	36
静岡	85	56	48		14	120	102		9	123	187	30
愛知	21	27	6	△	12	64	113	△	2	75	108	25
三重	79	71	56	△	45	64	120	△	17	77	169	42
滋賀	563	63	355	△	2	100	64	△	199	64	117	54
京都	126	41	52		5	104	64	△	25	68	132	31
大阪	x	42	x		x	x	82		x	x	111	38
兵庫	201	34	68	△	10	95	52	△	71	49	131	26
奈良	27	42	11		1	104	79	△	3	79	120	35
和歌山	3	46	1		0	100	511		1	nc	256	18
鳥取	337	32	108		7	102	64	△	57	65	103	31
島根	608	23	140	△	30	95	44	△	192	42	72	32
岡山	172	35	60	△	20	90	57	△	57	51	90	39
広島	308	16	49		6	102	23	△	159	24	55	29
山口	68	22	15	△	3	96	29	△	40	27	81	27
徳島	46	30	14		6	115	60	△	6	70	68	44
香川	38	32	12		7	123	43	△	11	52	107	30
愛媛	31	87	27		0	100	158		10	159	235	37
高知	4	46	2		0	100	100		0	100	164	28
福岡	85	44	37	△	4	96	119		4	112	119	37
佐賀	34	59	20		0	100	95	△	1	95	118	50
長崎	159	48	76	△	3	98	114		8	112	109	44
熊本	661	85	562	△	9	99	106		26	105	135	63
大分	217	48	104	△	11	95	102	△	3	97	137	35
宮崎	235	90	212	△	7	97	125		38	122	173	52
鹿児島	1,240	71	880		60	105	115		148	120	142	50
沖縄	46	73	34	△	23	67	109	△	12	74	133	55
関東農政局	12,400	61	7,530	△	200	98	73	△	3,070	71	91	67
東海農政局	449	42	188	△	49	90	71	△	108	64	114	37
中国四国農政局	1,610	27	427	△	30	98	47	△	512	45	84	32

注：１　「（参考）10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産
10ａ当たり収量の比率である。
２　全国農業地域別（都府県を除く。）の10ａ当たり平均収量は、各都府県の10ａ当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を
国農業地域別に積上げ、当年産の全国農業地域別作付面積で除して算出している。

3　令和2、3年産そばの市町村別作付面積及び収穫量

市町村名	令和2年産					令和3年産				
	作付面積	10a当たり収量			収穫量	作付面積	10a当たり収量			収穫量
			田	畑				田	畑	
	ha	kg	kg	kg	t	ha	kg	kg	kg	t
前橋市	67	69	60	72	46	64	44	37	47	28
高崎市	17	65	75	62	11	15	47	33	50	7
桐生市	1	71	…	71	0	x	x	x	x	x
伊勢崎市	1	65	−	65	1	x	x	−	x	x
太田市	8	71	57	76	6	7	69	50	70	5
沼田市	26	87	82	87	23	26	73	68	73	19
館林市	9	100	103	89	9	x	x	x	x	x
渋川市	204	95	88	95	193	208	78	60	79	162
藤岡市	2	92	85	98	2	2	71	68	75	1
富岡市	2	74	−	74	1	2	57	−	57	1
安中市	9	56	…	56	5	15	53	…	53	8
みどり市	4	78	…	78	3	4	75	…	75	3
榛東村	11	127	100	130	14	13	69	61	75	9
吉岡町	x	x	−	x	x	x	x	−	x	x
上野村	1	60	−	60	1	0	…	−	…	…
神流町	1	68	−	68	1	0	…	−	…	…
下仁田町	0	…	−	…	…	0	…	−	…	…
南牧村	0	…	−	…	…	0	…	−	…	…
甘楽町	1	86	…	86	1	1	67	…	67	1
中之条町	32	57	52	57	18	39	54	50	55	21
長野原町	x	54	x	54	x	x	x	−	x	x
嬬恋村	2	51	52	48	1	−	−	−	−	−
草津町	x	x	−	x	x	−	−	−	−	−
高山村	37	51	x	51	19	32	29	x	29	9
東吾妻町	13	58	x	58	8	13	46	x	46	6
片品村	5	81	76	82	4	4	75	x	76	3
川場村	11	83	x	83	9	9	78	x	78	7
昭和村	10	86	x	86	9	9	67	x	67	6
みなかみ町	81	85	74	87	69	84	90	81	91	76
玉村町	x	x	x	−	x	x	x	x	−	x
板倉町	9	78	89	68	7	x	x	x	x	x
明和町	0	…	…	…	…	0	…	…	…	…
千代田町	0	…	…	…	…	0	…	…	…	…
大泉町	0	…	…	…	…	0	…	…	…	…
邑楽町	22	112	100	124	25	x	x	x	x	x
計（又は平均）	587	83	79	84	487	585	69	58	71	404

※農林水産統計　市町村別データによる。

４　ソバ栽培生育調査結果

農業技術センター稲麦研究センター

１ 供試系統

（春まき）H30～R3

品種名	育成地
キタワセソバ	北海道農業試験場

（秋まき）　R4～

品種名	育成地
信濃1号	長野県野菜花き試験場

２ 調査結果

作期	供試年次	播種期 月/日	発芽期 月/日	開花期 月/日	成熟期 月/日	生育日数 日	草丈 cm	主茎節数	第1分枝数 本	倒伏 0-5	病害 0-5	虫害 0-5	全重 kg/10a	子実重 kg/10a	屑実重 kg/10a	子実重歩合%	千粒重 g	容積重 g	検査等級
春まき	H30	4/4	4/13	5/9	6/6	63	77.3	7.2	3.8	0.0	0.0	0.0	176.4	64.8	16.6	80.3	32.5	489	規格外
	R1	3/27	4/17	5/11	6/14	79	71.6	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	304.2	66.7	14.1	82.2	21.0	300	規格外
	R2	4/8	4/16	5/18	6/15	68	98.7	6.8	3.1	0.0	0.0	0.0	185.8	33.6	12.2	73.5	20.5	329	規格外
	R3	4/28	5/5	5/31	6/28	61	98.0	6.3	1.8	0.0	0.0	0.0	265.9	17.1	23.9	41.6	10.9	192	規格外
平均		4/9	4/21	5/18	6/16	68	87.0	7.0	4.0	0.0	0.0	0.0	234.0	46.0	17.0	70.0	22.0	328	－
秋まき	R4	8/25	8/28	9/22	10/20	56	91.1	8.1	2.4	4.0	0.0	0.0	350.7	130.6	37.4	77.7	31.8	595	2等相当

耕種概要 栽植密度：畝幅60cm、播種量：0.6kg/a　施肥量：N 0.2 ,P0.3 ,K0.2(kg/a)

倒伏、病虫害：0(無)～5(甚) 6段階評価　収量及び千粒重：水分16.0%換算

区制面積：15㎡ 2区制

資料２　ライスセンター、カントリーエレベーター、育苗センターの設置状況　（※所在地は設置年度によるもの）

１　ライスセンター（ＲＣ）設置状況

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要				処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	ばら出荷施設及び出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量（t）		
									米	麦	乾籾	麦	
中部	前橋市 東大室町	荒砥東大室ＲＣ	前橋市農協 （荒砥農協）	(S53 年度) H12 年度	連続流下式	140t (35t ×4 基)	ﾌﾚｺﾝ	ヤンマー農機㈱	60	50	360	225	(第２次農業構造改善事業) 「群馬の水田農業」推進事業 ※処理能力欄「米は S53 当初計画値」、「麦は H13 麦大豆推進ｼｽﾃﾑ推進事業(県単)による増強時の計画値。
	前橋市 荒子町	荒砥ＲＣ	前橋市農協 （荒砥農協）	S58 年度 S59 年度 (S62 年度) H２年度	連続流下式	900t (200t ×2 基) (50t ×10 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	320	420	1,920	2,200	(新農業構造改善前期対策事業) (新農業構造改善後期対策事業) 農業農村活性化農業構造改善事業 ※処理能力欄は H13 麦大豆推進ｼｽﾃﾑ推進事業(県単)による増強時の計画値。
	前橋市 上佐鳥町	上川渕ＲＣ	前橋市農協 （上川渕農協）	(S49 年度) H５年度 <H4 年度操越>	循環式	－	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	160	230	960	1,104	(第２次農業構造改善事業) 農業農村活性化農業構造改善事業
	前橋市 房丸町	南部ＲＣ	前橋市農協 （前橋南部農協）	S60 年度 S61 年度 S62 年度	連続流下式	500t (50t ×10 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	200	200	1,200	940	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 勝沢町	芳賀ＲＣ	前橋市農協 （前橋芳賀農協）	H３年度 H４年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	80	75	480	353	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 上泉町	桂萱ＲＣ	前橋市農協 （前橋桂萱農協）	S62 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	220	200	1,320	960	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市 上青梨子町	清里ＲＣ	前橋市農協 （清里農協）	S56 年度	循環式	－	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	20	20	149	105	第２次農業構造改善事業
	前橋市	元気ファーム 20 ＲＣ	農事組合法人 元気ファーム 20	H27 年度	循環式	－	ﾌﾚｺﾝ	ﾔﾝﾏｰｸﾞﾘｰﾝ ｼｽﾃﾑ株式会社	70	100	304	508	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	富士見村 小暮	富士見ＲＣ	前橋市農協 （富士見村農協）	S52 年度	連続流下式	60t (10t ×6 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	60	60	337	260	高能率集団営農推進対策事業
	粕川村 西田面	粕川ＲＣ	前橋市農協 （粕川村農協）	(S56 年度) S59 年度 S60 年度 S61 年度	連続流下式	416t (52t ×8 基) (50t ×6 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	150	170	943	861	(新農業構造改善前期対策事業) 新農業構造改善前期対策事業

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要				処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	ばら出荷施設及び出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
									米	麦	乾籾	麦	
中部	吉岡町 漆原	駒寄ＲＣ	北群渋川農協 （吉岡町駒寄農協）	S48年度	循環式 デポ(改造)	45t (3t ×5基) (30t ×1基)	フレコン (麦用)	㈱山本製作所	50	30	250	278	第２次農業構造改善事業
	吉岡町 下野田	明治ＲＣ	北群渋川農協 （吉岡町明治農協）	S56年度	循環式	150t (30t ×5基)	フレコン	ヤンマー農機㈱	50	50	250	－	新農業構造改善前期対策事業
	伊勢崎市 稲荷町	稲荷町水田作機械化組合ＲＣ	稲荷町水田作機械化組合	(S57年度) S59年度	循環式	－	フレコン	大島農機㈱	30	45	165	247	(新地域農業生産総合振興対策事業) 新地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市 馬見塚町	三ツ橋農業機械化組合ＲＣ	三ツ橋農業機械化組合	(S52年度) S56年度	循環式	－	フレコン	㈱山本製作所	50	70	275	385	(高能率集団営農推進対策事業) 地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市 上植木本町	北部ＲＣ	佐波伊勢崎農協 （伊勢崎市農協）	(S59年度) (S60年度) H22年度	循環式	300t (50t ×6基)	フレコン	井関農機㈱	172	145	660	653	(新農業構造改善前期対策事業) 産地収益力向上支援事業
	伊勢崎市 柴町	なんぶＲＣ	佐波伊勢崎農協 （伊勢崎市農協）	(S63年度) H13年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	フレコン	井関農機㈱	180	300	1,080	1,440	(新農業構造改善後期対策事業) 農業生産総合対策事業
	赤堀町 西久保	麦バラ出荷施設	佐波伊勢崎農協 （赤堀町農協）	H13年度	－	－	フレコン	井関農機㈱	－	120	－	504	農業生産総合対策事業
	(佐)東村 東小保方	あずまＲＣ	佐波伊勢崎農協	H７年度	循環式	400t (50t ×8基)	フレコン	ヤンマー農機㈱	90	90	432	432	地域農業基盤確立農業構造改善事業
	(佐)東村 東小保方	東小保方 ミニＲＣ	佐波伊勢崎農協 （佐波東村農協）	S57年度	循環式	－	フレコン (麦用)	井関農機㈱	19	27	68	100	新地域農業生産総合振興対策事業
	境町 下渕名	さかいＲＣ	佐波伊勢崎農協 （群馬境町農協）	S62年度	連続流下式	400t (50t ×8基)	フレコン	ヤンマー農機㈱	100	100	480	460	新農業構造改善後期対策事業
	中部農業事務所管内計　（１９施設）注6								2,081	2,382	11,633	11,511	

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要				処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	ばら出荷施設及び出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
									米	麦	乾籾	麦	
西部	高崎市浜川町	北部ＲＣ	高崎市農協	S56年度	連続流下式	300t（50t×6基）	フレコン	ヤンマー農機㈱	100	100	600	480	第２次農業構造改善事業
	高崎市山名町	南部ＲＣ	高崎市農協	H３年度	連続流下式	300t（50t×6基）	フレコン	ヤンマー農機㈱	70	70	420	384	農業生産体質強化総合推進対策事業
	高崎市大八木町	中川ＲＣ	高崎市農協（高崎市中川農協）	(S54年度) H13年度	連続流下式	320t（50t×6基）（20t×1基）	フレコン	井関農機㈱	60	100	360	480	(新農業構造改善前期対策事業) 麦･大豆生産システム推進事業
	群馬町保渡田	群馬ＲＣ	はぐくみ農協（群馬町農協）	S61年度	連続流下式	400t（50t×8基）	フレコン	ヤンマー農機㈱	100	100	595	480	新農業構造改善後期対策事業
	吉井町馬庭	吉井ＲＣ	多野藤岡農協（群馬吉井町農協）	S59年度	連続流下式	300t（50t×6基）	フレコン	㈱佐竹製作所	100	80	525	330	新地域農業生産総合振興対策事業
	西部農業事務所管内計（５施設）								430	450	2,500	2,154	
利根沼田	川場村	川場村ＲＣ	川場村	H26年度	循環式	－	フレコン	沼田土建㈱	65	－	505	－	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	利根沼田農業事務所管内計（１施設）								65	－	505	－	
東部	邑楽町狸塚	十三軒農業機械管理組合ミニＲＣ	十三軒農業機械管理組合	S60年度	循環式	14t（2.8t×5基）	フレコン	㈱山本製作所	40	40	255	198	新農業構造改善前期対策事業
	邑楽町藤川	高島ＲＣ	邑楽館林農協（西邑楽農協）	H元年度 H２年度	回分式	400t（50t×8基）	フレコン	金子農機㈱	150	120	900	690	新農業構造改善前期対策事業
	館林市青柳町	青柳穀物乾燥共同利用組合ＲＣ	青柳穀物乾燥共同利用組合	S60年度	循環式	16.8t（4.2t×4基）	フレコン	金子農機㈱	16	19	92	80	新地域農業生産総合振興対策事業
	東部農業事務所管内計（３施設）								206	179	1,247	968	
合計（２８施設）注6									2,782	3,011	15,885	14,633	

（注）１．全国米麦改良協会及び蚕糸園芸課資料による。
２．設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
３．処理能力欄は事業計画の目標数値である。
４．ばら出荷施設の対象品目は記載無き場合には「米麦用」である。
５．玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾籾処理数値に換算し、乾籾の処理能力欄に記載した。
６．赤堀町農協の麦バラ出荷施設はＲＣの施設数合計、処理能力合計には算入していない。

２　カントリーエレベーター（ＣＥ）設置状況

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要							処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	貯蔵能力	貯蔵施設型	ばら出荷施設の出荷形態	食糧庁指定倉庫	プラント製造メーカ	面積(ha)		処理量(t)		
												米	麦	乾籾	麦	
中部	前橋市 小島田町	木瀬ＣＥ	前橋市農協 （木瀬農協）	S49年度 S51年度 (S59年度) S63年度	連続送り式	800t (50t ×16基)	2,000t (250t ×8基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	320	380	1,600	1,824	第２次農業構造改善事業 新地域農業生産総合振興対策事業 農業生産体質強化総合推進対策事業
	宮城村 鼻毛石	JA宮城村ＣＥ	前橋市農協 （宮城村農協）	Ｈ２年度 〈H元年度繰越〉	連続流下式	500t (50t ×10基)	1,800t (250t ×6基) (300t ×1基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	300	180	1,350	756	農業生産体質強化総合推進対策事業
	玉村町 福島	玉村ＣＥ	佐波伊勢崎農協	H14年度 〈H15年度繰越〉	連続流下式	700t (50t ×14基)	3,000t (300t ×10基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	井関農機（株）	469	722	3,097	3,721	生産振興総合対策 農業生産総合対策事業
	中部農業事務所管内計（３施設）											1,089	1,282	6,047	6,301	
西部	高崎市 矢島町	東部ＣＥ	高崎市農協	S58年度 S59年度	連続送り式	600t (50t ×12基)	2,500t (250t ×10基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	300	300	1,800	1,440	新農業構造改善前期対策事業
	高崎市 下滝町	東南部ＣＥ	高崎市農協	S61年度	連続送り式	700t (50t ×14基)	2,500t (250t ×10基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	313	300	1,800	1,440	新地域農業生産総合振興対策事業
	藤岡市 下栗須	北部ＣＥ	多野藤岡農協 （藤岡市農協連合会）	S62年度	連続送り式	600t (50t ×12基)	2,000t (250t ×8基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	250	200	1,415	1,195	農業生産体質強化総合推進対策事業
	藤岡市 矢場	南部ＣＥ	多野藤岡農協 （藤岡市農協連合会）	Ｈ３年度 〈H2年度繰越〉	循環式	600t (50t ×12基)	2,400t (300t ×8基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	330	380	1,195	1,415	農業生産体質強化総合推進対策事業
	安中市 東上磯部	JA碓氷安中ＣＥ	碓氷安中農協	Ｈ４年度 Ｈ５年度	連続送り式	500t (50t ×10基)	1,500t (250t ×6基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	250	150	1,125	675	農業農村活性化 農業構造改善事業
	西部農業事務所管内計（５施設）											1,443	1,330	7,335	6,165	

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要							処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	貯蔵能力	貯蔵施設型	ばら出荷施設の出荷形態	食糧庁指定倉庫	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
												米	麦	乾籾	麦	
東部	太田市強戸	北部ＣＥ	太田市農協（太田市中央農協）	(S60年度) Ｈ元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	340	300	1,500	900	新地域農業生産総合振興対策事業 農山村地域活性化緊急特別対策事業
	太田市福沢	南部ＣＥ	太田市農協	S63年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	井関農機㈱	350	340	1,200	700	農業生産体質強化総合推進対策事業
	新田町金井	JA新田郡ＣＥ	新田みどり農協（新田町農協）	Ｈ元年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,940t (250t ×8基) (300t ×2基) (85t ×4基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	350	320	1,200	1,000	農業生産体質強化総合推進対策事業
	館林市当郷町	東部ＣＥ	邑楽館林農協（館林市農協）	Ｈ５年度	連続流下式	900t (50t ×18基)	3,000t (250t ×12基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	520	200	2,496	900	先進的農業生産総合推進対策事業
	明和町南大島	明和ＣＥ	邑楽館林農協（館林市農協）	S63年度 Ｈ元年度	連続流下式	720t (60t ×12基)	3,000t (250t ×12基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	250	200	1,250	900	新農業構造改善後期対策事業
	板倉町板倉	JA群馬板倉ＣＥ	邑楽館林農協（群馬板倉農協）	Ｈ６年度	常温除湿	－	2,000t (50t ×55機)	角形ビン	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	330	50	3,874	288	地域連携確立農業構造改善事業
	千代田町上五箇	富永ＣＥ	邑楽館林農協（西邑楽農協）	S63年度 Ｈ元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,000t (250t ×8基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	250	265	1,360	1,485	農業農村活性化農業構造改善事業
	邑楽町篠塚	長柄ＣＥ	邑楽館林農協（西邑楽農協）	Ｈ２年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,520t (315t ×8基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	300	360	1,218	1,515	農業生産体質強化総合推進対策事業
	東部農業事務所管内計　（８施設）											2,690	2,035	14,098	7,688	
合計　（１６施設）												5,222	4,647	27,480	20,154	

（注）１，全国米麦改良協会及び蚕糸園芸課資料による。　２，設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。　３，処理能力欄は事業計画の目標数値である。
４，ばら出荷施設の対象品目は米麦用である。　５，玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾籾処理数値に換算し、乾籾の処理能力欄に記載した。

３　水稲共同育苗施設設置状況

農業事務所別区分	所在地	事業主体（旧農協名）	設置年度	プラント製造メーカー	受益面積（ha）	育苗能力（箱数）＜令和２年度実績＞	設置事業名
中部	前橋市荒子町	前橋市農協（荒砥農協）	(S56 年度) H22 年度	井関農機㈱	400	100,000 ＜79,830＞	新農業構造改善前期対策事業
	前橋市上泉町	前橋市農協（前橋桂萱農協）	S63 年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜47,744＞	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市房丸町	前橋市農協（前橋南部農協）	H２年度	井関農機㈱	100	30,000 ＜37,453＞	新農業構造改善後期対策事業
	北橘村小室	赤城橘農協（北橘農協）	S60 年度	久保田鉄工㈱	173	40,000 ＜35,900＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	赤城村樽	赤城橘農協（横野農協）	H３年度	㈱クボタ	0	23,000	農業生産体質強化総合推進対策事業
	富士見村時沢	前橋市農協（富士見村農協）	S50 年度	久保田鉄工㈱	100	30,000 ＜36,314＞	高能率稲麦作団地育成対策事業
	大胡町河原浜	前橋市農協（大胡町農協）	(S60 年度) H10 年度	㈱クボタ	50	30,000 ＜31,720＞	（農村地域定住促進対策事業）自己資金により増強
	粕川村西田面	前橋市農協（粕川村農協）	S60 年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜39,709＞	新農業構造改善前期対策事業
	渋川市八木原	北群渋川農協（渋川市古巻農協）	S60 年度	久保田鉄工㈱	70	21,000	新農業構造改善前期対策事業
	吉岡町大久保	北群渋川農協	H９年度	㈱クボタ	352	81,000 ＜69,232＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	伊勢崎市稲荷町	稲荷町水田作機械化組合	H４年度	ヤンマー農機㈱	49	14,700 ＜6,400＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	境町下渕名	佐波伊勢崎農協（群馬境町農協）	H２年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜9,300＞	新農業構造改善前期対策事業
	玉村町福島	佐波伊勢崎農協（玉村町農協）	S51 年度	井関農機㈱	200	60,000 ＜42,701＞	高能率集団営農推進対策事業
	中部農業事務所管内計（１３施設）				1,764	528,700 ＜436,303＞	
西部	高崎市矢中町	矢中町育苗組合	S53 年度	井関農機㈱	21	8,800 ＜3,020＞	水稲共同育苗施設設置事業
	高崎市大八木町	高崎市農協（高崎市中川農協）	(S53 年度) S55 年度	井関農機㈱	500	16,500	（水稲共同育苗施設設置事業）新農業構造改善前期対策事業
	高崎市浜川町	高崎市農協	H５年度	ヤンマー農機㈱	200	66,000 ＜85,965＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	倉渕村川浦	はぐくみ農協（倉渕村農協）	H５年度	㈱クボタ	70	17,500 ＜17,715＞	先進的農業生産総合推進対策事業

農業事務所別区分	所在地	事業主体（旧農協名）	設置年度	プラント製造メーカー	受益面積（ha）	育苗能力（箱数）＜令和２年度実績＞	設置事業名
西部	群馬町保渡田	はぐくみ農協（群馬町農協）	(S60年度) H12年度	ヤンマー農機㈱	216	63,600 ＜39,647＞	(新農業構造改善後期対策事業) 農業生産総合対策事業
	藤岡市神田	多野藤岡農協（藤岡市農協）	S60年度	井関農機㈱	20	6,600	水田利用再編特別対策事業
	藤岡市神田	多野藤岡農協（藤岡市農協）	H元年度	井関農機㈱	100	33,000	農業生産体質強化総合推進対策事業
	吉井町馬庭	多野藤岡農協（群馬吉井町農協）	S59年度	井関農機㈱	80	26,400 ＜59,555＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	富岡市相野田	相野田たまねぎ組合	S53年度	久保田鉄工㈱	6	1,500 ＜1,446＞	地域農政特別対策事業
	安中市原市	碓氷安中農協（安中市農協）	(S53年度) H２年度	三菱農機㈱	150	49,500 ＜21,826＞	(水稲共同育苗施設設置事業) 構造改善推進モデル集落整備事業
	西部農業事務所管内計（１０施設）				1,363	289,400 ＜229,174＞	
吾妻	中之条町平	あがつま農協	H８年度	ヤンマー農機㈱	250	55,000 ＜68,762＞	地域連携確立農業構造改善事業
	吾妻農業事務所管内計（１施設）				250	55,000 ＜68,762＞	
利根沼田	沼田市下沼田町	利根沼田農協	H５年度	㈱山本製作所	200	44,000 ＜74,627＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	新治村羽場	利根沼田農協	H９年度	㈱クボタ	276	69,000 ＜61,179＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	白沢村上古語父	上古語父諏訪水稲組合	S62年度	㈱栗原種苗	7	1,750	新農業構造改善後期対策事業
	利根沼田農業事務所管内計（３施設）				483	114,750 ＜135,806＞	
東部	新里村武井	新田みどり農協（ぐんま新里村農協）	H５年度	井関農機㈱	100	32,740 ＜25,455＞	新農業構造改善後期対策事業
	黒保根村水沼	黒保根水稲栽培協業組合	(S51年度) H７年度	㈱クボタ	50	10,000 ＜12,012＞	(山村振興特別対策事業) 特定農山村地域活性化対策事業
	太田市新野町	太田市農協	S56年度	井関農機㈱	稚苗 100 中苗 100	60,000 ＜25,841＞	地域農業生産総合振興対策事業
	千代田町上五箇	邑楽館林農協（富永農協）	H３年度	㈱クボタ	100	25,000 ＜34,405＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	東部農業総合事務所管内計（４施設）				450	127,740 ＜97,713＞	
合計（３１施設）					4,307	1,096,590	

（注）１，蚕糸園芸課資料による。
２，設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
３，受益面積及び育苗能力は事業計画の目標数値である。

資料３　種子の生産状況及び品種情報について

１　４年産種子生産実績

(1)水稲種子　　単位:20kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子・転用	(%)	
水稲うるち	コシヒカリ	4,300	4,237	98.5%	4,237		100.0%	
	ひとめぼれ	3,000	2,837	94.6%	2,837		100.0%	
	あさひの夢	9,450	9,127	96.6%	3,569	5,558	39.1%	
	ゆめまつり	1,900	1,900	100.0%		1,900	0.0%	
	いなほっこり	140	101	72.1%		101	0.0%	内転用19
水稲もち	群馬糯5号	500	332	66.4%		332	0.0%	内転用332
	まんぷくもち	112	36	32.1%		36	0.0%	
計		19,402	18,570	95.7%	10,643	7,927	57.3%	

(2)麦種子　　単位:小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)	
小麦	さとのそら	9,050	11,231	124.1%	9,480	1,751	84.4%	
	つるぴかり	2,100	2,202	104.9%	573	1,629	26.0%	
	きぬの波	550	630	114.5%		630	0.0%	
	ゆめかおり	450	499	110.9%	279	220	55.9%	
	計	12,150	14,562	119.9%	10,332	4,230	71.0%	
二条大麦	ｻﾁﾎｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	1,500	1,800	120.0%	1,800		100.0%	
	ｱｽｶｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	2,400	2,400	100.0%		2,400	0.0%	
	計	3,900	4,200	107.7%	1,800	2,400	42.9%	
六条大麦	シュンライ	700	798	114.0%	338	460	42.4%	
	計	700	798	114.0%	338	460	42.4%	
合計		16,750	19,560	116.8%	12,470	7,090	63.8%	

(3)大豆種子　　単位:30kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)
大豆	里のほほえみ	160	290	181.3%		290	0.0%
	ハタユタカ	8	8	100.0%	8		100.0%
計		168	298	177.4%	8	290	2.7%

２　令和５年産種子生産計画

(1)水稲種子　　単位:袋/20kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
水稲うるち	コシヒカリ	2,689	4,300	86,000
	ひとめぼれ	1,876	3,000	60,000
	いなほっこり	107	170	3,400
	あさひの夢	6,876	11,000	220,000
	ゆめまつり	219	350	7,000
水稲もち	群馬糯5号	313	500	10,000
	まんぷくもち	70	112	2,240
合計		12,150	19,432	388,640

(2)麦種子　　単位:小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
小麦	さとのそら	8,750	8,750	262,500
	つるぴかり	2,300	2,300	69,000
	きぬの波	550	550	16,500
	ゆめかおり	750	750	22,500
	計	12,350	12,350	370,500
二条大麦	ｻﾁﾎｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	1,300	1,300	32,500
	ｱｽｶｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	2,200	2,200	55,000
	計	3,500	3,500	87,500
六条大麦	シュンライ	700	700	17,500
	計	700	700	17,500
合計		16,550	16,550	475,500

(3)大豆種子　　単位:袋/30kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
大豆	里のほほえみ	500	200	6,000

3　群馬県職務育成品種登録及び許諾契約状況

1　水稲

名　称	登録年月日	育成者権消滅日	登録(継続)期間	登録番号及び出願番号	許諾相手先	許諾状況
舞風	2011/3/9	2036/3/9	2024/3/9	第20531号	群馬県米麦大豆振興協会	2021/4/1～2024/3/31

2　小麦

名　称	登録年月日	育成者権消滅日	登録(継続)期間	登録番号及び出願番号	許諾相手先	許諾状況
きぬの波	2003/3/17	2023/3/17	2023/3/17	第11093号	群馬県米麦大豆振興協会 (公社)茨城県農林振興公社	2021/4/1～2024/3/31
さとのそら	2010/10/13	2035/10/13	2024/10/13	第19991号	群馬県米麦大豆振興協会 (公社)茨城県農林振興公社 (公社)栃木県米麦改良協会 埼玉県米麦改良協会 (一社)岐阜県米麦改良協会 千葉米改良協会	2021/4/1～2024/3/31

資料４　主要農作物奨励品種特性表

１　水陸稲奨励品種特性表

種類	栽培性	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 （令和4） ha	供試年次	区分	播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	芒の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の光沢・色沢	心白の多少	腹白の多少	玄米 千粒重 g	玄米 容積重 g/ℓ	10a当り収量 精籾重 kg	10a当り収量 玄米重 kg	品質	食味	諸抵抗性 葉いもち	穂いもち	白葉枯	紋枯	イネカラバエ	耐冷（寒）性	耐倒伏性	縞葉枯病	適地及び栽培上の注意
水稲	高冷地	極早	ユメコガネ	ゆきひかり ×ハツコガネ 青森県農試藤坂支場 平６年	平7	－	平15－19	早期	4・19	5・20	7・29	9・14	74	18.5	536	少・短	黄白	偏重	やや難	難	中飴・中	微	微	21.1	839	962	754	上の下	中の上	中	中	－	－	－	極強	やや強	－	標高800m以上の高冷地帯に適する。 耐冷性は“極強”であるが、不順な天候下では水管理などで適切な対応を行う。
うるち	高冷地	早早	ふゆげしき	山形40号 ×青系113号 青森県農試 平14年	平15	－	平15－19	早期	4・20	5・20	8・5	9・23	76	17.6	535	中・短	黄白	偏重	難	難	中飴・中	微	微	20.6	829	1,000	769	上の下	上の中	やや強	やや強	－	－	－	極強	強	－	標高700～850mの高冷地帯に適する。 耐冷性は“極強”であるが、不順な天候下では水管理などで適切な対応を行う。
うるち	山間地	中早	ひとめぼれ	コシヒカリ ×初星 宮城県古川農試 平３年	平3	1,820	平14－18	早期	4・20	5・20	8・6	9・19	78	18.6	477	やや少・短	黄白	偏数	難	難	淡飴・中	少	無	22.0	836	752	571	上の下	上の上	やや弱	中	中－弱	やや弱	－	極強	やや強	やや弱	標高200～700mの地帯に適する。 平坦地帯では６月上旬までに移植可能なところとする。平坦・中間地帯では稈が伸び倒れやすいので基肥量を控え、追肥（穂肥等）で調節する。
							平18－22	早植	5・12	6・2	8・8	9・16	82	18.9	368									22.6	860	636	491											
うるち	山間地	中早	コシヒカリ	農林22号 ×農林1号 福井県農試 昭31年	昭48	3,390	平14－18	早期	4・20	5・20	8・12	9・22	91	18.3	441	無	黄白	中間	難	難	中飴・中	無	無	21.6	831	856	645	上の下	上の上	中	中	強	中	－	強	弱	やや弱	標高200～500mの中・山間地帯並びに平坦部では５月末日までに移植ができる地帯に適する。　平坦地での栽培では稈が伸びて倒伏し易いので施肥量等に十分注意し、倒伏防止、品質向上に努める。いもち病、縞葉枯病には弱いので多発地帯では栽培を避けるか、防除に努める。
							平29 30 令2-4	早植	5・11	6・1	8・7	9・14	96	19.3	360									22.4	851	673	510											
うるち	平坦地	中晩	〔認定〕 にじのきらめき	西南136号 （なつほのか） ×北陸223号 中日本農業研究ｾﾝﾀｰ 平成30年	令3	220	平30－令4	早植	5・11	6・1	8・8	9・21	75	19.6	382	極小・短	白	偏数	難	難	淡飴・良	無	稀	23.7	856	705	550	中の上	上の中	中	やや強	やや弱	－	－	弱	強	極強	標高200m以下の平坦地帯に適する。 耐倒伏性は強いが、食味の低下も懸念されるため、地力に応じた適切な肥培管理を行う。
								普通期	5・26	6・25	8・21	10・10	73	20.1	395									24.6	858	853	665											
うるち	平坦地	中晩	〔認定〕 いなほっこり	中国186号 ×中国190号 西日本農業研究ｾﾝﾀｰ 平29年	平29	50	平30－令4	早植	5・11	6・1	8・11	9・24	85	18.9	356	稀・極短	黄白	中間	やや難	難	中飴・良	無	稀	22.1	854	670	514	上の中	上の中	強	やや強	やや強	中	－	やや強	やや強	極強	標高200m以下に適する。移植が遅い場合や、低温寡照等の気象条件によっては成熟期が遅延し、外観品質が劣る傾向にある。また、「あさひの夢」より長稈なため、倒伏の危険性を高めるので基肥の多用と早期追肥を避ける。
								普通期	5・26	6・25	8・23	10・10	82	20.1	348									23.5	859	816	628											
うるち	平坦地	中晩	あさひの夢	愛知70号（あいちのかおり）×『愛知56号（月の光）×愛知65号』F1 愛知県農総試 平８年	平12	6,340	平30－令4	早植	5・11	6・1	8・16	9・29	75	21.0	363	稀・短	黄白	偏重	やや難	難	淡飴・良	無	稀	22.6	861	661	523	上の中	上の中	やや強	強	中	強	－	弱	強	極強	標高100m以下の平坦地帯に適する。 熟期は「中生の晩」なので収量、品質を確保するために中苗の移植は6月25日までを目安とする。強稈で倒伏しにくいが、良質、良食味生産のために多肥栽培は避ける。 ※晩植（7月5日植）のデータは参考値
								普通期	5・26	6・25	8・29	10・15	77	20.7	353									23.4	861	753	657											
								晩植	6・7	7・6	9・3	10・22	73	20.6	382									22.6	860	758	579											
うるち	平坦地	中晩	ゆめまつり	愛知93号（あさひの夢）×愛知96号（大地の風） 愛知県農総試 平19年	平22	1,410	平30－令4	早植	5・11	6・1	8・18	10・4	75	20.9	369	稀・極短	黄白	偏重	極難～難	難	淡飴・良	無	稀	22.6	856	681	530	上の中	上の中	やや強	強	中	強	－	－	強	極強	標高100m以下の平坦地帯に適する。 安定的な収量を得るため中苗の移植は6月25日までを目安とする。ツマグロヨコバイ、セジロウンカに抵抗性を持つが、発生予察情報に留意して、適切な防除に努める。 ※晩植（7月5日植）のデータは参考値
								普通期	5・26	6・25	8・30	10・18	79	21.1	384									23.2	856	787	603											
								晩植	6・7	7・6	9・4	10・24	74	20.5	394									22.6	857	800	596											
新形質米		中晩	〔認定〕 はいほう	朝の光×奥羽359号（恋あずさ） 群馬県農技セ 平22年	平23	－	平22－24	普通期	5・25	6・25	8・26	10・9	87	20.5	383	稀・短	黄白	中間	中	難	中飴・良	無	微	20.9	815	775	560	－	－	強	－	－	－	－	－	－	中	弱	標高200m以下の平坦地帯に適する。 縞葉枯病に弱いので常発地は避けるか、防除に努める。巨大胚米であり、用途が限定されるので契約栽培とする。

種類	栽培性	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 (令和4) ha	供試年次	区分	播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	芒の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の光沢・色沢	心白の多少	腹白の多少	玄米 千粒重 g	玄米 容積重 g/ﾘｯﾄﾙ	10a当り収量 精籾重 kg	10a当り収量 玄米重 kg	品質	食味	諸抵抗性 葉いもち	諸抵抗性 穂いもち	諸抵抗性 白葉枯	諸抵抗性 紋枯	諸抵抗性 ｲﾈｶﾗﾊﾞｴ	諸抵抗性 耐冷(寒)性	諸抵抗性 耐倒伏性	諸抵抗性 縞葉枯病	適地及び栽培上の注意
水稲酒造米好適	中山間地	中早	〔認定〕 五百万石	菊水×新200号 新潟県農試 昭32年	平7	—	平14—18	早期	4・20	5・20	8・1	9・14	79	19.1	330	無	淡黄	偏重	難	難	淡飴・良	多	無	22.9	823	585	439	上の下	—	中	やや弱	弱	やや弱	—	弱	やや弱	弱	標高350～600mの中・山間地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。障害型冷害に弱いので、冷夏では水管理等による適切な対応が不可欠である。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させるので避ける。
	平担地	中晩	〔認定〕 若水	あ系酒101 ×五百万石 愛知県農総試 昭38年	平元	—	平22—26	普通期	5・25	6・25	8・25	10・10	84	20.5	354	少・中	黄白	偏重	難	難	淡飴・良	多	少	25.2	840	715	529	上の下	—	中	やや弱—中	やや弱	やや弱	—	極弱	やや弱	やや弱	標高200m以下の平坦地帯に適する。 縞葉枯病に弱いので常発地は避けるか、防除に努める。酒米なので契約栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させるので避ける。
			〔認定〕 舞風	群馬酒23号（ｻｶﾋﾞｶﾘ） ×佐賀酒12号 （さがの華） 群馬県農技セ 平20年	平21	—	平22—26	普通期	5・25	6・25	8・24	10・11	82	22.5	338	少・中	黄白	偏重	やや難	難	淡飴・良	多	少	24	835	779	587	上の下	—	中	強	—	—	—	—	やや弱	極強	標高200m以下の平坦地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させるので避ける。
水稲もち	高冷地	早早	〔認定〕 タツミモチ	いもちしらず ×ふ系35号 青森県農試藤坂支場 昭40年	昭59	—	平15—18	早期	4・19	5・20	8・2	9・18	83	17.5	526	無	褐	中間	やや易	難	乳白・良	—	—	19.9	826	872	655	上の上	上の下	やや強	やや強	弱	やや弱	強	極強	中	—	標高700m以上の高冷地帯に適する。 稈質が柔らかく倒伏しやすいので施肥量は少なめとする。
	山間地	早晩	〔認定〕 ヒメノモチ	大系227 ×コガネモチ 東北農試 昭47年	昭59	—	平11—15	早期	4・20	5・20	7・31	9・14	80	18.6	384	無	白	偏重	易	難	乳白・良	—	—	22.2	837	639	507	中の下	上の中	やや強	やや強	中	強	強	強	中	弱	標高250～700mの中・山間地帯に適する。 耐倒伏性は強くないので基肥は控え目とする。穂発芽が“易”であり、収穫後の降雨に注意する。
		中早	まんぷくもち	越南糯144号 ×ふくひびき 福井県農試 平19年	平19	20	平14—18	早期	4・19	5・20	8・5	9・20	71	17.7	330	稀・少	褐	偏重	中	難	乳白・良	—	—	22.1	826	743	571	中の下	上の中	やや強	やや強	弱	強	—	中	やや強	弱	標高250～600mの中・山間地帯に適する。 移植期は、６月上旬までとし、極端な遅植えは、成熟期が遅延することから避ける。基肥施用量は、耐倒伏性は強いが「ヒメノモチ」と同程度とする。ふ先色は、成熟期頃になると判別しにくくなる。
水稲もち	平担地	中晩	群馬糯５号	愛知37号C(青い空)×マンゲツモチ 群馬県農総試 平４年	平5	140	平14—18	普通期	5・26	6・25	8・22	10・10	83	20.9	433	少・中	赤	偏数	やや難	難	乳白・良	—	—	20.2	816	762	551	上の下	上の下	やや強	中	やや弱	やや強	—	—	中	極強	標高350m以下の地帯に適する。 耐倒伏性はあまり強くないので基肥は控えめとする。セジロウンカに対して弱いので必要に応じて防除する。また、白葉枯病に弱いので常発地帯での栽培は避ける。
陸稲もち	平担地（普通型）	早	〔認定〕 トヨハタモチ	石系201号(ﾌｸﾊﾀﾓﾁ) ×ワタベハタモチ 茨城県農試 昭60年	昭60	—	平9—11 14 15	—	5・15	—	8・6	9・16	78	18.5	272	稀・短	紫	中間	易	難	乳白・中	—	—	20.0	808	290	210	中の下	中の上	強	強	強	中	—	—	強	—	標高700m以下の平坦・中・山間地帯に適するが、高冷地は不適地である。肥沃度の低い圃場や少肥条件では、能力を十分に発揮できないので注意する。株枯病（陸稲馬鹿稲病）に強くないので種子消毒を必ず実施する。穂発芽性が“易”であり、収穫後の降雨に注意する。

2　麦類奨励品種特性表

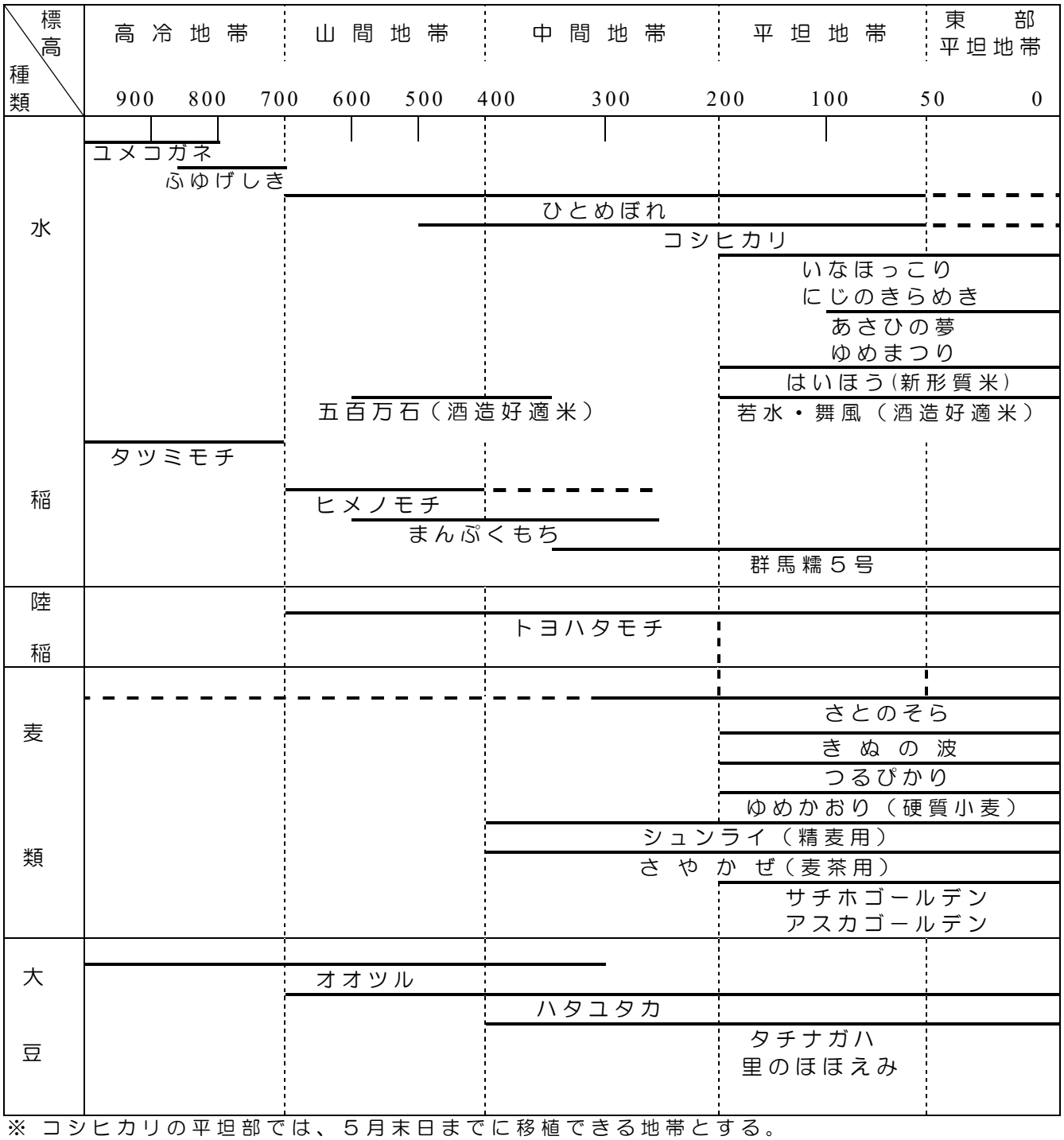
種類	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 （令和４） ha	供試年次	播種期	出穂期	成熟期	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	芒の長短	株の開閉	穂発芽性	脱粒性	播性程度	玄麦 千粒重 g	玄麦 容積重 g/ﾘｯﾄﾙ	玄麦 収量 kg/10a	硝子率質の硬軟	品質	諸抵抗性 黒銹	赤銹小銹	うどんこ	赤かび	萎縮	縞萎縮	斑葉	凍霜害	耐寒雪性	耐肥性	耐倒伏性	適地及び栽培上の注意
小麦	早	さとのそら	『東山25号（しゅんよう）×西海168号（きぬいろは）』F1 ×ニシカゼコムギ 群馬県農技セ 平20年	平21	3,820	平30－令4	11・15	4・19	6・8	83	8.8	541	中	中	難	中	Ⅳ	39.6	805	437	軟	上	－	強	強	中	－	強	－	やや強	－	－	強	作付けは平坦地帯に適する。播性がⅣであることから山間地域以上も対象とする。 うどんこ病等主要病害には強いが、赤かび病抵抗性は中程度なので必要に応じて適切な防除を行う。
小麦	早	つるぴかり	関東100号（ﾊﾞﾝﾄﾞｳﾜｾ） ×関東107号 群馬県農試 平7年	平9	950	平30－令4	11・15	4・18	6・7	96	8.8	560	中	やや閉	難	中	Ⅱ	36.2	813	492	中	上	－	強	やや弱	中	－	やや強	－	やや弱	弱	強	強	作付は平坦地帯に適する。 強稈で優れた栽培性を有するが、小粒であることから厚播きや多肥栽培を避ける。極端な早播きは凍霜害の被害を受けやすいので避ける。また、うどんこ病の発生に留意する。
小麦	中	きぬの波	関東107号 ×関東100号（ﾊﾞﾝﾄﾞｳﾜｾ） 群馬県農試 平10年	平12	350	平30－令4	11・15	4・21	6・8	81	9.1	458	中	やや閉	難	中	Ⅱ	38.6	817	494	軟	上	－	中	弱	中	－	やや強	－	やや強	－	中	強	作付は平坦地帯とする。 耐倒伏性は強いが、うどんこ病に弱い。このため厚播きは避け、基肥施肥量は「つるぴかり」並に抑え、追肥重視とする。
小麦	中	〔認定〕 ゆめかおり	西海180号 ×KS831957 長野県農事試 平21年	平30	270	平30－令4	11・13	4・20	6・11	96	8.8	560	中	やや閉	やや難	－	Ⅱ	43.3	821	446	硬	中の中	－	強	やや強	中	強	強	－	弱	弱	－	強	主な用途はパン・中華麺等であるため、高タンパク質含量を得るため畑地での作付けを基本とし、適切な肥培管理を行うこととする。早播きは凍霜害の影響を受けやすく、稈長が長くなる傾向があるため、適期播種に務める（11月中～下旬）。 ※試験データは畑。
六条大麦	早	シュンライ	ミノリムギ ×東山皮68号 長野県農事試 昭57年	平10	506	平30－令4	11・16	4・13	5・26	98	4.6	426	やや長	中	易	－	Ⅰ	37.2	691	436	－	上	－	－	やや弱	やや弱	強	強	強	強	やや強・中	－	強	極端な早播きは、凍霜害を受ける危険性が高まるため適期(11月上旬)に播種する。耐倒伏性は強いが、極端な厚播きや多肥は品質の低下を招くとともに、倒伏し易くなるので適切な肥培管理に努める。うどんこ病、赤かび病はやや弱いため、適期防除に努め精麦品質の低下を防ぐ。
六条大麦	早	〔認定〕 さやかぜ	関東皮70号×関東皮68号（すずかぜ） 作物研究所 平14年	平15	－	平23 24 29 30	11・12	4・22	6・2	73	3.4	480	中	中	極難	中	Ⅰ	31.1	684	409	－	中の上	－	－	中	やや弱	－	極強	－	弱	－	－	強	作付けは、平坦～中間地帯で麺用小麦が品質的に芳しくない畑地とする。 倒伏や品質の低下を招くような極端な厚播きや多肥栽培は避ける。また、赤かび病やうどんこ病の発生に注意し防除に努める。なお、麦茶用のため、粗蛋白質含有量を高めるように心がける。　※試験データは畑。
二条大麦	早	サチホゴールデン	大系R4224 ×関東二条29号 栃木農試栃木分場 平17年	平21	620	平30－令4	11・15	4・5	5・24	94	6.7	681	やや長	やや閉	中	やや難	Ⅰ	47.8	731	443	－	中	－	－	極強	やや強	－	極強	－	弱	－	－	やや強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅲ型抵抗性である。 側面裂皮粒が発生しやすいので、極端な早播きは避け、適正な生育を確保する。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。
二条大麦	早	〔認定〕 アスカゴールデン	栃系283 ×九州二条15号 栃木農試栃木分場 平24年	平27	1,020	平30－令4	11・15	4・9	5・25	96	6.2	767	やや長	やや閉	やや易	やや難	Ⅰ	46.6	715	423	－	中	－	－	極強	やや強	－	極強	－	弱	－	－	やや強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅴ型抵抗性である。 播性程度がⅠで茎立ちし易く、凍霜害の影響を受けやすいため、極端な早播きは避ける。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。

3　大豆奨励品種特性表

種類	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 (令和４) ha	供試年次 平成	播種期 月・日	開花期 月・日	成熟期 月・日	生態型	草丈 cm	分枝数 本	主茎節数 節	葉型	草型	毛茸の有無及び色	花色	熟莢色	裂莢性	子実 百粒重 g	子実 粒形	子実 裂皮	子実 種皮色	子実 臍色	子実 10a当り収量 kg/10a	病害虫抵抗性 紫斑病	病害虫抵抗性 ウイルス病	病害虫抵抗性 シストセウン	環境抵抗性 耐倒伏性	環境抵抗性 耐冷性	環境抵抗性 晩播適応性	適地及び栽培上の注意
普通大豆	晩	オオツル	東山80号×エンレイ 長野県農業総試 中信地方試 昭 63 年	昭63	15	12－16	6・17	8・3	10・20	中間	71	4.9	14.7	円葉	（短茎分子閉鎖）有限	有・白	紫	褐	やや難	34.0	やや楕円	無	黄	黄	329	やや弱	中	弱	やや弱	強	やや大	１０月中～下旬に成熟する晩生種で、子実は極大粒、品質・成分とも良好で、収量も多い。主茎の茎葉がよく繁茂する。平坦地では、主茎長が伸びすぎるため、不適である。また、耐倒伏性が劣るため、中耕培土等を行う必要がある。晩播適応性は、比較的高い。
						12－16	6・5	7・31	10・17		75	5.6	15.8							33.8					344							
	中の晩	〔認定〕ハタユタカ	スズユタカ×エンレイ 東北農業試験場 刈和野試験地 平 11 年	平15	49	12－16	6・17	8・1	10・19	中間	64	4.4	14.1	円葉	（短茎分子閉鎖）有限	有・白	紫	褐	やや難	29.9	扁球	無	黄白	黄	345	中	強	強	強	強	大	１０月中～下旬に成熟する中の晩生種で、平坦地帯～中山間地帯に適する。強稈だがやや蔓化し易いため、中耕培土等を行う。またシストセンチュウに強いので連作は可能だが、できる限り輪作を行う。晩播適応性は比較的高い。最下着莢高がやや低いが収量性は高いので、コンバイン収穫では下方の莢は無視し、やや高刈りする。裂莢し難く、莢先熟現象も起こりにくいため汚粒の発生は比較的少ない。
						12－16	6・5	7・31	10・15		71	5.9	14.6							30.2					391							
	中の中	〔認定〕里のほほえみ	東北129号×刈交0264MYF6 東北農業研究センター 大仙研究拠点刈和野 平 21 年	平29	194	26－27	6・17	8・1	10・18	中間	66	7.1	12.8	円葉	有限	有・白	白	褐	難	36.1	扁球	—	黄白	黄	259	強	強	弱	強	—	—	１０月中旬に成熟する中の中生種で、子実は大粒で品質は良好である。最下着莢高が高く難裂莢性であるので機械収穫耐性に優れる。耐倒伏性にも優れ県内中間～平坦地域に適する。シストセンチュウには弱であるので発生履歴のある圃場では栽培を避ける。
	中の中	タチナガハ	東山61号×東山系G627 (ﾀﾁｽｽﾞﾅﾘ×ﾐﾔｷﾞｼﾛﾒ) 長野県農業総試 中信地方試 昭 61 年	平元	—	26－27	6・17	7・31	10・23	中間	62	6.6	12.5	長葉	有限	有・白	紫	褐	中	36.1	やや楕円	無	黄	黄	306	強	中	極弱	極強	強	中小	１０月中旬に成熟する中の中生種で、子実はやや大粒で品質は良好、収量も多い。草型は中間で極強稈、長葉で分枝が閉じ草型が良く受光体勢に優れ、400m以下の県内各地に適する。また晩播適応性、機械化適性も高く、中間・平坦地の麦作後の栽培も可能で、多肥・密植栽培にも向く。シストセンチュウには極弱で裂莢性がやや易。近年莢先熟現象が問題となっている。
						6－10	6・4	7・3	10・22		54	5.7	13.9							35.2					343							

(注) 上段：平坦地　前橋市江木町農技センター　標高120m　畑　栽植密度　70×12cm (11.9株/㎡)
下段：中山間地　利根郡みなかみ町後閑　標高400m　転換畑　栽植密度　70×17cm (8.4株/㎡)
（タチナガハ）
下段：中山間地　利根郡みなかみ町須川　標高540m　畑　栽植密度　70×17cm (8.4株/㎡)
（オオツル、ハタユタカ）

4　標高別適応品種



※ コシヒカリの平坦部では、５月末日までに移植できる地帯とする。
※ ひとめぼれの平坦地帯では、６月上旬までの移植とする。
※ あさひの夢・ゆめまつりは、標高１００ｍ以下で、移植は６月２５日までを目安とする。
※ さやかぜは、地力の高い黒ボク土水田や畑に適する。

5　地域別適応品種

地帯別		高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東部平坦地帯
地域区分／適応品種		吾妻郡、利根郡の一部で標高700m以上の地域	渋川市、沼田市、吾妻郡、利根郡、北群馬郡、甘楽郡の一部で標高400m～700mの地域	前橋市、高崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、桐生市、みどり市、北群馬郡、甘楽郡の一部で標高200m～400mの地域	前橋市、伊勢崎市、高崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、桐生市、みどり市、佐波郡、北群馬郡、甘楽郡、吾妻郡の一部で標高200m以下の地域	館林市、太田市、邑楽郡の標高50m以下の地域
水稲	粳	ふゆげしき ユメコガネ	コシヒカリ ひとめぼれ	コシヒカリ ひとめぼれ	コシヒカリ ひとめぼれ いなほっこり にじのきらめき あさひの夢 ゆめまつり	コシヒカリ ひとめぼれ いなほっこり にじのきらめき あさひの夢 ゆめまつり
	新形質米				はいほう	はいほう
	酒造好適米		五百万石		若水・舞風	若水・舞風
	糯	タツミモチ	まんぷくもち ヒメノモチ	まんぷくもち 群馬糯５号	群馬糯５号	群馬糯５号
陸稲	糯		トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ

地帯別	高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東部平坦地帯	備考
小麦	さとのそら	さとのそら	さとのそら	つるぴかり きぬの波 さとのそら	つるぴかり きぬの波 さとのそら	
				ゆめかおり	ゆめかおり	硬質小麦
六条大麦			シュンライ	シュンライ	シュンライ	精麦用
			さやかぜ	さやかぜ	さやかぜ	麦茶用
二条大麦				サチホゴールデン アスカゴールデン	サチホゴールデン アスカゴールデン	
大豆	オオツル	オオツル ハタユタカ	オオツル タチナガハ ハタユタカ 里のほほえみ	タチナガハ ハタユタカ 里のほほえみ	タチナガハ ハタユタカ 里のほほえみ	

資料5　農産物規格規程（国内産農産物）の品位　　－抜粋－

1　稲

（1）水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ及び陸稲もちもみ

項目／等級	最低限度		最高限度				
	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒、着色粒、異種穀粒及び異物			
				計（%）	着色粒（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
合格	70	標準品	14.5	6	0.2	0.3	0.2

規格外―合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（2）種子水稲うるちもみ、種子水稲もちもみ、種子陸稲うるちもみ及び種子陸稲もちもみ

項目／等級	最低限度			最高限度			色
	発芽率（%）	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒（%）	異物（%）	
合格	90	90	標準品	14.5	0.5	0.2	品種固有の色

規格外―合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

1 水分の最高限度は、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
2 水稲もちもみ及び陸稲もちもみのうち合格のものには、その種類以外のもみが2%を超えて混入していてはならない。
3 種子もみにおける異種穀粒及び異品種粒の混入限度
イ. 異なる品種を交配した一代雑種の種子もみにあっては、異種穀粒が混入していてはならず、かつ、異品種粒が2%を超えて混入していてはならない。
ロ. 原種として生産された雄性不稔系統の種子もみにあっては、異種穀粒が混入していてはならず、かつ、異品種粒が1%を超えて混入していてはならない。
ハ. イ及びロに掲げる種子もみ以外の種子もみにあっては、異種穀粒及び異品種粒が混入していてはならない。
4 種子もみとして検査の請求をしたもみで種子もみの等級に格付けされなかったものについては、水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ又は陸稲もちもみとしてそれぞれの規格を適用する。
5 包装には、農林水産省総合食料局長（以下「総合食料局長」という。）が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員（農産物検査法（昭和26年法律第144号）第17条第2項第1号に規定する者をいう。以下同じ。）が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋、紙袋又はポリエチレンフィルム袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率―全量に対する重量比をいう。ただし、発芽率の場合を除く。
2 整粒―被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
3 形質―充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形及び光沢をいう。
4 水分―常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
5 被害粒―損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、くされ粒、虫害粒、傷もみ、砕粒等）をいう。ただし、普通もみにあっては、損傷が軽微で玄米の品質及びもみすり歩合に影響を及ぼさない程度のものを除く。
6 着色粒―粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 未熟粒―成熟していない粒をいう。
8 異種穀粒―その種類のもみ（普通もちもみにあっては、もみ）を除いた他の穀粒をいう。
9 異物―穀粒を除いた他のものをいう。
10 発芽率―摂氏25度で14日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。
11 整粒等―整粒、未熟粒及び被害粒（原形の2分の1以下の砕粒を除く。）をいう。
12 たんぱく質―精米につき窒素定量法により換算値5.95を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
13 アミロース―精米につきよう素呈色比色法により分光光度計を用いて測定したものをいう。

（3）水稲うるち玄米

項目／等級	最低限度		最高限度					
	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物				
				計（%）	死米（%）	着色粒（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.4	0.2
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.8	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.7	0.6

規格外―1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(4)陸稲うるち玄米及び陸稲もち玄米

項目／等級	最低限度		最高限度							
				被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物						
							異種穀粒			
	整粒	形質	水分	計	死米	着色粒	もみ	麦	もみ及び麦を除いたもの(%)	異物
	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		(%)
1等	65	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
2等	55	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.3	0.5	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.7	1.0	0.6

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(5)醸造用玄米

項目／等級	最低限度		最高限度						色
				被害粒、死米、着色粒、もみ及び異物					
	整粒	形質	水分	計	死米	着色粒	もみ	異物	
	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
特上	90	特上標準品	15.0	5	3	0.0	0.1	0.0	品種固有の色
特等	80	特等標準品	15.0	10	5	0.0	0.2	0.1	品種固有の色
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	品種固有の色
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.4	―
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.6	―

規格外—特上から3等までのそれぞれの品位に適合しない醸造用玄米であって、もみ及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

1 醸造用玄米を除く玄米の水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
2 次の道県で生産された醸造用玄米に限り、その水分の最高限度は各等級とも本表の数値にそれぞれ次の数値を加算したものとする。
・北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形及び福島の各道県、1.0%
・新潟、富山、石川、福島、島根及び沖縄の各県、0.5%
3 もち玄米には、その種類以外の玄米が1等のものにあっては1%、2等のものにあっては2%、3等のものにあっては3%を超えて混入していてはならない。
4 玄米には、異物として土砂(これに類するものとして農林水産省生産局長が定めるものを含む。)が混入していてはならない。
・農林水産省生産局長が定めるもの、石、ガラス片、金属片及びプラスチック片
5 醸造用玄米には、もみを除く異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。

定義

1 百分率—全量に対する重量比をいう。
2 整粒—被害粒、死米、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
3 形質—皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢並びに肌ずれ、心白及び腹白の程度をいう。
4 水分—常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
5 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、芽くされ粒、虫害粒、胴割粒、奇形粒、茶米、砕粒等)をいう。
6 死米—充実していない粉状質の粒(青死米及び白死米)をいう。
7 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
8 未熟粒—死米を除いた成熟していない粒をいう。
9 異種穀粒—その種類の玄米(もち玄米にあっては、玄米)を除いた他の穀粒をいう。
10 異物—穀粒を除いた他のものをいう。

(6)七分づき精米

項目／等級	最低限度	最高限度						
			粉状質粒及び被害粒				異種穀粒及び異物	
	形質	水分	計	被害粒		砕粒	もみ	もみを除いたもの
				計	着色粒			
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	2	0.0	0.1
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	5	0.0	0.2
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.3

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(7)完全精米

項目／等級	最低限度	最高限度						
			粉状質粒及び被害粒				異種穀粒及び異物	
	形質	水分	計	被害粒		砕粒	もみ	もみを除いたもの
				計	着色粒			
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	5	0.0	0.0
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	10	0.0	0.1
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.2

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

附則

1 水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
2 もち精米には、その種類以外の精米が1等のものにあっては0%、2等のものにあっては2%、等外のものにあっては3%を超えて混入していてはならない。
3 精米には、土砂（これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。）が混入していてはならない。
4 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率―玄米の定義の百分率に同じ。
2 形質―ぬか層のはく離及びぬかの付着の程度、粒ぞろい並びに心白及び腹白の程度をいう。
3 水分―もみの定義の水分に同じ。
4 粉状質粒―粒質が粉状又は半粉状の粒をいう。
5 被害粒―汚染し、又は損傷を受けた粒（砕粒を除く。）をいう。
6 着色粒―粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、精米の品質に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 砕粒―その大きさが完全粒の3分の2から4分の1（針金25番線ふるい目の開き1.7ミリメートルのふるいをもって分け、そのふるいの上に残る程度の大きさをいう。）までの粒をいう。
8 異種穀粒―その種類の精米（もち精米にあっては、精米）を除いた他の穀粒をいう。
9 異物―その大きさが完全粒の4分の1未満の精米粒及び穀粒を除いた他のものをいう。
10 たんぱく質―もみの定義のたんぱく質に同じ。
11 アミロース―もみの定義のアミロースに同じ。

2 麦類

（1）普通小麦

項目／等級	最低限度			最高限度					
					被害粒、異種穀粒及び異物				
							異物		
	容積重（グラム）	整粒（%）	形質	水分（%）	計（%）	異種穀粒（%）	麦角粒（%）	なまぐさ黒穂病粒率（%）	麦角粒及びなまぐさ黒穂病粒率を除いたもの（%）
1等	780	75	1等標準品	12.5	5.0	0.5	0.0	0.1	0.4
2等	730	60	2等標準品	12.5	15.0	1.0	0.0	0.1	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（2）強力小麦

項目／等級	最低限度				最高限度						
							被害粒、異種穀粒及び異物				
									異物		
	容積重（グラム）	整粒（%）	硝子率（%）	形質	水分（%）	異品種粒（%）	計（%）	異種穀粒（%）	麦角粒（%）	なまぐさ黒穂病粒率（%）	麦角粒及びなまぐさ黒穂病粒率を除いたもの（%）
1等	760	75	70	1等標準品	12.5	5.0	5.0	0.5	0.0	0.1	0.4
2等	730	65	―	2等標準品	12.5	10.0	15.0	1.0	0.0	0.1	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない強力小麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（3）種子小麦

種類	項目／等級	最低限度					最高限度				色
									異物		
		容積重（グラム）	整粒（%）	硝子率（%）	発芽率（%）	形質	水分（%）	被害粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）	
普通小麦	合格	740	90	－	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
強力小麦	合格	740	90	70.0	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

1 普通小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種以外の小麦（種子小麦を除く。）について適用する。
2 強力小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種（種子小麦を除く。）について適用する。
3 普通小麦及び強力小麦のうち1等及び2等のものには、被害粒のうち発芽粒が2.0%、赤かび粒が0.0%及び黒かび粒が5.0%を超えて混入していてはならない。
4 普通小麦のうち1等及び2等のものには、強力小麦が10%を超えて混入していてはならない。
5 小麦には、異物として土砂（これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。）が混入していてはならない。
6 種子小麦には、異臭があってはならない。
7 種子小麦には、異品種粒、異種穀粒又はなまぐさ黒穂病粒が混入していてはならない。
8 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率―全量に対する重量比をいう。ただし、なまぐさ黒穂病粒率、硝子率及び発芽率の場合を除く。
2 容積重―ブラウェル穀粒計で測定した1リットルの重量をいう。
3 整粒―2ミリメートルの縦目ぶるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
4 形質―皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢等をいう。
5 水分―もみの定義の水分に同じ。
6 被害粒―損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、砕粒、熱損粒及び種子小麦についての芽くされ粒、胴割粒等）をいう。ただし、普通小麦及び強力小麦にあっては、被害が軽微で小麦粉の品質及び製粉歩合に影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 発芽粒―発根又は発芽している粒及び発根又は発芽のこん跡のある粒をいう。
8 赤かび粒―赤かび病菌等に侵されて赤色を帯びた粒をいう。
9 黒かび粒―かび又は菌等に侵されて黒色を帯びた粒をいう。
10 異品種粒―その品種以外の小麦の粒をいう。
11 異種穀粒―小麦を除いた他の穀粒をいう。
12 異物―もみの定義の異物に同じ。
13 麦角粒―麦角菌菌糸のかたまり及び麦角菌に侵された穀粒をいう。
14 なまぐさ黒穂病粒率―なまぐさ黒穂病菌に侵された粒の供試した粒に対する粒数歩合をいう。
15 硝子率―整粒中の硝子質粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
16 発芽率―摂氏20度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
17 健全粒等―健全粒、成熟していない粒及び被害粒（原形の2分の1以下の砕粒を除く。）をいう。
18 たんぱく質―窒素定量法により換算値5.70を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
19 でん粉―落球粘度計により測定したものをいう。

（4）普通小粒大麦

項目／等級	最低限度			最高限度					
					被害粒、異種穀粒及び異物				
								異物	
	容積重（グラム）	整粒（%）	形質	水分（%）	計（%）	熱損率（%）	異種穀粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）
1等	600	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	540	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（5）普通小粒大麦、普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）

項目／等級	最高限度					
				異種穀粒及び異物		
					異物	
	水分（%）	細麦（%）	被害粒（%）	計（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）
合格	14.0	45	25	11	0.0	―

規格外－異臭のあるもの又は合格の品位に適合しない普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（6）普通大粒大麦

項目／等級	最低限度			最高限度					
					被害粒、異種穀粒及び異物				
								異物	
	容積重（グラム）	整粒（%）	形質	水分（%）	計（%）	熱損率（%）	異種穀粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）
1等	620	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	560	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(7)ビール大麦

項目 / 等級	最低限度				最高限度						色
							被害粒、異品種粒及び異種穀粒並びに異物				
									異物		
	容積重（グラム）	発芽勢（%）	整粒（%）	形質	水分（%）	細麦（%）	計（%）	異品種粒及び異種穀粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）	
1等	645	95	90	1等標準品	13.0	5.0	2.0	0.2	0.0	0.2	品種固有の色
2等	630	95	80	2等標準品	13.0	10.0	3.0	0.2	0.0	0.2	―
等外上	600	95	70	等外標準品	13.0	―	6.0	0.2	0.0	0.2	―

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(8)種子大麦

種類	項目 / 等級	最低限度				最高限度				色
								異物		
		容積重（グラム）	発芽率（%）	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）	
普通小粒大麦	合格	560	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
普通大粒大麦	合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
ビール大麦	合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

1 普通小粒大麦の規格は、二条大麦以外の大麦（種子大麦を除く。）で飼料用に供されないものについて適用する。
2 普通大粒大麦の規格は、二条大麦（種子大麦を除く。）で飼料用又は醸造用に供されないものについて適用する。
3 普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）の規格は、二条大麦以外の大麦（種子大麦を除く。）で飼料用に供されるものについて適用する。
4 普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）の規格は、二条大麦（種子大麦を除く。）で飼料用に供されるものについて適用する。
5 普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）の規格が適用されるものについては、銘柄の規定は、適用しない。
6 この規格で「飼料用に供される」とは、単体飼料又は配合飼料の原料に供されることをいう。
7 ビール大麦の規格は、二条大麦（種子大麦を除く。）で醸造用に供されるものについて適用する。
8 ビール大麦の発芽勢は、後熟後における数値とする。
9 被害粒のうち赤かび粒は、普通小粒大麦及び普通大粒大麦のうち1等及び2等のもの並びにビール大麦にあっては0.0%、普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）のうち合格のものにあっては10.0%を超えて混入していてはならない。
10 大麦には、異物として土砂（これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。）が混入していてはならない。
11 ビール大麦及び種子大麦には、異臭があってはならない。
12 種子大麦には、異品種粒又は異種穀粒が混入していてはならない。
13 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率―全量に対する重量比をいう。ただし、発芽勢及び発芽率の場合を除く。
2 容積重―小麦の定義の容積重に同じ。
3 整粒―2ミリメートル（普通大粒大麦及びビール大麦の等外上にあっては2.2ミリメートル、ビール大麦の1等及び2等にあっては2.5ミリメートル）の縦目ぶるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
4 形質―小麦の定義の形質に同じ。
5 水分―もみの定義の水分に同じ。
6 被害粒―損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、胴割粒、砕粒、熱損粒、空洞粒、硬質粒並びにビール大麦及び種子大麦についての芽くされ粒、剥皮粒等）をいう。ただし、被害が軽微で、普通小粒大麦及び普通大粒大麦にあっては精麦の品質及び精麦歩合に影響を及ぼさない程度のものを、普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）にあっては飼料の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のものを、ビール大麦にあっては麦芽の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 赤かび粒―小麦の定義の赤かび粒に同じ。
8 熱損粒―熱等によって損傷を受け、でん粉層まで茶褐色、茶色又は黒色に変色した粒をいう。
9 異品種粒―ビール大麦についての異品種粒とは、ビール大麦以外の大麦の粒をいう。
10 異種穀粒―大麦を除いた他の穀粒をいう。
11 異物―もみの定義の異物に同じ。
12 麦角粒―小麦の定義の麦角粒に同じ。
13 発芽勢―摂氏20度で72時間以内に発芽した整粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
14 細麦―普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）にあっては2ミリメートル、ビール大麦にあっては2.2ミリメートルの縦目ぶるいをもって分け、そのふるいを通過する大麦の粒をいう。
15 発芽率―摂氏20度で7日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
16 健全粒等―小麦の定義の健全粒等に同じ。

3 大豆

(1)普通大豆

項目 / 等級	最低限度		最高限度				
				被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
	粒度（%）	形質	水分（%）	計（%）	著しい被害粒等（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
1等	70	1等標準品	15.0	15	1	0	0
2等	70	2等標準品	15.0	20	2	1	0
3等	70	3等標準品	15.0	30	4	2	0

規格外－1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(2)特定加工用大豆

項目 / 等級	最低限度		最高限度				
				被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
	粒度（%）	形質	水分（%）	計（%）	著しい被害粒等（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
合格	70	標準品	15.0	35	5	2	0

規格外－合格の品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(3)種子大豆

項目 / 等級	最低限度		最高限度		
	発芽率（%）	形質	水分（%）	被害粒及び未熟粒（%）	異物（%）
合格	80	合格標準品	15.0	10	0

附則

1 北海道において生産された大豆のうち、普通大豆の3等のもの及び特定加工用大豆の合格のものに限り、その水分の最高限度は、本表の数値に1.0%を加算したものとする。

2 普通大豆及び特定加工用大豆の小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径6.1ミリメートル（北海道で生産されたものにあっては直径6.7ミリメートル）の丸目ふるいをもって分け、極小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径5.5ミリメートルの丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比が10%未満でなければならない。

3 普通大豆の色の区分は、黄色、黒色、茶色及び青色とし、それぞれの色の大豆にはその色以外の色のものの粒が1等のものにあっては0%、2等のものにあっては5%、3等のものにあっては10%を超えて混入していてはならない。

4 特定加工用大豆の規格は、豆腐・油揚、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用される大豆に適用する。

5 種子大豆には、異種穀粒及び異品種粒が混入していてはならない。

6 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率—もみの定義の百分率に同じ。

2 粒度—次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる大きさの目の丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比をいう。

区分	ふるいの目の大きさ
大粒大豆	直径7.9ミリメートル（つるの子及び光黒（北海道で生産されたもの）、ミヤギシロメ（岩手県及び宮城県で生産されたも の）並びにオオツル（群馬県、富山県、石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府及び兵庫県において生産されたもの）にあっては、直径8.5ミリメートル）、タマフクラ（北海道で生産されたもの）にあっては直径9.1ミリメートル）
中粒大豆	直径7.3ミリメートル
小粒大豆	直径5.5ミリメートル
極小粒大豆	直径4.9ミリメートル

3 形質—充実度、粒形、色沢、粒ぞろい等をいう。

4 水分—もみの定義の水分に同じ。

5 被害粒—損傷を受けた粒（病害粒、虫害粒、変質粒、破砕粒、皮切れ粒、はく皮粒等）をいう。ただし、普通大豆にあっては、損傷が軽微で製品の品質に影響を及ぼさない程度のものを、特定加工用大豆にあっては製品の品質に影響を及ぼさない程度のものを除く。

6 未熟粒—もみの定義の未熟粒に同じ。

7 著しい被害粒等—被害粒のうち著しく損傷を受けたもの及び未熟粒のうち著しく充実度が劣るものとして生産局長が定めるものをいう。

8 異品種粒—その品種以外の大豆の粒をいう。

9 異種穀粒—大豆を除いた他の穀粒をいう。

10 異物—穀粒を除いた他のもの及び死豆（充実していない粉状質の粒）をいう。

11 発芽率—摂氏25度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。

12 整粒等—整粒（被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。）、未熟粒及び被害粒（原形の2分の1以下の破砕粒、子葉が一枚の破砕粒及び種皮が完全に離脱したはく皮粒を除く。）をいう。

令和５年産主要農作物生産振興資料

基本方針編

発　行：群馬県農政部蚕糸園芸課

〒371-8570
群馬県前橋市大手町一丁目１番１号
電話(027)226-3128／FAX(027)243-7202